

稲沢厚生病院年報

(2023 年度)



JA 愛知厚生連

稲沢厚生病院

目 次

I. 概 要

第 1 章 病院の概要

1. 病院の概要 7
2. 職員数 10
3. 組織図 11
4. 会議・各種委員会 13
5. 主要器械・備品 14

第 2 章 事業報告

1. 環境認識 15
2. 基本方針（病院運営の基本姿勢及び目標） 15
3. 重要実施事項と具体的実施事項 16

第 3 章 病院統計

1. 外来患者の地域別年間実患者数 19
2. 入院患者の地域別年間実患者数 19
3. 実患者数の年齢構成 19
4. 診療科別年間平均在院日数 19
5. 病棟別年間病床利用率 19
6. 救急医療（時間外） 20
7. 救急患者受入状況（時間外） 20
8. 救急車搬入状況（時間内＋時間外） 20
9. 診療科別手術件数 20
10. 分娩件数 21
11. 診療科別患者数前年比較表（外来） 21
12. 診療科別患者数前年比較表（入院） 22
13. 疾病・診療科別退院患者数（大分類） 23
14. 疾病別退院患者数（中分類） 24
15. 分娩統計 35
16. 診療科別悪性新生物退院患者数 36
17. 死亡退院患者数 37

Ⅱ. 診療機能概要

内科	39
精神科	41
小児科	42
外科	43
整形外科	44
皮膚科	45
泌尿器科	46
産婦人科	47
眼科	48
放射線科	49

Ⅲ. 部署別業務実績

診療放射線室	51
臨床検査室	55
リハビリテーション室	57
臨床工学室	59
栄養管理室	61
臨床心理室	64
薬剤部	66
看護部	68
医療安全管理・感染制御室	71
健康管理センター	77
地域医療福祉連携部・地域医療連室 地域医療連携課	78
地域医療福祉連携部・地域医療連室医療福祉相談課	86
訪問介護ステーション「そぶえ」	90
祖父江地域包括支援センター	92
稲沢厚生病院介護保険事業所	94

Ⅳ. 学会・論文発表

.....	96
-------	----

Ⅴ. 委員会

.....	99
-------	----

Ⅵ. セミナー・教室活動

.....	156
-------	-----

Ⅶ. その他

.....	158
-------	-----

稲沢厚生病院年報 2023 年度版発刊に寄せて

2023 年度の夏は観測史上最も平均気温が高くなり、猛暑による熱中症患者が各地で多数救急搬送されました。また元日には能登半島地震が発生し、自然の脅威にさらされる年となりました。将棋の藤井聡太氏の八冠制覇、大谷選手の本塁打王・MVP 獲得など明るい話題もありましたが、海外に目を向けるとイスラエル・ハマスの軍事衝突が起こり、ロシアのウクライナ侵攻は収束の見込みもなく、総じて暗い出来事が多かった印象です。そして相変わらずの物価高騰や人手不足など、人々の暮らしはますます苦しい状況が続きました。

2020 年 1 月より始まった新型コロナウイルス感染症は、2023 年 5 月に感染症法上の 5 類に移行され、感染者の全数把握や外出制限はなくなり、政府の支援策も徐々に減らされました。社会生活における行動制限もなくなり、マスク着用者は少数となり、世の中はコロナ前の状況に近づきました。しかしコロナ感染症は終息するわけではなく、夏～秋に第 9 波が、冬～春には第 10 波が猛威を奮い、数多くの患者が発生しました。当院は引き続き発熱外来・コロナ感染患者の入院診療を継続し対応しました。職員の方々には、業務の負担増に加え行動自粛など様々な面で我慢を強いることが続きましたが、医療従事者としての自覚と責任を持って業務に励まれたことに感謝申し上げます。

2023 年度の当院は、8 月に電子カルテの更新を行いました。1 月には能登半島地震の被災地に対し DMAT を派遣、それ以外にも様々な支援を行いました。地域医療構想への対応として予定していた病床再編はコロナ病床維持のため次年度に延期となりました。

2023 年度にはその他にも様々な活動や出来事がありました。これらを記録に残し、「私たちは、地域住民の健康と生活を守るために、より良質で安全な医療・保健・福祉を提供すると共に、医療人を育成し、安心できる地域づくりに貢献します」という当院理念の達成の糧とするべく、本年報を作成いたしました。この年報を通じて当院の活動状況を御理解頂き、地域の皆様選ばれ信頼される病院づくりを今後も推進していきます。

最後に、この年報の発刊に際し尽力いただいた広報・地域密着委員会の皆様に心より感謝申し上げます。

愛知県厚生農業協同組合連合会 稲沢厚生病院
院長 伊藤 浩一

理念

私たちは、地域住民の健康と生活を守るために、
より良質で安全な医療・保健・福祉を提供すると共に、
医療人を育成し、安心できる地域づくりに貢献します。

基本方針

1. 地域における病院の役割を自覚し、皆様に信頼される病院づくりに努めます。
2. 人間性豊かな医療従事者を育成し、医療の質向上に努めます。
3. 誇りと喜びを持って働くことができる職場環境をめざします。
4. 将来にわたり安心できる医療を提供するために、経営の安定化に努めます。

北館

5F	手術室・中央材料室、ME センター
4F	西 4 階 精神病棟 51 床 (精神科)
3F	東 3 階 地域包括ケア病棟 ... 48 床 西 3 階 一般病棟 51 床 (内科)
2F	東 2 階 一般病棟 50 床 (内科・外科・皮膚科) 西 2 階 一般病棟 50 床 (小児科・整形外科・泌尿器科・眼科・産婦人科・耳鼻いんこう科)
1F	内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、 皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、 耳鼻いんこう科、放射線科、救急外来、 診療放射線室、臨床検査室

南館

(2024 年 3 月 1 日現在)

4F	講義室、会議室、管理部門、 医局・研修医室、医療安全・感染制御室 図書室、医療情報室、事務室
3F	健康管理センター、 実習室、多目的室、更衣室、 保育所、洗濯室
2F	リハビリテーション室 (理学療法・作業療法・言語聴覚療法)、 栄養管理室・職員食堂、 売店、多目的室
1F	精神科、デイケア室、受付・会計、 入退院支援センター、 薬剤部、地域医療福祉連携室、 稲沢厚生病院介護保険事業所、 祖父江地域包括支援センター、 訪問看護ステーション「そぶえ」

I . 概 要

第1章 病院の概要

1. 病院の概要

(2024年3月1日現在)

- (1) 名称 愛知県厚生農業協同組合連合会 稲沢厚生病院
- (2) 開設者 愛知県厚生農業協同組合連合会 代表理事理事長 宇野 修二
- (3) 所在地 〒495-8531
愛知県稲沢市祖父江町本甲拾町野7番地
TEL : 0587(97)2131 FAX : 0587(97)3633
ホームページアドレス <https://www.inazawa.jaaikosei.or.jp/>
- (4) 病院施設 敷地面積 : 17,271 m²
建物延面積 : 20,738 m²
建物構造 : 北館 鉄筋コンクリート造
南館 鉄骨造
病室延床面積 : 265.6 m²
病室1床当たり面積 : 8.86 m²
- (5) 開院日 昭和20年11月17日
- (6) 病院長 伊藤 浩一
- (7) 許可病床数 250床 (一般151床・地域包括48床・精神51床)
- (8) 常勤職員数 398名
- (9) 診療科 20科
内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、脳神経内科、
精神科、小児科、外科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、皮膚科、
泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、
放射線科、麻酔科

(10) 病棟

病棟名	病床数	種別	看護体制	備考
東 2 階	50	一般	7 : 1	内科、外科、泌尿器科
西 2 階	50	一般	7 : 1	小児科、整形外科、皮膚科、 産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科
東 3 階	48	地域包括ケア	13 : 1	
西 3 階	51	一般	7 : 1	内科
西 4 階	51	精神	13 : 1	精神科
計	250			

(11) 各種指定

救急告示病院、保険医療機関、労災指定医療機関、臨床研修指定病院、生活保護法指定医療機関、結核予防法指定医療機関、母体保護法指定医療機関、指定自立支援医療機関（更生医療・育成医療）、指定自立支援医療機関（精神通院医療）、被爆者一般疾病指定医療機関、身体障害者福祉法指定医療機関、肝疾患専門医療機関、災害拠点病院、卒後臨床研修評価機構認定病院

(12) 各種施設基準

【基本診療料】

急性期一般入院料 1

地域包括ケア病棟入院料 2

地域包括ケア入院医療管理料 2

精神病棟入院基本料

小児入院医療管理料 5、救急医療管理加算、診療録管理体制加算 1、医師事務作業補助体制加算 1、急性期看護補助体制加算、看護職員処遇改善評価加算、看護職員夜間配置加算、看護補助加算、療養環境加算、重症者等療養環境特別加算、精神科身体合併症管理加算、医療安全対策加算 1、感染対策向上加算 1、ハイリスク妊娠管理加算、ハイリスク分娩管理加算、入院支援加算、データ提出加算、患者サポート体制充実加算、精神疾患診療体制加算、後発医薬品使用体制加算 3、認知症ケア加算、精神科急性期医師配置加算、精神科リエゾンチーム加算、せん妄ハイリスク患者ケア加算、排尿自立支援加算、地域医療体制確保加算

【特掲診療料】

がん性疼痛緩和指導管理料、がん治療連携指導料、肝炎インターフェロン治療計画料、薬剤管理指導料、無菌製剤処理料、医療機器安全管理料 1、在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注 2、検体検査管理加算（Ⅰ）（Ⅳ）、HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）、時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト、ヘッドアップティルト試験、コンタクトレンズ検査料 1、小児食物アレルギー負荷検査、画像診断管理加算 1、CT 撮影及び MRI 撮影、冠動脈 CT 撮影加算、乳腺炎重症化予防ケア・指導料、胎児心エコー法、心臓 MRI 撮影加算、抗悪性腫瘍剤処方管理加算、外来化学療法加算 1、

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）、運動器リハビリテーション料（Ⅰ）、呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）、精神科作業療法、精神科デイ・ケア（大規模なもの）、医療保護入院等診療料、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術、大動脈バルーンポンピング法（IABP 法）、胃瘻造設時嚥下機能評価加算、人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算、麻酔管理料（Ⅰ）、保険医療機関間の連携による病理診断、外来排尿自立指導料、早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術、がん患者指導管理料Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、心臓ペースメーカー指導管理料の注５に掲げる遠隔モニタリング加算、外来緩和ケア管理料、小児運動器疾患指導管理料、婦人科特定疾患治療管理料、一般不妊治療管理料、二次性骨折予防継続管理料Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、夜間休日救急搬送、医学管理料の注３に規定する救急搬送看護体制加算、外来腫瘍化学療法診療料Ⅰ、ニコチン依存症管理料、ハイリスク妊産婦連携指導料Ⅰ・Ⅱ、在宅療養後方支援病院、在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注２に規定する遠隔モニタリング加算、遺伝学的検査、BRCA1/2 遺伝子検査、摂食機能療法の注３に規定する摂食嚥下回復体制加算Ⅰ、緊急整復固定加算及び緊急挿入加算、乳がんセンチネルリンパ節加算Ⅰ及びセンチネルリンパ節生検（併用）、乳がんセンチネルリンパ節加算Ⅱ及びセンチネルリンパ節生検（単独）、腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）、医科点数表第２章第１０部手術の通則の１６に掲げる手術、輸血管理料Ⅱ、輸血適正使用加算

（13）介護保険サービス

祖父江地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、
訪問看護ステーション「そぶえ」（訪問看護・訪問リハビリ）

（14）学会指定

1	日本内科学会認定医制度教育関連病院
2	日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
3	日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設
4	日本小児科学会小児科専門医制度研修関連施設
5	日本外科学会外科専門医制度修練施設
6	日本整形外科学会整形外科専門医制度研修施設
7	日本泌尿器科学会専門医教育施設
8	日本病理学会研修登録施設
9	日本耳鼻咽喉科学会専門医制度研修施設

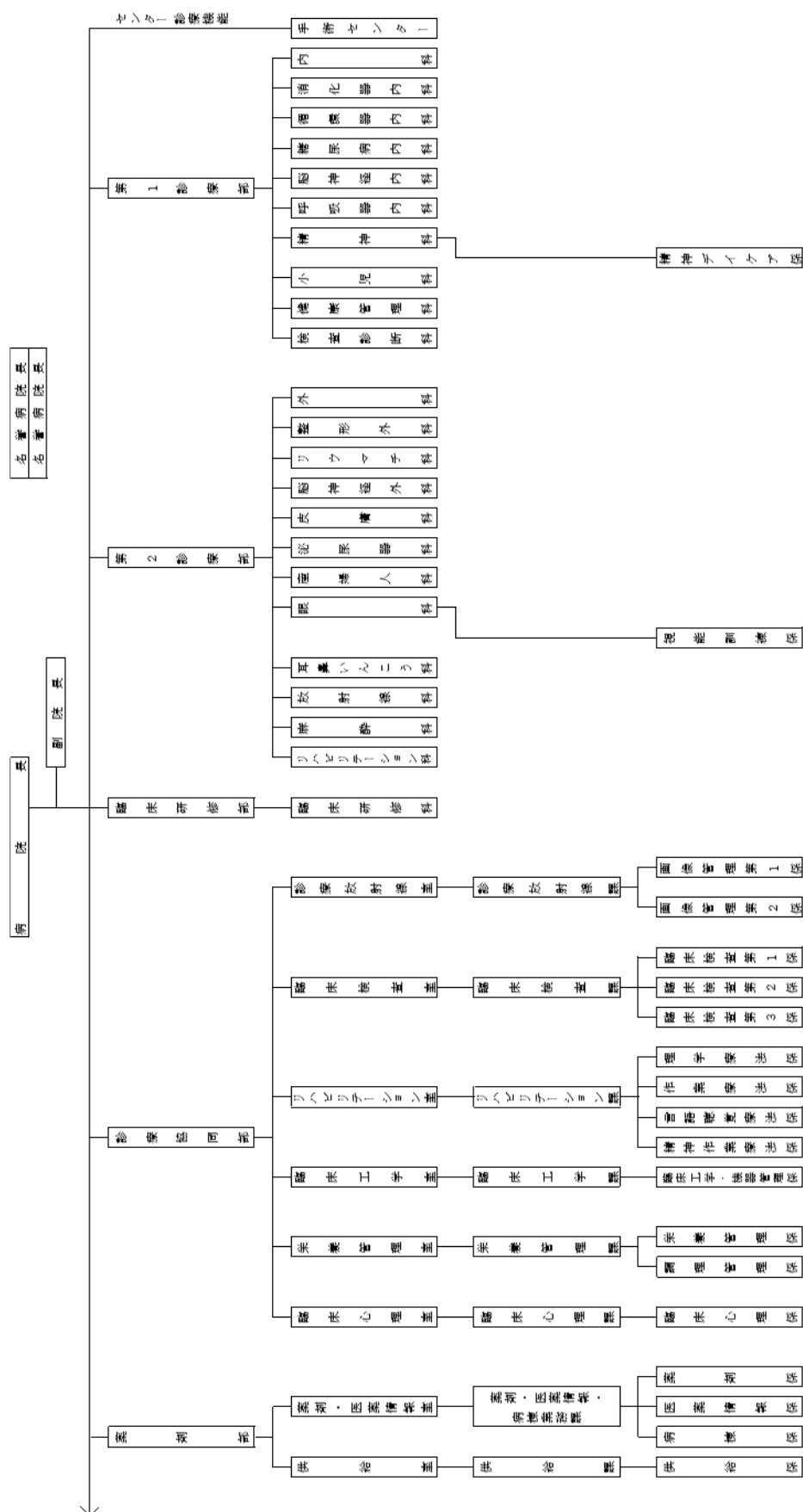
2. 職員数

(2024 年 3 月 1 日現在)

区 分		正職員	準職員	非常勤	計
医 師		28	10	43	81
コ メ デ ィ カ ル 部 門	15		1	16	15
	10			10	10
	15	1	2	17	18
	12			12	12
	11			11	11
	3			3	3
	5			5	5
	4			4	4
	8		1	9	7
	2			2	2
	3			3	3
	88	1	4	93	90
看 護 部 門	4			4	4
	6	2	1	9	9
	156	9	16	181	190
	1	4		5	6
	167	15	17	199	209
事 務 部 門 他	34	2	15	51	55
	13	1	1	15	19
	28	11	2	41	36
	75	14	18	107	110
合 計		358	40	82	480

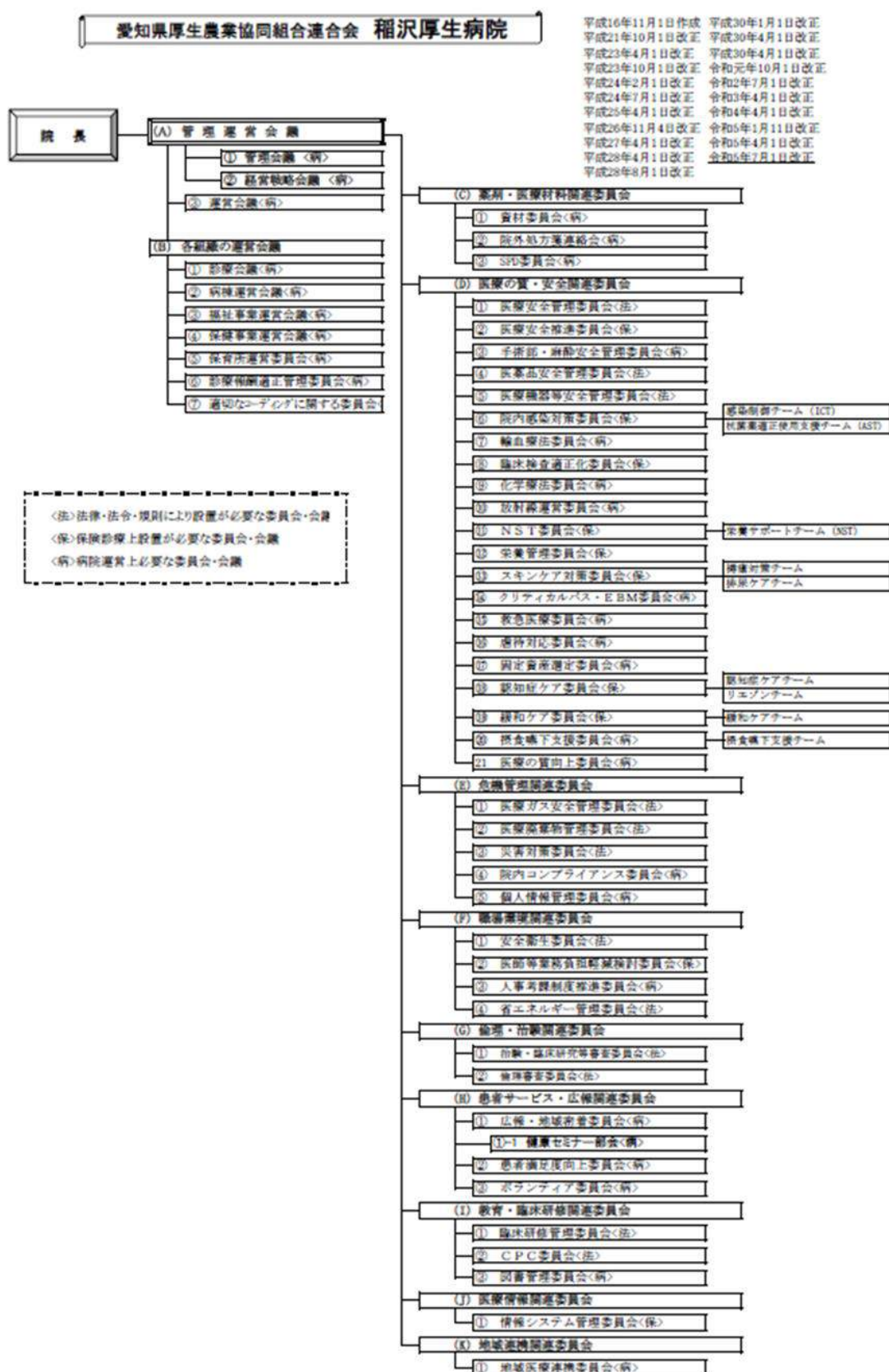
3. 組織図

(2024 年 3 月 1 日現在)



4. 会議・各種委員会

(2024 年 3 月 1 日現在)



5. 主要器械・備品

(2024 年 3 月 1 日現在)

X 線一般撮影装置	3 台
X 線 TV 撮影装置	4 台
乳房撮影装置	1 台
移動型 X 線 TV 撮影装置	1 台
回診用 X 線撮影装置	2 台
骨塩定量測定器	2 台
画像処理装置 (CR)	1 式
超音波白内障手術装置	1 台
手術用顕微鏡	3 台
人工呼吸器	6 台
麻酔器	3 台
全自動分包機	2 台
自動化学分析装置	2 台
自動採血管準備システム	1 台
電子カルテシステム	1 式
画像管理システム (PACS)	1 台
全身用コンピュータ断層撮影装置 (CT)	1 台
80 列マルチスライス	
多目的血管撮影装置 (アンギオ装置)	1 台
磁気共鳴画像診断装置 (MRI) 1.5T	1 台
四次元超音波画像診断装置	1 台
大動脈バルーンポンピング装置	1 台
マルチカラーレーザー光凝固装置	1 台
網膜・硝子体／白内障手術装置	1 台
3 次元眼底像撮影装置 (OCT)	1 台
循環器用超音波画像診断装置	1 台
注射薬自動払出装置	1 台
長時間心電図解析装置	1 台
ソムノスクリーンシステム	1 台

第2章 事業報告

2023 年度事業所別事業計画

1. 環境認識

尾張西部医療圏は、地域医療構想において県平均以上に人口減少が進む地域であり、患者確保のため他病院との差別化が重要な地域です。一宮市立市民病院・一宮西病院・大雄会病院では急性期医療・高度専門医療の充実が進められ、医療圏内における医療資源の偏在が顕著となっています。一宮西病院は病床再編による大幅な増床を予定しており、今後のさらなる患者の流出も想定されるため、稲沢市の周産期や救急医療の提供体制について行政や稲沢市民病院との連携を強化し、当院の病床機能についても検討を進める必要があります。また一方、愛知県下で数少ない精神科病床を有する総合病院として、身体疾患を合併した精神科患者の受け入れも継続していきます。

今後も急性期・回復期・精神医療の維持と在宅医療・保健事業の充実のため、地域の医療機関との連携を強化し地域包括ケアシステムの中核を担うとともに、将来に向けて継続可能な経営体制の構築を進めます。

2. 基本方針（病院運営の基本姿勢及び目標）

1. 急性期・回復期・精神医療の機能維持のため医師確保対策を継続し、二次救急やコモンディーズ（頻回発生する疾患）に対する急性期医療や人間ドック等保健サービスの充実を通じて地域住民の健康を守る。
2. 地域包括ケアシステムの中核的役割を担うため、近隣の医療・介護施設との連携を強化するとともに訪問看護ステーション・訪問リハビリテーションなど在宅部門と地域包括ケア病棟とのフレキシブルな運用体制を推進する。
3. 周産期医療や救急医療の提供体制について行政や稲沢市民病院との連携強化を進め、地域における当院の役割を継続するため、診療機能の集約化と適正な人員配置により、安定した経営基盤を確立する。
4. 「働き方改革」をふまえた労働環境の整備を進め、誇りと喜びを持って働くことができる職場環境とする。

3. 重要実施事項と具体的実施事項

事業目標	具体的実施目標
医療事業	
救急医療体制の維持	救急不応需件数を減少し、救急患者の受け入れを強化
	二次救急輪番体制について近隣医療機関と協議
医師の確保	各診療科の適正人員の配置、臨床研修医の安定確保
外来診療機能の整備	初診予約運用の拡大や広報の強化による外来患者数の向上
	小児発達障害外来患者のリハビリテーションの充実
	精神科、小児科診療における心理療法の拡大・充実
入院診療機能の充実	病床稼働率向上や収支改善のための病棟再編の検討
	妊婦へのサービスの向上、広報強化による分娩件数の向上
	急性期一般入院料1の維持
	薬剤管理指導件数の向上
	他医療機関からの直接入院・レスパイト入院の受入れの拡大
	心大血管疾患リハビリテーションの開始
	栄養食事指導件数・特別食加算の向上
入退院支援の充実	入退院支援加算・入院時支援加算継続および患者相談支援体制の充実
	精神科合併症患者の受入れの円滑化
医療の質・安全強化	
医療安全・感染制御の充実	ハンテクニカルスキル教育の継続実施
	リスクマネージャーを中心とした医療安全活動強化
	医療安全・感染制御活動におけるPDCAサイクルの実践
	標準予防策・感染経路別予防策の強化
	ICTチーム活動の充実・感染管理機能の強化
	アウトブレイクへの初期対応の強化
	医療安全関連マニュアルの体系化
	感染対策強化のための検査の充実
第3者評価受審の検討	医療の質向上のための第3者評価受審の検討(病院機能評価を含む)
医療供給体制の充実	被ばくに関する職員教育および被ばく線量の適正化
	MEによる医療機器点検の強化

地域の連携強化	
病病・病診の連携強化	外部医療機関通院患者の精神科デイケア使用の拡充
	精神科患者の支援の場への参加
行政・医師会との連携強化	地域医療構想に向けた定期的な協議会への参画
地域関連機関等との連携強化	稲沢ケアマネージャー会議等への定期参加
	包括支援センター・他法人の居宅支援事業所と行う事例検討・研修の定期開催
	地域ネットワーク会議への参加・地域住民や介護支援専門員への啓蒙
介護事業	
在宅医療の充実	在宅死、ターミナルケアの充実
	小児・精神科訪問看護の受入れ拡充
	訪問栄養食事指導の運用の確立
	訪問リハビリの患者確保にむけた病棟との連携強化と業務拡大
	介護事業のBCP作成とシミュレーション訓練の実施
保健事業	
人間ドック・健診の件数確保と収入向上	広報強化によるJA組合員ドックの利用拡大
	新規オプション項目追加による利用拡大および単価の向上
2次精検の受診率向上	健診結果D判定以上の受診者の当院への受診を推進し、外来患者数を増加
経営管理	
収入増加への取り組み	予定入院等を増加して、入院患者を安定確保し病床稼働率を向上
	室料差額徴収への意識を強化し、室料差額徴収65%以上を維持
	新規施設基準取得や各種加算・管理料算定による外来・入院単価の向上
	検査実施稼働点数の増加に向けた取り組み
	高額医療機器の共同利用件数の増加
予算進捗管理の遂行	全職員に収支状況の情報を発信
費用削減への取り組み	試薬、材料、外部委託検査等費用の効率化
	機器・備品の費用対効果検証による経費の削減
	SPDで取り扱う医療材料品目の整理見直しによる適正化
	放射線機器の修理・保守費用の適正化
働き方改革の推進	部署へのヒアリング及びワーキンググループの設置・運営
	医師の労働時間短縮計画の作成
	医師の自己研鑽と労働時間に係わる指針の作成
	効果的なタスクシフト/シェアの実施
	副業・兼業を行う医師の労働時間の把握
ジェネリック薬品の推進	DPCを考慮した医薬品費の抑制

固定資産及び備品の管理	200万円以上の新規購入医療機器の稼働状況管理
	病床再編を踏まえ規模に沿った投資計画の実施
	病床再編に沿った機器・備品の適正数の整備および管理
保険査定減・返戻件数の減少	保険査定減、レセプト返戻対策の強化
広報の充実	患者数増加に向けたホームページや広報誌等の情報発信充実
その他	
医療情報システム更新の対応	効率性・費用面を考慮した医療情報システムの更新の実施
要員確保	認定看護師の後任育成、特定行為看護師の育成
	ワークス(障がい者配属部門)の整備による障がい者雇用の推進
災害拠点病院の役割強化	地震・火災・停電など、各災害での院内対応の職員への啓蒙

第3章. 病院統計

1. 外来患者の地域別年間実患者数

	稲沢市			一宮市		愛西市		その他	合計
患者数	74,694			12,020		8,870		13,521	109,105
比率(%)	68.5%			11.0%		8.1%		12.4%	100.0%
(再掲)	祖父江地区	稲沢地区	平和地区	尾西地区	一宮地区	八開地区	佐織地区		
患者数	39,932	26,823	7,939	8,166	3,854	3,162	5,708		
比率(%)	36.6%	24.6%	7.3%	7.5%	3.5%	2.9%	5.2%		

2. 入院患者の地域別年間実患者数

	稲沢市			一宮市		愛西市		その他	合計
患者数	3,284			408		449		988	5,129
比率(%)	64.0%			8.0%		8.8%		19.3%	100.0%
(再掲)	祖父江地区	稲沢地区	平和地区	尾西地区	一宮地区	八開地区	佐織地区		
患者数	1,696	1,226	362	238	170	126	323		
比率(%)	33.1%	23.9%	7.1%	4.6%	3.3%	2.5%	6.3%		

3. 実患者数の年齢構成

	6歳未満	6歳～ 15歳未満	15歳～ 50歳未満	50歳～ 65歳未満	65歳～ 70歳未満	70歳以上	計
入院	164	31	550	602	317	3,465	5,129
比率(%)	3.2%	0.6%	10.7%	11.7%	6.2%	67.6%	100.0%
外来	5,682	5,618	18,807	18,655	8,271	52,072	109,105
比率(%)	5.2%	5.1%	17.2%	17.1%	7.6%	47.7%	100.0%

4. 科別年間平均在院日数

診療科	在院日数	診療科	在院日数	診療科	在院日数
内科	19.5	整形外科	32.4	産婦人科	7.2
精神科	67.2	脳神経外科	-	眼科	7.5
小児科	4.7	皮膚科	17.1	耳鼻咽喉科	-
外科	14.7	泌尿器科	18.3	合計	17.8

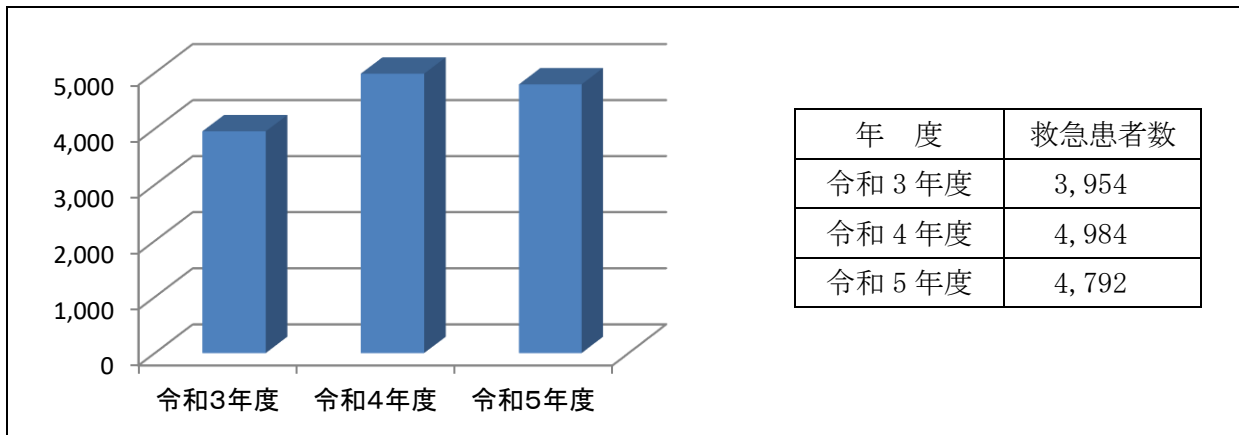
5. 病棟別年間病床利用率

病棟名	病床数	利用率	病棟名	病床数	利用率
東2階	50床	62.7%			
西2階	50床	59.8%	精神	51床	81.2%
東3階	48床	79.3%	一般計	199床	70.9%
西3階	51床	81.9%	合計	250床	73.0%

6. 救急医療（時間外）

診 療 科	受入数（件）	診 療 科	受入数（件）	診 療 科	受入数（件）
内 科	2,686	整 形 外 科	525	産 婦 人 科	113
精 神 科	29	脳神経外科	81	眼 科	25
小 児 科	503	皮 膚 科	177	耳鼻いんこう科	65
外 科	439	泌 尿 器 科	149	合 計	4,792

7. 救急患者受入状況（時間外）



8. 救急車搬入状況 時間内+時間外

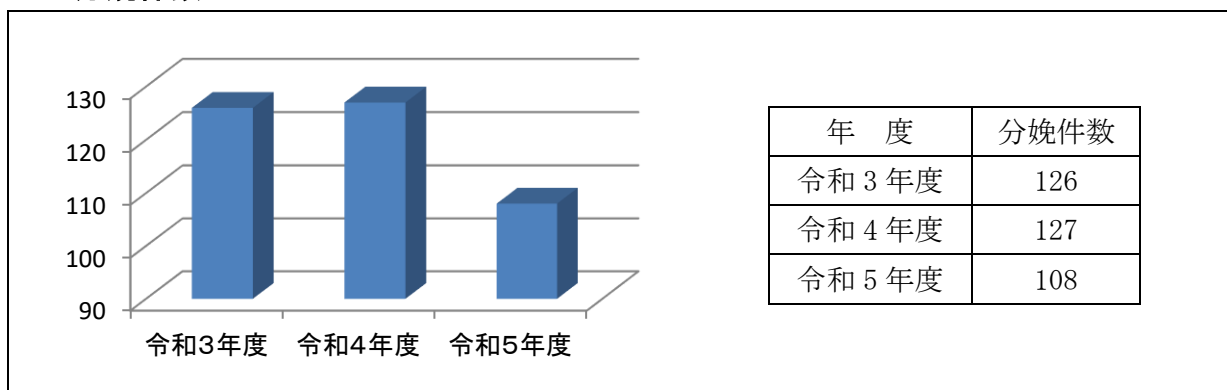
（ ）は時間外再掲

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
114(76)	110(68)	106(63)	144(91)	152(93)	139(74)	118(68)
11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	
117(73)	126(74)	117(70)	111(75)	117(74)	1,471(899)	

9. 科別手術件数

	全身麻酔	腰椎麻酔	局所麻酔	合計
内科	0	0	0	0
外科	114	8	21	143
整形外科	10	86	32	128
脳神経外科	0	0	0	0
皮膚科	0	0	59	59
泌尿器科	0	0	0	0
産婦人科	50	36	0	86
眼科	1	0	450	451
耳鼻咽喉科	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	175	130	562	867

10. 分娩件数



11. 科別患者数前年比較表(外来)

科別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	延人員	対比	1日当	延人員	対比	1日当	延人員	対比	1日当
内科	38,700	104.6	159	41,072	106.1	169	39,365	95.8	162
精神科	21,161	99.2	87	21,030	99.4	87	20,633	98.1	85
小児科	12,248	124.1	50	3,139	25.6	13	14,287	455.1	59
外科	5,339	101.0	22	5,010	93.8	21	4,920	98.2	20
整形外科	17,817	100.7	73	17,300	97.1	71	16,880	97.6	69
脳神経外科	2,661	93.1	11	2,371	89.1	10	2,433	102.6	10
皮膚科	10,948	114.7	45	9,609	87.8	40	10,110	105.2	42
泌尿器科	8,499	103.5	35	8,307	97.7	34	8,118	97.7	33
産婦人科	7,782	100.0	32	7,534	96.8	31	7,100	94.2	29
眼科	11,739	104.9	48	11,416	97.2	47	11,101	97.2	46
耳鼻咽喉科	6,744	98.0	28	5,531	82.0	23	5,098	92.2	21
合計	143,638	104.3	591	142,919	99.5	588	140,045	98.0	576

12. 科別患者数前年比較表(入院)

科別	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	延人員	対比	1日当	延人員	対比	1日当	延人員	対比	1日当
内科	33,141	104.6	91	32,315	97.5	89	33,812	104.6	93
精神科	15,421	103.4	42	15,014	97.4	41	15,393	102.5	42
小児科	697	99.4	2	668	95.8	2	881	131.9	2
外科	5,985	124.4	16	4,380	73.2	12	3,542	80.9	10
整形外科	11,246	91.2	31	10,289	91.5	28	10,515	102.2	29
脳神経外科	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0
皮膚科	1,640	90.9	4	1,353	82.5	4	1,515	112.0	4
泌尿器科	2,188	120.8	6	1,561	71.3	4	1,685	107.9	5
産婦人科	1,798	80.1	5	1,775	98.7	5	1,601	90.2	4
眼科	666	122.9	2	641	96.2	2	896	139.8	2
耳鼻咽喉科	332	0.0	1	88	0.0	0	0	0.0	0
合計	73,114	102.6	200	68,084	93.1	187	69,840	102.6	191

13. 疾病・診療科別退院患者数（大分類）

国際分類大項目分類		総数	(比率)	内科	精神科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科
総数	計	3103		1505	248	164	262	223	66	105	202	328
	男	1492	(48.1%)	818	92	84	175	78	18	73		154
	女	1611	(51.9%)	687	156	80	87	145	48	32	202	174
I 感染症及び寄生虫症	計	133	(4.3%)	102		12	3	1	11	4		
	男	71	(2.3%)	55		7	2	1	3	3		
	女	62	(2.0%)	47		5	1		8	1		
II 新生物＜腫瘍＞	計	487	(15.7%)	332			79	1	2	29	44	
	男	273	(8.8%)	207			37		1	28		
	女	214	(6.9%)	125			42	1	1	1	44	
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	13	(0.4%)	7			3	2	1			
	男	7	(0.2%)	5			2					
	女	6	(0.2%)	2			1	2	1			
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	78	(2.5%)	71		5			1	1		
	男	34	(1.1%)	28		5				1		
	女	44	(1.4%)	43					1			
V 精神及び行動の障害	計	244	(7.9%)	5	239							
	男	89	(2.9%)	2	87							
	女	155	(5.0%)	3	152							
VI 神経系の疾患	計	46	(1.5%)	37	7		1	1				
	男	27	(0.9%)	22	4			1				
	女	19	(0.6%)	15	3		1					
VII 眼及び付属器の疾患	計	324	(10.4%)	1								323
	男	153	(4.9%)	1								152
	女	171	(5.5%)									171
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	7	(0.2%)	7								
	男	2	(0.1%)	2								
	女	5	(0.2%)	5								
IX 循環器系の疾患	計	216	(7.0%)	211	2		3					
	男	98	(3.2%)	95	1		2					
	女	118	(3.8%)	116	1		1					
X 呼吸器系の疾患	計	388	(12.5%)	319		54	15					
	男	218	(7.0%)	176		27	15					
	女	170	(5.5%)	143		27						
X I 消化器系の疾患	計	323	(10.4%)	217			105				1	
	男	204	(6.6%)	129			75					
	女	119	(3.8%)	88			30				1	
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	計	58	(1.9%)	9		1	1	2	45			
	男	18	(0.6%)	3		1		2	12			
	女	40	(1.3%)	6			1		33			
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	46	(1.5%)	18				23	4	1		
	男	25	(0.8%)	10				13	2			
	女	21	(0.7%)	8				10	2	1		
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	計	173	(5.6%)	72			12			69	20	
	男	82	(2.6%)	30			12			40		
	女	91	(2.9%)	42						29	20	
X V 妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞	計	136	(4.4%)								136	
	男	-										
	女	136	(4.4%)								136	
X VI 周産期に発生した病態	計	76	(2.4%)			76						
	男	33	(1.1%)			33						
	女	43	(1.4%)			43						
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	計	6	(0.2%)	1		2	3					
	男	4	(0.1%)	1			3					
	女	2	(0.1%)			2						
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	64	(2.1%)	56		2	5			1		
	男	33	(1.1%)	27		2	3			1		
	女	31	(1.0%)	29			2					
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	266	(8.6%)	26		12	28	193	2			5
	男	107	(3.4%)	12		9	23	61				2
	女	159	(5.1%)	14		3	5	132	2			3
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	5	(0.2%)				4				1	
	男	1	(0.0%)				1					
	女	4	(0.1%)				3				1	

14. 疾病別退院患者数（中分類）

ICD-10	中 分 類 名	件数
	総 数	3103
I	(A00-B99)感染症及び寄生虫症	133
A04	その他の細菌性腸管感染症	5
A09	その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの	20
A15	呼吸器結核, 細菌学的又は組織学的に確認されたもの	1
A16	呼吸器結核, 細菌学的又は組織学的に確認されていないもの	1
A19	粟粒結核	1
A31	その他の非結核性抗酸菌による感染症	1
A40	連鎖球菌性敗血症	1
A41	その他の敗血症	15
A46	丹毒	1
A49	部位不明の細菌感染症	16
B01	水痘[鶏痘]	1
B02	帯状疱疹[帯状ヘルペス]	7
B08	皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症, 他に分類されないもの	1
B17	その他の急性ウイルス性肝炎	1
B27	伝染性単核症	2
B34	部位不明のウイルス感染症	50
B59	ニューモシスチス症	1
B86	かいせん<疥癬>	1
B94	その他及び詳細不明の感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	7
II	(C00-D48)新生物<腫瘍>	487
C15	食道の悪性新生物<腫瘍>	8
C16	胃の悪性新生物<腫瘍>	27
C18	結腸の悪性新生物<腫瘍>	28
C19	直腸S状結腸移行部の悪性新生物<腫瘍>	2
C20	直腸の悪性新生物<腫瘍>	14
C22	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	12
C23	胆のう<嚢>の悪性新生物<腫瘍>	12
C24	その他及び部位不明の胆道の悪性新生物<腫瘍>	14
C25	膵の悪性新生物<腫瘍>	9
C34	気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	6
C44	皮膚のその他の悪性新生物<腫瘍>	2
C50	乳房の悪性新生物<腫瘍>	21

C53	子宮頸部の悪性新生物＜腫瘍＞	2
C54	子宮体部の悪性新生物＜腫瘍＞	3
C56	卵巣の悪性新生物＜腫瘍＞	4
C61	前立腺の悪性新生物＜腫瘍＞	27
C64	腎盂を除く腎の悪性新生物＜腫瘍＞	1
C65	腎盂の悪性新生物＜腫瘍＞	5
C66	尿管の悪性新生物＜腫瘍＞	2
C67	膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞	1
C77	リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞	4
C78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	12
C79	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	3
C80	悪性新生物＜腫瘍＞, 部位が明示されていないもの	5
C82	ろく瀹＞胞性リンパ腫	1
C83	非ろく瀹＞胞性リンパ腫	2
C85	非ホジキン＜non-Hodgkin＞リンパ腫のその他及び詳細不明の型	1
C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物＜腫瘍＞	1
D01	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	5
ICD-10	中 分 類 名	件数
D06	子宮頸(部)の上皮内癌	7
D12	結腸, 直腸, 肛門及び肛門管の良性新生物＜腫瘍＞	197
D13	消化器系のその他及び部位不明確の良性新生物＜腫瘍＞	8
D17	良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞(脂肪腫を含む)	1
D24	乳房の良性新生物＜腫瘍＞	1
D25	子宮平滑筋腫	18
D27	卵巣の良性新生物＜腫瘍＞	10
D37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞	5
D38	中耳, 呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞	2
D43	脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞	1
D46	骨髄異形成症候群	3
III	(D50-D89)血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	13
D50	鉄欠乏性貧血	2
D53	その他の栄養性貧血	1
D59	後天性溶血性貧血	1
D61	その他の無形成性貧血	2
D64	その他の貧血	2
D65	播種性血管内凝固症候群[脱線維素症候群]	1
D69	紫斑病及びその他の出血性病態	1

D70	無顆粒球症	1
D73	脾疾患	1
D76	リンパ細網組織及び細網組織球組織のその他の明示された疾患	1
IV	(E00-E90)内分泌・栄養及び代謝疾患	78
E03	その他の甲状腺機能低下症	1
E05	甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症]	1
E10	1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>	1
E11	2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	14
E16	その他の膵内分泌障害	4
E23	下垂体機能低下症及びその他の下垂体障害	1
E34	その他の内分泌障害	3
E46	詳細不明のタンパク<蛋白>エネルギー性栄養失調(症)	3
E51	チ<サイ>アミン欠乏症	2
E72	その他のアミノ酸代謝障害	1
E86	体液量減少(症)	30
E87	その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害	16
E88	その他の代謝障害	1
V	(F00-F99)精神及び行動の障害	244
F00	アルツハイマー<Alzheimer>病の認知症	40
F01	血管性認知症	4
F02	他に分類されるその他の疾患の認知症	6
F03	詳細不明の認知症	12
F05	せん妄、アルコールその他の精神作用物質によらないもの	2
F06	脳の損傷及び機能不全ならびに身体疾患によるその他の精神障害	3
F10	アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害	4
F20	統合失調症	74
F22	持続性妄想性障害	2
F25	統合失調感情障害	3
F28	その他の非器質性精神病性障害	1
F31	双極性感情障害<躁うつ病>	15
F32	うつ病エピソード	54
F34	持続性気分[感情]障害	11
F42	強迫性障害<強迫神経症>	1
F43	重度ストレスへの反応及び適応障害	1
F45	身体表現性障害	1
ICD-10	中 分 類 名	件数
F48	その他の神経症性障害	2

F50	摂食障害	2
F79	詳細不明の知的障害＜精神遅滞＞	2
F84	広汎性発達障害	1
F89	詳細不明の心理的発達障害	1
F90	多動性障害	2
VI	(G00–G99)神経系の疾患	46
G03	その他及び詳細不明の原因による髄膜炎	3
G20	パーキンソン＜Parkinson＞病	3
G21	続発性パーキンソン＜Parkinson＞症候群	1
G23	基底核のその他の変性疾患	1
G30	アルツハイマー＜Alzheimer＞病	1
G31	神経系のその他の変性疾患, 他に分類されないもの	1
G40	てんかん	8
G45	一過性脳虚血発作及び関連症候群	1
G47	睡眠障害	16
G51	顔面神経障害	1
G52	その他の脳神経障害	1
G57	下肢の単ニューロパチ＜シ＞ー	1
G71	原発性筋障害	3
G72	その他のミオパチ＜シ＞ー	1
G95	その他の脊髄疾患	4
VII	(H00–H59)眼及び付属器の疾患	324
H02	眼瞼のその他の障害	2
H11	結膜のその他の障害	1
H25	老人性白内障	258
H26	その他の白内障	27
H27	水晶体のその他の障害	5
H28	他に分類される疾患における白内障及び水晶体のその他の障害	4
H30	網脈絡膜の炎症	2
H33	網膜剥離及び裂孔	2
H35	その他の網膜障害	9
H36	他に分類される疾患における網膜の障害	1
H40	緑内障	7
H43	硝子体の障害	2
H44	眼球の障害	1
H46	視神経炎	2
H49	麻痺性斜視	1

VIII	(H60-H95)耳及び乳様突起の疾患	7
H81	前庭機能障害	6
H91	その他の難聴	1
IX	(I00-I99)循環器系の疾患	216
I10	本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)	2
I11	高血圧性心疾患	1
I15	二次性<続発性>高血圧(症)	1
I20	狭心症	20
I21	急性心筋梗塞	9
I24	その他の急性虚血性心疾患	1
I25	慢性虚血性心疾患	7
I26	肺塞栓症	2
I33	急性及び亜急性心内膜炎	2
I44	房室ブロック及び左脚ブロック	4
I46	心停止	8
I47	発作性頻拍(症)	2
ICD-10	中 分 類 名	件数
I48	心房細動及び粗動	1
I49	その他の不整脈	3
I50	心不全	110
I61	脳内出血	4
I63	脳梗塞	22
I69	脳血管疾患の続発・後遺症	5
I70	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	1
I71	大動脈瘤及び解離	2
I72	その他の動脈瘤及び解離	2
I80	静脈炎及び血栓(性)静脈炎	1
I85	食道静脈瘤	1
I86	その他の部位の静脈瘤	1
I98	他に分類される疾患における循環器系のその他の障害	4
X	(J00-J99)呼吸器系の疾患	388
J01	急性副鼻腔炎	1
J02	急性咽頭炎	1
J03	急性扁桃炎	3
J06	多部位及び部位不明の急性上気道感染症	1
J10	その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	13
J12	ウイルス肺炎, 他に分類されないもの	29

J13	肺炎連鎖球菌による肺炎	5
J14	インフルエンザ菌による肺炎	1
J15	細菌性肺炎, 他に分類されないもの	4
J18	肺炎, 病原体不詳	136
J20	急性気管支炎	18
J21	急性細気管支炎	2
J43	肺気腫	4
J44	その他の慢性閉塞性肺疾患	5
J45	喘息	7
J46	喘息発作重積状態	9
J69	固形物及び液状物による肺臓炎	86
J84	その他の間質性肺疾患	21
J85	肺及び縦隔の膿瘍	4
J86	膿胸(症)	3
J90	胸水, 他に分類されないもの	3
J93	気胸	14
J96	呼吸不全, 他に分類されないもの	17
J98	その他の呼吸器障害	1
X I	(K00-K93)消化器系の疾患	323
K25	胃潰瘍	7
K26	十二指腸潰瘍	5
K31	胃及び十二指腸のその他の疾患	2
K35	急性虫垂炎	9
K37	詳細不明の虫垂炎	1
K40	そけいく鼠径ヘルニア	31
K41	大腿く股ヘルニア	1
K43	腹壁ヘルニア	1
K44	横隔膜ヘルニア	2
K51	潰瘍性大腸炎	2
K55	腸の血行障害	15
K56	麻痺性イレウス及び腸閉塞, ヘルニアを伴わないもの	31
K57	腸の憩室性疾患	26
K58	過敏性腸症候群	1
K59	その他の腸の機能障害	1
ICD-10	中 分 類 名	件数
K62	肛門及び直腸のその他の疾患	4
K63	腸のその他の疾患	33

K65	腹膜炎	4
K70	アルコール性肝疾患	13
K72	肝不全, 他に分類されないもの	3
K74	肝線維症及び肝硬変	29
K75	その他の炎症性肝疾患	3
K76	その他の肝疾患	2
K80	胆石症	50
K81	胆のう<嚢>炎	7
K82	胆のう<嚢>のその他の疾患	5
K83	胆道のその他の疾患	13
K85	急性膵炎	10
K86	その他の膵疾患	1
K91	消化器系の処置後障害, 他に分類されないもの	2
K92	消化器系のその他の疾患	9
X II	(L00-L99)皮膚及び皮下組織の疾患	58
L02	皮膚膿瘍, せつ<フルンケル>及び よう<カルブンケル>	2
L03	蜂巣炎<蜂窩織炎>	33
L10	天疱瘡	2
L12	類天疱瘡	2
L52	結節性紅斑	1
L53	その他の紅斑性病態	1
L89	じょく<褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域	10
L97	下肢の潰瘍, 他に分類されないもの	2
L98	皮膚及び皮下組織のその他の障害, 他に分類されないもの	5
X III	(M00-M99)筋骨格系及び結合組織の疾患	46
M00	化膿性関節炎	1
M06	その他の関節リウマチ	3
M11	その他の結晶性関節障害	4
M31	その他のえ<壊>死性血管障害	1
M33	皮膚(多発性)筋炎	1
M35	その他の全身性結合組織疾患	1
M46	その他の炎症性脊椎障害	4
M48	その他の脊椎障害	7
M54	背部痛	6
M62	その他の筋障害	10
M71	その他の滑液包障害	1
M72	線維芽細胞性障害	2

M79	その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの	1
M93	その他の骨軟骨障害	1
M96	処置後筋骨格障害, 他に分類されないもの	3
X IV	(N00-N99)腎尿路生殖器系の疾患	173
N04	ネフローゼ症候群	1
N10	急性尿細管間質性腎炎	33
N12	尿細管間質性腎炎, 急性又は慢性と明示されないもの	2
N13	閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	1
N17	急性腎不全	5
N18	慢性腎不全	14
N19	詳細不明の腎不全	2
N20	腎結石及び尿管結石	10
N21	下部尿路結石	1
N28	腎及び尿管のその他の障害, 他に分類されないもの	3
N31	神経因性膀胱(機能障害), 他に分類されないもの	1
ICD-10	中 分 類 名	件数
N32	その他の膀胱障害	2
N39	尿路系のその他の障害	58
N40	前立腺肥大(症)	14
N41	前立腺の炎症性疾患	4
N45	精巣<睾丸>炎及び精巣上体<副睾丸>炎	2
N70	卵管炎及び卵巣炎	1
N71	子宮の炎症性疾患, 子宮頸(部)を除く	1
N73	その他の女性骨盤炎症性疾患	1
N80	子宮内膜症	5
N81	女性性器脱	6
N83	卵巣, 卵管及び子宮広間膜の非炎症性障害	3
N87	子宮頸(部)の異形成	3
X V	(O00-O99)妊娠,分娩及び産じょく褥	136
O00	子宮外妊娠	1
O03	自然流産	1
O04	医学的人工流産	5
O14	子かんく瘍>前症	1
O20	妊娠早期の出血	5
O21	過度の妊娠嘔吐	2
O36	その他の既知の胎児側の問題又はその疑いのための母体ケア	2
O41	羊水及び羊膜のその他の障害	1

O47	偽陣痛	2
O48	遷延妊娠	1
O60	切迫早産及び早産	4
O80	単胎自然分娩	70
O81	鉗子分娩及び吸引分娩による単胎分娩	13
O82	帝王切開による単胎分娩	26
O85	産じょく＜褥＞性敗血症	1
O91	分娩に関連する乳房の感染症	1
XVI	(P00-P96)周産期に発生した病態	76
P00	現在の妊娠とは無関係の場合もありうる母体の病態により影響を受けた胎児及び新生児	8
P03	その他の分娩合併症により影響を受けた胎児及び新生児	19
P07	妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害, 他に分類されないもの	9
P08	遷延妊娠及び高出産体重に関連する障害	2
P22	新生児の呼吸窮＜促＞迫	2
P59	その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸	4
P70	胎児及び新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	7
P92	新生児の哺乳上の問題	24
P96	周産期に発生したその他の病態	1
XVII	(Q00-Q99)先天奇形, 変形及び染色体異常	6
Q17	耳のその他の先天奇形	1
Q28	循環器系のその他の先天奇形	2
Q42	大腸の先天(性)欠損, 閉鎖及び狭窄	1
Q43	腸のその他の先天奇形	1
Q45	消化器系のその他の先天奇形	1
XVIII	(R00-R99)症状・徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	64
R00	心拍の異常	1
R04	気道からの出血	1
R06	呼吸の異常	4
R09	循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候	3
R10	腹痛及び骨盤痛	2
R11	悪心及び嘔吐	2
R13	えん＜嚥＞下障害	6
R19	消化器系及び腹部に関するその他の症状及び徴候	1
ICD-10	中 分 類 名	件数
R33	尿閉	1
R40	傾眠, 昏迷及び昏睡	11
R42	めまい＜眩暈＞感及びよろめき感	3

R50	その他の原因による熱及び不明熱	1
R54	老衰	7
R55	失神及び虚脱	1
R56	けいれん＜痙攣＞, 他に分類されないもの	1
R57	ショック, 他に分類されないもの	5
R63	食物及び水分摂取に関する症状及び徴候	11
R68	その他の全身症状及び徴候	2
R79	その他の血液化学的異常所見	1
X IX	(S00-T98)損傷, 中毒及びその他の外因の影響	266
S01	頭部の開放創	2
S05	眼球及び眼窩の損傷	2
S06	頭蓋内損傷	2
S22	肋骨, 胸骨及び胸椎骨折	26
S27	その他及び詳細不明の胸腔内臓器の損傷	2
S30	腹部, 下背部及び骨盤部の表在損傷	5
S32	腰椎及び骨盤の骨折	36
S39	腹部, 下背部及び骨盤部のその他及び詳細不明の損傷	1
S42	肩及び上腕の骨折	12
S52	前腕の骨折	15
S61	手首及び手の開放創	1
S62	手首及び手の骨折	1
S70	股関節部及び大腿の表在損傷	1
S72	大腿骨骨折	74
S76	股関節部及び大腿の筋及び腱の損傷	2
S80	下腿の表在損傷	1
S82	下腿の骨折, 足首を含む	21
S92	足の骨折, 足首を除く	5
T00	多部位の表在損傷	1
T09	脊椎及び体幹のその他の損傷, 部位不明	1
T13	下肢のその他の損傷, 部位不明	1
T14	部位不明の損傷	1
T50	利尿薬, その他及び詳細不明の薬物, 薬剤及び生物学的製剤による中毒	2
T63	有毒動物との接触による毒作用	1
T67	熱及び光線の作用	2
T68	低体温(症)	5
T71	窒息	1
T75	その他の外因の作用	1

T78	有害作用, 他に分類されないもの	13
T81	処置の合併症, 他に分類されないもの	3
T82	心臓及び血管のプロステース, 挿入物及び移植片の合併症	8
T84	体内整形外科的プロステース, 挿入物及び移植片の合併症	1
T85	その他の体内プロステース, 挿入物及び移植片の合併症	5
T88	外科的及び内科的ケアのその他の合併症, 他に分類されないもの	1
T91	頸部及び体幹損傷の続発・後遺症	10
X X	(Z00-Z99)健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5
Z43	人工開口部に対する手当て	1
Z45	移植された器具の調整及び管理	1
Z51	その他の医学的ケア	3

15. 分娩統計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
分娩数		14	12	4	6	9	7	5	14	13	11	5	7	107
年齢	～ 19													0
	20 ～ 24	1	1		1		1	1			1			6
	25 ～ 29	2	2	1		6	3		3	2	3		2	24
	30 ～ 34	7	5	2	3	1	2	2	6	5	2	2	3	40
	35 ～ 39	2	4		2	2	1	2	5	6	5	1		30
	40 ～	2		1								2	2	7
初経産	初産	2	3		3	3	2	2	8	6	5	2	6	42
	経産(2回目)	9	4	3	3	2	3	2	5	4	5	1	1	42
	経産(3回目)	2	5	1		2	2	1	1	1				15
	経産(4回目～)	1				2				2	1	2		8
在胎週数	～ 36								1					1
	37 ～ 41	14	12	4	6	9	7	5	13	13	11	5	7	106
	42 ～													0
分娩様式	正常分娩	10	6	4	3	7	4	3	8	8	8	4	3	68
	吸引分娩	1	1		1	1		2	3	1	1		1	12
	鉗子分娩											1		1
	帝王切開	3	5		2	1	3		3	4	2		3	26
	その他													0
単双胎	単胎	14	12	4	6	9	7	5	14	13	11	5	7	107
	双胎													0
出産体重	～ 1999													0
	2000 ～ 2499	1		1	2	1		1	1	1	1		1	10
	2500 ～ 2999	8	2	2	2	5	4	2	8	4	5	1	4	47
	3000 ～ 3499	3	8	1	1	3	1	1	4	5	5	4	2	38
	3500 ～ 3999	2	2				2	1	1	3				11
	4000 ～				1									1
性別	男児	7	4	1	4	4	2	2	5	6	3	3	5	46
	女児	7	8	3	2	5	5	3	9	7	8	2	2	61
Aps	～ 7								2					2
	8 ～ 10	14	12	4	6	9	7	5	12	13	11	5	7	105
* 分娩様式・その他：急速分娩等		死産は含まない										Aps：アプガール スコア 1分後		

16. 診療科別悪性新生物退院患者数

	総 数		(比 率)	内 科	外 科	整形 外科	皮膚科	泌尿 器科	産婦 人科
総 数	計	229		113	75	1	2	29	9
	男	139	(47.4%)	75	35		1	28	
	女	90	(30.7%)	38	40	1	1	1	9
食 道	計	8	(2.7%)	8					
	男	5	(1.7%)	5					
	女	3	(1.0%)	3					
胃	計	27	(9.2%)	20	7				
	男	23	(7.8%)	17	6				
	女	4	(1.4%)	3	1				
結 腸	計	28	(9.6%)	12	16				
	男	11	(3.8%)	3	8				
	女	17	(5.8%)	9	8				
直腸S状結腸移行部	計	2	(0.7%)	1	1				
	男	2	(0.7%)	1	1				
	女								
直 腸	計	14	(4.8%)	4	10				
	男	12	(4.1%)	4	8				
	女	2	(0.7%)		2				
肝 臓	計	12	(4.1%)	11	1				
	男	12	(4.1%)	11	1				
	女								
胆 嚢・胆 管	計	26	(8.9%)	24	2				
	男	15	(5.1%)	14	1				
	女	11	(3.8%)	10	1				
膵 臓	計	9	(3.1%)	8	1				
	男	6	(2.0%)	5	1				
	女	3	(1.0%)	3					
気 管 支・肺	計	6	(2.0%)	6					
	男	2	(0.7%)	2					
	女	4	(1.4%)	4					
皮 膚	計	2	(0.7%)				2		
	男	1	(0.3%)				1		
	女	1	(0.3%)				1		
乳 房	計	21	(7.2%)		21				
	男								
	女	21	(7.2%)		21				
子 宮	計	5	(1.7%)						5
	男								
	女	5	(1.7%)						5
卵 巣	計	4	(1.4%)						4
	男								
	女	4	(1.4%)						4
前 立 腺	計	27	(9.2%)	2	2			23	
	男	27	(9.2%)	2	2			23	
	女								
膀 胱	計	1	(0.3%)					1	
	男								
	女	1	(0.3%)					1	
血 液・造 血 器	計	5	(1.7%)	5					
	男	2	(0.7%)	2					
	女	3	(1.0%)	3					
部 位 不 明・続 発	計	24	(8.2%)	10	13	1			
	男	14	(4.8%)	8	6				
	女	10	(3.4%)	2	7	1			
そ の 他	計	8	(2.7%)	2	1			5	
	男	7	(2.4%)	1	1			5	
	女	1	(0.3%)	1					

17. 死亡退院患者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	総 数
死亡患者数	23	13	23	21	24	16	23	24	31	18	23	23	262
粗 死 亡 率	10.6%	5.5%	8.5%	8.5%	9.1%	6.2%	9.4%	8.7%	11.0%	8.3%	10.3%	9.3%	8.8%
精 死 亡 率	9.2%	5.5%	7.4%	8.1%	9.1%	5.0%	9.0%	7.6%	8.8%	7.4%	8.1%	8.9%	7.8%

Ⅱ．診療機能概要

*** 内科 ***

常勤医師

氏名	役職・専門分野
大野 恒夫	名誉院長 日本内科学会認定医／臨床研修指導医
後藤 章友	副院長兼臨床研修部長 日本内科学会総合内科専門医／日本内科学会認定内科医／日本循環器学会専門医／総合診療専門研修特任指導医／日本医師会産業医／臨床研修指導医
堀尾 亨	日本内科学会認定医／日本医師会産業医／臨床研修指導医
服部 孝平	第1診療部長兼内科部長 日本内科学会総合内科専門医／日本消化器病学会専門医／日本消化器内視鏡学会専門医／日本肝臓学会専門医／日本内科学会認定医／臨床研修指導医
浅田 馨	医療安全・感染制御部長兼循環器内科部長 日本内科学会総合内科専門医／日本循環器学会専門医／日本内科学会認定医／臨床研修指導医
濱野 真吾	消化器内科部長 日本内科学会総合内科専門医／日本消化器病学会専門医／臨床研修指導医
三輪 千尋	呼吸器内科部長 日本呼吸器学会専門医／日本呼吸器学会指導医／日本がん治療認定医／日本禁煙学会認定指導医／日本アレルギー学会専門医／日本内科学会総合内科専門医／日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医／日本内科学会認定医／臨床研修指導医
式守 克容	内科医長 臨床研修指導医
百瀬 佑紀	消化器内科医長 臨床研修指導医
平山 陽太	医員
横井 佑典	医員

主な検査

1. 上部消化管内視鏡検査
2. 大腸内視鏡検査
3. 腹部超音波検査
4. 心臓超音波検査
5. 心臓カテーテル法検査（左心、右心、冠動脈造影）
6. トレッドミル
7. ホルター心電図

主な入院疾患

腸管感染症（ex. 胃腸炎）
胃の悪性新生物
結腸の悪性新生物
肝および肝内胆管の悪性新生物
気管支および肺の悪性新生物
インスリン非依存性糖尿病
狭心症
急性心筋梗塞
心不全
肺炎
胆石症

主な手術

食道・胃静脈瘤硬化療法
内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術
経皮的冠動脈ステント留置術
ペースメーカー移植術
血管塞栓術
内視鏡的胃ポリープ・粘膜切除術
内視鏡的消化管止血術
胃瘻造設術
経皮的胆管ドレナージ術
内視鏡的乳頭切開術
内視鏡的胆道ステント留置術
肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術
内視鏡的大腸ポリープ切除術

*** 精神科 ***

常勤医師

氏名	役職・専門分野
河邊真好	精神科部長 精神保健指定医/日本精神神経学会指導医・専門医/臨床研修指導医
小澤太嗣	精神科医長 精神保健指定医/日本精神神経学会指導医・専門医/臨床研修指導医
鈴木絵梨奈	医員 精神保健指定医/日本精神神経学会専門医
山本祐輔	医員 日本精神神経学会専門医
夏目弓子	医員

2023 年度の状況

＜合併症患者受入の維持、地域のニーズにそった医療の提供＞

当院は精神科病棟を有する総合病院であり、大学病院を除くと有床総合病院は愛知県に2病院しかない。当院の一番の特徴は、大学病院ほど専門性が高くない合併症患者の受け入れを行うことができる点であり、以前より合併症受け入れ基準を明確化し、近隣医療機関に周知している。地域柄、認知症患者も多く、積極的に認知症関連の診療も行っている。合併症患者と認知症患者は重なる部分が大きく、当院の強みとしてそのような患者さんを中心に、病棟稼働率の維持に努めている。2019 年度より精神科急性期医師配置加算を取得し、取得基準を維持ならびに、以前と比べて病棟稼働は上昇している。

主な検査

1. 心理検査、知能検査、各種高次脳機能検査（WAIS-III、ADAS-Jcog など）
2. 頭部 MRI および VSRAD、CT

主な入院疾患

総件数 253 件

（統合失調症圏 30%、認知症圏 28%、気分障害圏 36%）

*** 小児科 ***

常勤医師

氏名	役職・専門分野
森川 治子	小児科部長 日本小児科学会専門医／日本医師会認定産業医／臨床研修指導医
外山 順三	医員 臨床研修指導医

主な検査

1. 脳波
2. CT、MRI
3. 心エコー
4. 腹部エコー
5. 成長ホルモン負荷テスト

主な入院疾患

腸管感染症（ex. 胃腸炎）
ウイルス感染（ex. アデノウイルス感染症、RS ウイルス感染症）
肺炎
急性気管支炎
喘息
痙攣

*** 外科 ***

常勤医師

眞下 啓二	名誉院長、日本外科学会指導医・専門医/日本消化器外科学会指導医・専門医/臨床研修指導医
伊藤 浩一	院長、日本外科学会指導医・専門医/日本消化器外科学会指導医・専門医/臨床研修指導医
高山 宗之	外科部長兼手術センター長、日本外科学会専門医/臨床研修指導医
林 祐一	消化器外科部長 日本外科学会専門医/日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医/日本消化器外科学会専門医/日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医/日本消化器病学会消化器病専門医/検診マンモグラフィ読影認定医/臨床研修指導医

2023 年度の状況

2023 年春に外科の高阪医師と乳腺外科の松本医師がそれぞれ転勤され名古屋市立大学から林 祐一医師が着任されました。

診療は今まで通り地域に対応できるよう消化器外科を中心とした一般外科を幅広く行っています。

2023 年度の手術症例数は 143 件（局所麻酔手 21 件、腰椎麻酔手 8 件、全身麻酔 114 件）でした。胃癌の胃切除症例も腹腔鏡手術症例で可能な限り行っています。また腹腔鏡下の脾摘出も名古屋市立大学から手術指導をいただく形で行いました。

乳腺外科に関しては名古屋市立大学より派遣医師 1 名にお願いする形で継続しています

主な検査

1. CT
2. MR
3. 腹部超音波検査
4. 上・下部消化管造影
5. 乳腺撮影
6. 乳腺超音波検査

主な入院疾患

胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、直腸の悪性新生物、乳房の悪性新生物、急性虫垂炎、胆石症、鼠径ヘルニア

主な手術

胃癌切除術、胃全摘術 6 (3)、結腸癌切除術 9 (8)、直腸癌切除・切断術 3 (3)、虫垂切除術 6 (6)、胆嚢摘出術緊急 23 (23) 肝悪性腫瘍切除 3 (0)、成人鼠径部ヘルニア根治術 31 (23)、乳腺悪性腫瘍手術 16

※ () は腹腔鏡下手術件数

*** 整形外科 ***

常勤医師

氏名	役職・専門分野	卒業年次
加藤 哲司	副院長兼地域医療福祉連携部長兼整形外科部長 整形外科専門医 脊椎脊髄病医 リウマチ学会専門医 リハビリテーション学会認定医	S63
山岸 逸郎	リハビリテーション科部長 整形外科専門医	H7

2023 年度の状況

* 専門外来

リウマチ外来（金曜日）

脊椎外来（火曜日 月に2回）

令和5年11月からは医師2名体制となっています。大学より代務を派遣して頂き、なんとか診療を行っております。やっと令和7年4月からは3名体制予定となる予定です。徐々に人工関節置換術などの待機可能手術も行っていきたいと思っています。大腿骨近位部骨折、圧迫骨折などの入院も救急患者の受け入れも積極的に行い、地域に密着しながら、今後も背伸びせずに身の丈に合った堅実な治療を心掛けていきます。

**** 皮膚科****

常勤医師

氏名	役職・専門分野
中村 賢人	皮膚科医長 日本皮膚科学会皮膚科専門医／緩和ケア研修会修了

主な検査

ダーモスコピー検査（ほくろなどの色素性病変）

超音波検査（皮下腫瘍）

皮膚生検による病理組織学検査

主な入院疾患

帯状疱疹[帯状ヘルペス]

蜂巣炎＜蜂窩織炎＞

じょく＜褥＞瘡性潰瘍

皮膚悪性腫瘍

*** 泌尿器科 ***

常勤医師

氏名	役職・専門分野
畦元 将隆	第2診療部長兼泌尿器科部長兼臨床研修科部長 日本泌尿器科学会専門医／臨床研修指導医

主な入院疾患

前立腺癌

膀胱癌

腎癌

腎盂尿管癌

前立腺肥大症

尿路感染症

主な手術

尿管ステント留置術

前立腺生検術

膀胱内血腫除去術

経尿道的膀胱腫瘍切除術

経尿道的前立腺切除術

尿管損傷整復術

膀胱部分切除術

陰のう水腫根治術

包茎手術

*** 産婦人科***

常勤医師

氏名	役職・専門分野
渡辺 修	産婦人科部長 日本産婦人科学会専門医／母性保護法指定医／臨床研修指導医
竹内 一郎	医員 日本産婦人科学会専門医／母性保護法指定医／臨床研修指導医
谷貝 顯博	医員 日本産婦人科学会専門医／母性保護法指定医／臨床研修指導医
川村 祐司	医員 日本産婦人科学会専門医

主な入院疾患

子宮の悪性新生物
 卵巣の悪性新生物
 子宮平滑筋腫
 卵巣の良性新生物
 単胎自然分娩
 帝王切開による単胎分娩

主な手術

膣ポリープ切除術
 子宮脱手術
 子宮頸管ポリープ切除術
 子宮頸部（腔部）切除術
 子宮全摘術（腹腔鏡下腔式）
 子宮附属器腫瘍摘出術（開腹、腹腔鏡）
 吸引娩出術
 帝王切開（緊急、選択）
 流産手術（妊娠 11 週までの場合）

*** 眼科 ***

常勤医師

氏名	役職・専門分野
桑山 創一郎	眼科部長 日本眼科学会専門医／臨床研修指導医
曾我 奈里子	医員

2023 年度の状況

9 月に医師の異動がありましたが、引き続き 2 名体制で眼科領域全般にわたり診療を行いました。例年同様、白内障、緑内障、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞症の方が多く受診されました。白内障手術も多くの方に施行しましたが、緊急性の高い疾患や重症疾患に関しては名古屋市立大学病院へ加療をお願いすることもありました。

近隣の眼科医や他科の医師とも連携を図り、患者さんの視機能維持に努めました。

主な検査

1. 視野検査
2. 蛍光眼底撮影
3. 精密眼球運動検査
4. CT、MRI
5. 網膜電位検査
6. 斜視・弱視検査
7. メガネ処方

主な入院疾患

白内障

主な手術

水晶体再建術、網膜光凝固術、後発白内障手術、虹彩光凝固術、眼瞼下垂症手術、硝子体茎頭微鏡下離断術、抗 VEGF 硝子体内注射

*** 放射線科 ***

常勤医師

氏名	役職・専門分野
三毛 壯夫	放射線科部長 日本医学放射線学会専門医／臨床研修指導医

2023 年度の状況

1. 一般診療読影：

基本的に CT、MR、マンモグラフィや一部胸部単純写真の読影
読影レポートは電子カルテ上で web 配信している。

2. 検査：

CT 造影；造影条件の RIS への指示出し。主に看護師による造影。
MR 造影；肝（主に EOB）、前立腺、乳腺などダイナミック造影。
ZIO ワークステーションによる、3D（頭部 MRA など）、MIP、MPR などの画像作成。

3. 検診業務：

胸部単純写真；塵肺健診
胸部 CT 脳ドック
などの読影を行っている。

4. 病診連携(2003 年 1 月より開始)：

検査前問診は午前；外科、午後；内科外来で施行
CT・MR 検査施行し読影報告書作成。医療情報部に印刷依頼。

5. 電カル更新が 2023 年 8 月に施行され、それに伴う種々のパソコン設定を行った。

6. 非常勤医師：

2023 年 7 月から医局都合により非常勤医師派遣は一時中止
2018 年夏より金曜午後が午前派遣となる。
2012 年 4 月より医局人員減少のため、火曜枠休止
2007 年 4 月から金曜午後派遣枠追加。
2003 年 4 月から非常勤医週 1 回（2004 年度からは火曜午後）派遣開始。

7. 所見のある注意すべき症例などのメール報告

2013 年春頃より開始。
2023 年 8 月より電子カルテ更新に伴い読影レポートチェックシステム導入、
主治医によるレポートチェック開始。
チェックシステム利用状況、問題点などについて経過観察する。

Ⅲ. 部署別業務実績

*** 診療放射線室***

<はじめに>

2023 年度は、診療放射線室の年度目標を念頭に置き業務改善、意識改革及び第 16 次中期計画における機器更新を中心に取り組みました。

<活動報告及び実施事項>

- ・病院経営改善のため
 - 1) 地域連携、共同利用促進のための検査説明書改訂及び骨密度測定検査を新たに 提案提出、そのための冊子を作成。
 - 2) 住民健診（胃バリウム検査）の注意事項書及び誤嚥防止注意文章を改訂。
 - 3) 住民乳がん検診、受検者増加のための提案書提出。
 - 4) 電子カルテ等更新による協力要請に技師 1 名を期限付きで派遣。
- ・診療用放射線に係わる安全管理体制に関する規定内容に沿って行動した。
 - 1) 放射線診療に従事するものに対する診療用放射線の安全利用のための研修（年 1 回以上開催義務）
 - ① 新規研修医、新規看護師に対してオリエンテーション時に研修を開催した。
 - ② 医師及び診療放射線検査に係わる職員（臨床検査技師、臨床工学技士、OPE 室及び第 3 外来看護師）に対し、診療用放射線の安全利用のための研修を行った。
 - ③ 放射線運営会議内にて職員放射線従事者の被ばく状況及び血管撮影患者被ばく状況の報告を行った。
- ・第 16 次中期計画－機器更新
 - 1) 一般撮影 FPD システム導入実施
 - 2) 手術室撮影一部 FPD システム導入実施
- ・医療安全に係わる業務改善
 - 1) 体内・体外治療装置の CT・MRI 検査制限に対する取扱一覧を作成し配布した。
 - 2) MRI 室金属持ち込み・吸着事故防止のためストレッチャーに大きく表示し、非対応のものを処分した。
 - 3) 前年度リスクレポートの検討により誤嚥防止冊子を作成、住民健診胃バリウム検査前に受診者に渡し、内容確認を求めることで防止に努めた。
- ・業務改善全般
 - 1) 地域の開業医との連携強化及び施設利用件数の向上の為、CT・MRI の検査枠にこだわらず検査に支障をきたさない限り要望に応えた。（当日依頼も積極的に受け入れた）
また、開業医に配布する CT, MRI 検査予約時の注意事項を作成し配布した。

- 2) 医師、看護師の業務負担軽減のための診療放射線技師タスクシェア／シフトに係わる告示研修の受講を完了した。また、JA あいち厚生連診療放射線室長会議でも協議事項として取り上げ、その内容を看護部と情報共有を行い、タスクシェア／シフトの促進に努めた。
- 3) 放射線機器保守管理費用軽減のため、診療放射線室長会議、診療放射線機器管理委員会の取り組みを参考に当院施設課、文化連と情報共有を行い、業者と見積り等の折衝を行い、コスト削減を行った。
- 4) 放射線科医師からの MRI 画像に関する改善要求に対し、パラメーター、位相方向の変更等改善を行った。

<業務内容>

- ・一般撮影検査・マンモグラフィ検査・ポータブル撮影・骨密度測定検査・X 線 TV 透視検査・血管撮影検査・X 線 CT 検査・MRI 検査・ワークステーションによる画像処理・画像ファイリング・保健事業関連の画像情報を提供しております。
- ・各検査における患者被ばく及び職員の被ばく低減に努めています。
- ・各検査における被ばく線量及び職員の被ばく線量の管理を行っています。

<人員体制>

常勤放射線科医師 1 名（非常勤医師 1 名）、診療放射線技師 10 名（男性 5 名、女性 5 名）、看護師（救急外来、内視鏡室兼務）、受付業務（第 3 外来受付事務員）

<業務実績資料>

・撮影件数

	一般撮影	X 線 TV	血管撮影	CT	MRI	骨密度測定	合計
4 月	2,548	164	6	706	240	58	3,722
5 月	2,950	195	13	695	215	64	4,132
6 月	2,710	232	3	720	245	74	3,984
7 月	2,429	212	3	727	224	66	3,661
8 月	2,519	233	4	761	234	58	3,809
9 月	2,469	263	9	704	193	71	3,709
10 月	2,215	240	7	718	212	63	3,455
11 月	2,259	201	6	667	207	65	3,405
12 月	2,350	216	4	718	244	76	3,608
1 月	2,186	166	6	644	223	54	3,279
2 月	2,237	199	7	645	206	65	3,359
3 月	2,220	160	4	678	236	67	3,365
合計	29,092	2,481	72	8,383	2,679	781	43,488
前年対比	101.5%	91.4%	105.9%	100.7%	93.4%	100.3%	100.1%

・共同利用件数

	CT	MRI	合計
4 月	21	18	39
5 月	22	15	37
6 月	37	23	60
7 月	42	14	56
8 月	32	15	47
9 月	19	17	36
10 月	28	19	47
11 月	16	14	30
12 月	16	19	35
1 月	13	15	28
2 月	19	11	30
3 月	23	15	38
合計	288	195	483
前年対比	120.5%	91.1%	106.6%

・健診業務

	ドック 胸部	ドック マンモ	ドック 骨密度	ドック 脳	ドック 胃	ドック CT・胸部	ドック 体脂肪
4 月	562	26	9	25	64	16	11
5 月	408	25	6	20	94	6	3
6 月	295	51	12	22	165	7	2
7 月	265	54	9	25	134	4	0
8 月	203	47	6	19	101	6	2
9 月	227	51	6	20	118	6	0
10 月	246	56	6	19	127	4	2
11 月	268	48	1	28	138	9	3
12 月	277	53	6	25	138	8	0
1 月	217	31	3	28	112	15	1
2 月	272	46	10	33	132	23	5
3 月	251	47	10	35	91	47	7
合計	3,491	535	84	299	1,414	151	36
前年対比	99.9%	99.3%	102.4%	122.0%	89.3%	90.4%	100.0%

	検診・健診 胸部	検診・健診 塵肺	住民・健診 胸部	住民健診 マンモ	住民健診 胃	合計
4 月	7	1	0	0	0	721
5 月	305	2	183	39	0	1,091
6 月	14	2	231	57	0	858
7 月	2	1	222	56	0	772
8 月	8	0	188	76	71	727
9 月	7	2	279	93	78	887
10 月	5	4	0	0	26	495
11 月	2	1	0	0	0	498
12 月	5	0	0	0	0	512
1 月	7	0	0	0	0	414
2 月	11	14	0	0	0	546
3 月	8	0	0	0	0	496
合計	381	27	1,103	321	175	8,017
前年対比	87.6%	100.0%	112.7%	140.8%	71.4%	99.4%

<資格取得・更新>

施設認定

- ・マンモグラフィ施設
- ・被ばく低減施設

認定技師

- ・検診マンモグラフィ撮影技術認定 A 更新（加藤）
- ・放射線機器管理士更新（松村）
- ・X 線 CT 認定技師更新（武田）
- ・放射線管理士取得（内藤）
- ・「令和 3 年厚生労働省告示第 273 号研修（告示研修）」修了
（佐藤、松村、牧野、加藤、武田、坂東、内藤）

<機器新規・更新>

- ・一般撮影読み取り装置（FPD システム）二室更新：富士フィルム（株）
- ・OPE 室ポータブル FPD システム導入：富士フィルム（株）
- ・一般撮影臥位ブッキー更新：島津製作所（株）

*** 臨床検査室 ***

<はじめに>

- ・臨床検査室の基本方針は、患者さんに安心・安全な医療を提供するために「迅速に正確・精密な検査データ」を届けるよう努めている。

<業務体制>

- ・技 師 数： 14 名（男性技師 7 名、女性技師 7 名）
- ・組織体制： 室長 1 名、課長 1 名、係長 3 名体制
- ・業務部門： 5 部門（外来検査、生理検査、検体検査、細菌検査、病理検査）

<稼働状況>

- ・過去 3 年間の業務実績を次ページに掲載

<実績>

1. 愛知県臨床検査技師会学術部委員 1 名
微生物検査研究班：1 名（班員）
2. 認定資格取得者 13 名
第 1 種衛生管理者：1 名、毒物劇物取扱者：1 名、修士（大学院卒）：1 名、細胞検査士：2 名、国際細胞検査士：2 名、認定病理検査技師：1 名、認定心電検査技師：1 名、日本糖尿病療養指導士：1 名、緊急臨床検査士：1 名、JHRS 認定心電図専門士：1 名、心電図検定 3 級：1 名、心電図検定 4 級：1 名
3. 業務改善
ヒヤリ・ハット事例業務改善を実施：令和 5 年度改善策 2 例実施
4. コスト削減
試薬、材料、外部委託検査において昨年度実績換算で 1,492 万円（税込）削減
5. 参加精度管理（正確度の保障を得るため外部精度管理調査に参加）
愛知県臨床検査技師会精度管理調査、日本臨床検査技師会精度管理調査、日本医師会精度管理調査

・業務実施集計資料	件数			点数		
	令和 03 年度	令和 04 年度	令和 05 年度	令和 03 年度	令和 04 年度	令和 05 年度
尿検査	34,875	33,530	33,705	1,010,558	970,101	975,290
糞便検査	8,246	7,985	8,177	338,086	327,385	335,257
体液検査	101	109	92	6,555	6,590	5,529
血液検査	118,774	109,177	110,437	3,217,754	2,850,334	2,887,207
輸血検査	2,742	2,313	2,357	135,577	117,207	115,219
生化学Ⅰ	705,868	670,608	663,888	9,494,765	9,064,568	8,924,153
生化学Ⅱ	20,377	19,463	20,287	2,450,133	2,280,986	2,381,498
血液ガス	1,975	1,654	1,997	274,525	223,290	269,595
細菌検査	11,364	10,506	10,305	1,373,260	1,330,158	1,411,616
微生物核酸検査	3,765	6,640	806	3,562,650	4,568,339	464,001
免疫検査	47,827	48,358	55,804	2,196,876	4,962,466	6,080,882
病理検査	1,801	1,713	1,823	1,548,860	1,539,740	1,654,380
細胞診	2,875	2,671	2,644	401,200	374,670	379,090
心電図	9,305	8,406	8,629	1,451,270	1,305,440	1,347,960
脳波	95	76	68	89,240	73,470	65,960
肺機能	562	556	488	53,390	52,820	46,360
超音波	3,721	3,430	3,624	2,334,310	2,147,810	2,258,920
その他生理検査	1,647	1,216	1,115	584,590	456,930	377,760
病理解剖	0	2	0	*****	*****	*****
採血	25,620	23,890	24,401	920,979	908,356	933,059
スワブ採取	4,655	10,974	8,861	23,275	274,350	221,525
輸血製剤管理	473	380	332	*****	*****	*****
合計 ①	1,006,709	963,693	960,486	31,475,853	33,842,210	31,139,861
増減比率 (R03 基準)	100.0%	95.7%	95.4%	100.0%	107.5%	98.9%
検体検査判断料	82,049	84,037	79,095	10,919,677	11,235,874	10,524,783
病理診断料・診断加算	1,459	1,231	1,283	831,630	787,840	821,120
輸血管理・適正使用	160	195	152	27,200	33,150	24,880
入院初回加算	528	531	441	10,560	10,620	8,520
時間外加算	1,016	1,283	1,266	203,200	256,600	253,200
管理加算Ⅰ	30,136	33,407	30,947	1,205,440	1,336,280	1,237,880
管理加算Ⅱ	652	*****	*****	65,200	*****	*****
管理加算Ⅳ	260	1,017	909	130,000	508,500	454,500
外来迅速加算	27,672	26,456	26,452	1,209,590	1,160,260	1,142,870
合計 ②	143,932	148,157	140,545	14,602,497	15,329,124	14,467,753
増減比率 (R03 基準)	100.0%	102.9%	97.6%	100.0%	104.9%	99.0%
総合計 ①+②	1,150,641	1,111,850	1,101,031	46,078,350	49,171,334	45,607,614
増減比率 (R03 基準)	100.0%	96.6%	95.7%	100.0%	106.7%	98.9%

*** リハビリテーション室 ***

<はじめに>

リハビリテーションの最大の目標は、対象者が住み慣れた地域で「その人らしく」生き生きとした生活を送ることである。本人家族が思い描く人生の再構築に向けて、入院分野では急性期・回復期（地域包括時期）に合わせて、外来分野では地域のニーズを汲み取りながら、理学療法・作業療法・言語聴覚療法の各部門がそれぞれの特色を生かした訓練・指導を行っている。

<活動報告>

- 1) 5～6月：発達外来の円滑な運用に向けて小児科及び地域連携室との協業を行った。
- 2) 7月：病棟と協業し、転倒予防に向けたリハ専門職としての提案を実施した。
- 3) 令和3年度から継続的に医事課と協業し、総合実施計画書の算定率向上に向けて取り組んだ。
- 4) 令和6年2月18日（日）須ヶ脇老人クラブから講師派遣依頼あり、地域での講演を再開した。
「いきいきと生活するために ～認知症予防と膝関節痛予防～」をテーマに、理学療法士・作業療法士2名が講演した。
- 5) 病棟と協業し、コロナ禍の折、退院時の切れ目のないサービスを視野に入れたリハビリ見学を積極的に実施した。
- 6) 精神科ショートケアの導入開始に向けて取り組んだ。

<人員体制（2024.3.31 現在）>

- ・理学療法士 10名
- ・作業療法士 11名 （身障部門：7名 精神部門：4名）
- ・言語聴覚士 3名
- ・補助 1名

<資格>

認定理学療法士（代謝1名）（循環1名）（健康増進・参加1名）
日本糖尿病療養指導士 1名
呼吸療法認定士 1名
感覚統合療法認定講習 基礎・解釈・治療コース修了 1名
臨床実習指導者講習 修了 15名（PT8名 OT7名）
心不全療養指導士 1名

<研修 等>

藤田衛生保健大学にて心臓リハビリ研修（2023年7月31日～8月4日）参加
稲沢市民病院へ心臓リハビリ見学研修（2023年12月1日及び15日）参加
日本作業療法士学会（2023年11月10日～11月12日）参加

○ 令和5年度実施単位数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
理学療法													
脳血管リハ料	128	160	170	109	124	100	105	119	199	306	211	171	1,902
運動器リハ料	1,509	1,469	1,436	1,170	1,352	1,387	1,476	1,490	1,568	1,258	1,489	1,573	17,177
呼吸器リハ料	532	667	743	638	885	799	662	598	626	461	556	671	7,838
廃用リハ料	888	828	905	769	933	905	1,144	1,047	868	919	924	853	10,983
合計	3,057	3,124	3,254	2,686	3,294	3,191	3,387	3,254	3,261	2,944	3,180	3,268	37,900

作業療法													
脳血管リハ料	451	451	503	471	479	367	398	402	533	475	488	395	5,413
運動器リハ料	598	623	593	498	490	666	753	728	701	532	551	513	7,246
呼吸器リハ料	238	313	388	332	481	540	440	373	368	313	371	540	4,697
廃用リハ料	311	254	270	244	305	273	356	447	459	478	538	471	4,406
合計	1,598	1,641	1,754	1,545	1,755	1,846	1,947	1,950	2,061	1,798	1,948	1,919	21,762

言語聴覚療法													
脳血管リハ料	404	395	465	419	392	338	438	438	431	340	374	377	4,811
廃用リハ料	88	98	144	103	111	171	177	116	196	148	108	90	1,550
呼吸器リハ料	306	389	471	440	540	440	414	411	426	232	372	410	4,851
摂食療法(医療)	132.0	55.5	55.5	75.0	57.0	43.5	193.5	280.5	106.5	22.5	75.0	61.5	1,158.0
合計	930.0	937.5	1,135.5	1,037.0	1,100.0	992.5	1,222.5	1,245.5	1,159.5	742.5	929.0	938.5	12,370.0

* 摂食機能療法は、単位数換算のため1.5倍の値

発達障害(再掲)													
作業療法部門	368	308	327	350	362	297	333	323	375	291	338	321	3,993
言語聴覚療法部門	362	351	384	348	344	319	404	391	358	262	324	348	4,195

○ 実施単位数 前年度対比・目標達成率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
理学療法													
前年度	2,904	2,819	3,120	2,728	2,640	2,937	2,785	2,718	2,740	2,572	2,987	3,304	34,254
今年度	3,057	3,124	3,254	2,686	3,294	3,191	3,387	3,254	3,261	2,944	3,180	3,268	37,900
前年比	105.3%	110.8%	104.3%	98.5%	124.8%	108.6%	121.6%	119.7%	119.0%	114.5%	106.5%	98.9%	110.6%
目標達成率	92.9%	97.1%	91.3%	92.6%	100.0%	100.2%	100.5%	105.5%	101.6%	100.0%	106.7%	101.1%	99.1%

作業療法													
前年度	1,521	1,542	1,785	1,533	1,547	1,686	1,821	1,701	1,688	1,704	1,841	1,976	20,345
今年度	1,598	1,641	1,754	1,545	1,755	1,846	1,947	1,950	2,061	1,798	1,948	1,919	21,762
前年比	105.1%	106.4%	98.3%	100.8%	113.4%	109.5%	106.9%	114.6%	122.1%	105.5%	105.8%	97.1%	107.0%
目標達成率	94.2%	94.0%	88.0%	89.5%	102.5%	113.3%	113.3%	115.7%	122.8%	115.6%	116.7%	114.8%	106.7%

言語聴覚療法													
前年度	968	812.5	942	775.5	902	993.5	885.5	939.5	916.5	841.5	857	1,040.5	10,874
今年度	930	937.5	1,136	1,037	1,100	992.5	1,222.5	1,246	1,160	742.5	929	939	12,370
前年比	96.1%	115.4%	120.5%	133.7%	122.0%	99.9%	138.1%	132.6%	126.5%	88.2%	108.4%	90.2%	113.8%
目標達成率	71.0%	71.9%	76.6%	78.6%	85.5%	81.8%	88.8%	94.6%	90.6%	100.6%	98.2%	99.4%	86.5%

○ 精神科作業療法 延べ患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総患者数	215	227	259	263	324	266	345	282	336	279	196	173	3,165
平均患者数	10.2	10.8	11.3	12.5	14.7	13.6	15.7	13.4	15.3	14.0	10.3	8.2	12.5

*** 臨床工学室 ***

<はじめに>

- 臨床工学技士は 1987 年 5 月(昭和 62 年)第 108 回通常国会において、生命維持装置の管理運用を業に誕生した医療技術職種である。当院では 2008 年に臨床工学技術科開設。医療機器の安全な運用に努め保守管理と診療支援を主な業務にしている。

また、医療に用いられる機器は増加の一途を辿り、厚生労働省より医療機器の安全管理の指針が示され、その管理責任者である医療機器安全管理責任者は当科が担っている。

<実績報告>件数

施設名【 稲沢厚生病院 】				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
保守管理	医療機器点検	院内	当年	273	296	297	281	301	291	279	362	437	412	438	449	4116
			前年	212	173	199	179	240	180	229	280	220	165	197	267	2541
			対比	129%	171%	149%	157%	125%	162%	122%	129%	199%	250%	222%	168%	162%
		院外	当年	0	1	0	0	0	4	0	0	7	1	10	2	25
			前年	1	0	0	6	10	1	1	1	1	2	4	0	27
			対比	0%	0%	0%	0%	0%	400%	0%	0%	700%	50%	250%	0%	93%
	医療機器修理	院内	当年	23	4	15	8	17	15	9	20	14	13	7	7	152
			前年	17	27	12	14	19	10	8	3	13	21	12	16	172
			対比	135%	15%	125%	57%	89%	150%	113%	667%	108%	62%	58%	44%	88%
		院外	当年	5	2	2	1	1	4	3	1	2	3	6	0	30
			前年	3	3	4	5	5	3	0	0	0	0	0	0	23
			対比	167%	67%	50%	20%	20%	133%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	130%
診療支援	心臓カテーテル業務	CAG-PCI	当年	5	7	3	2	1	5	3	4	2	2	4	2	40
			前年	5	5	2	0	5	2	5	6	3	4	5	4	46
			対比	100%	140%	150%	0%	20%	250%	60%	67%	67%	50%	80%	50%	87%
		アブレーション	当年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			前年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			対比	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
		ペースメーカー (インプラント)	当年	1	2	0	0	2	1	3	0	0	3	2	1	15
			前年	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	2	0	5
			対比	0%	0%	0%	0%	0%	0%	300%	0%	0%	0%	100%	0%	300%
		ペースメーカー (チェック)	当年	49	56	50	50	49	51	50	53	49	49	58	52	616
			前年	44	4	13	14	10	12	48	46	46	47	44	37	365
			対比	111%	1400%	385%	357%	490%	425%	104%	115%	107%	104%	132%	141%	169%
	特殊業務	補助循環装置	当年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
			前年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			対比	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	血液浄化業務	慢性期	当年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			前年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			対比	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
		特殊血液浄化	当年	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4
			前年	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	6
			対比	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	67%
	手術室業務	体外循環操作	当年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			前年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			対比	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	#DIV/0!
		自己血回収	当年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			前年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			対比	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	#DIV/0!
		その他	当年	1	0	2	1	1	1	6	2	3	3	1	3	24
			前年	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	0	0	5
			対比	0%	0%	0%	0%	100%	50%	600%	200%	0%	0%	0%	0%	480%
	RFA業務		当年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
			前年	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
			対比	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	200%
	人工呼吸器管理	ラウンド点検	当年	54	48	5	49	39	61	64	21	10	20	27	33	431
			前年	27	35	46	44	50	42	96	64	50	43	32	56	585
			対比	200%	137%	11%	111%	78%	145%	67%	33%	20%	47%	84%	59%	74%
	腹水濾過		当年	2	2	2	4	3	5	4	5	6	4	4	3	44
			前年	2	1	4	1	1	2	5	4	2	2	2	2	28
			対比	100%	200%	50%	400%	300%	250%	80%	125%	300%	200%	200%	150%	157%
	血液採取業務		当年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			前年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			対比	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	診療支援その他		当年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			前年	30	31	70	55	71	45	0	0	0	0	0	0	302
			対比	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
教育	医療機器安全研修		当年	3	3	0	1	4	18	6	6	7	2	2	1	53
			前年	0	4	1	2	0	0	1	1	6	3	2		20
			対比	0%	75%	0%	50%	0%	0%	600%	600%	117%	67%	100%	0%	265%
勤務	技師数		当年	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
			前年	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
			対比	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※臨床工学室が介入した件数で実際の件数と異なる場合があります。

<業務内容>

- ・ 機器管理・・・人工呼吸器・麻酔器・保育器・インファントウォーマ・輸液ポンプ
シリンジポンプ・低圧持続吸引器・除細動器・心電図モニター・
電気メス等の院内医療機器多くの保守点検を行っている。
- ・ 臨床業務・・・血液透析・血漿交換療法・血液吸着・腹水濾過濃縮再静注法・ラジオ波焼灼術・
眼科硝子体手術・心臓カテーテル、心臓ペースメーカー、
遠隔モニタリング、内視鏡等の機器操作を行い他職種と連携し臨床 業務を支援
を行なっている。

<人員体制>

- ・ 2 名

<資格>

- ・ 3 学会合同呼吸療法認定士、MDIC 認定

<機器>

- ・ 西 3 階病棟セントラルモニタ及びベットサイドモニタ (5 台) 更新
- ・ 各種医療機器でインシデント事例あり運用を見直す事や注意喚起報告、必要に応じて勉強会等を行なっている。

<トピックス>

- ・ 2 名、臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修受講

栄養管理室

<はじめに>

栄養管理室は「安全で喜ばれる食事提供」を目標に給食業務と、「食事で治療に貢献」を目標に栄養管理業務を行っています。

<活動報告>

【給食管理業務】

- ・摂食嚥下障害があり、治療食が必要な患者に対応するため、嚥下調整食（軟らかエネルギーコントロール食）を新食種として設定した。
- ・産科入院患者の満足度向上のため、出産後のお祝い膳をリニューアルした。
- ・コスト削減の取り組みとして、4月より食器洗浄業務を委託から直営に変更した。
- ・働き方改革に取り組み、業務改善を行ったことで、年間 133 時間の超過時間が削減できた。また、有給休暇取得日数も 8 日から 9 日と増加した

【栄養管理業務】

- ・管理栄養士はチーム医療の一員として NST、褥瘡、摂食・嚥下、緩和などカンファレンス・ラウンドに参加し、臨床栄養管理に取り組んでいる。
- ・栄養食事指導は小児科の指導が前年比 189.1%と増え、全体でも入院指導が前年比 112.4%、外来指導は前年比 113.7%と増加した。
- ・新型コロナウイルス感染予防のため休止していた母親教室（対象者：妊娠中期）を 10 月より再開した。

<実績報告>

【個人栄養指導（外来／入院／訪問）】

指導内容	2021 年度		2022 年度		2023 年度	
	指導件数	比率(%)	指導件数	比率(%)	指導件数	比率(%)
糖尿病	683	58.2	584	51.1	639	49.7
脂質異常症	110	9.4	119	10.4	102	7.9
胃・十二指腸潰瘍	36	3.1	44	3.9	33	2.6
腎臓病	24	2.0	35	3.1	31	2.4
肝臓病	9	0.8	11	0.9	30	2.3
膵臓病	6	0.5	5	0.4	9	0.7
心臓・高血圧	108	9.2	89	7.8	135	10.5
脳血管障害	3	0.3	2	0.2	1	0.1
がん	14	1.2	49	4.3	35	2.7
低栄養	12	1.0	66	5.8	63	4.9
摂食嚥下障害	21	1.8	26	2.3	38	3.0
その他	129	11.0	101	8.8	169	13.2

訪問栄養指導	18	1.5	11	1.0	4	0.3
合計	1,173	100.0	1,142	100.0	1,285	100.0
外来指導	807	68.8	728	63.7	828	64.4
入院指導	348	29.7	403	35.3	453	35.3
訪問指導	18	1.5	11	1.0	4	0.3
合計	1,173	100.0	1,142	100.0	1,285	100.0
栄養情報提供加算	—		17 件		34 件	

【集団栄養指導実績】

2020 年度より新型コロナウイルス感染予防のため休止中

【年間提供給食数】

区分	食種	2022 年度		2023 年度	
		提供食数	比率(%)	提供食数	比率(%)
患者食 (入院)	常食・産褥食	28,917	16.2	28,888	16.0
	軟菜食	21,938	12.3	11,327	6.3
	分粥食	2,435	1.4	1,930	1.1
	流動食	1,500	0.8	1,131	0.6
	離乳食	11	0.01	31	0.02
	幼児食	197	0.1	563	0.3
	易消化食	2,094	1.2	1,821	1.0
	エネルギーコントロール食	25,099	14.1	42,923	23.8
	肝不全食／肝コントロール食	789	0.4	669	0.4
	ミキサー食	14,369	8.1	16,533	9.2
	たんぱく質コントロール食	1,436	0.8	958	0.5
	ソフト食	12,564	7.1	11,711	6.5
	術後食	2,750	1.5	1,050	0.6
	脂質コントロール食	2,402	1.3	1,845	1.0
	やわらか食	37,865	21.3	35,055	19.5
	遅食	73	0.04	47	0.03
	低残渣・炎症性腸疾患食	952	0.5	1,176	0.7
	嚥下食	2,569	1.4	2,605	1.4
	検査食	396	0.2	421	0.2
	特 C 食	987	0.6	1,267	0.7
	濃厚流動食	10,447	5.9	10,594	5.9
患者食 (外来)	精神デイケア食	5,395	3.0	5,140	2.9
賄食	職員食	1,364	0.8	1,319	0.7

	付添食	102	0.1	206	0.1
	保育食	1,383	0.8	960	0.5
合計		178,034	100.0	180,170	100.0
区分別 食数	患者食（入院）	169,790	95.4	172,545	95.8
	患者食（外来）	5,395	3.0	5,140	2.9
	賄食	2,849	1.6	2,485	1.4
合計		178,034	100.0	180,170	100.0

<人員体制>

- ・管理栄養士 5名
- ・調理師 6名
- ・調理員 8名
- ・調理員（障がい者雇用） 2名
- ・事務員（パート） 1名

<資格>

- ・NST 専門療法士 1名
- ・糖尿病療養指導士 1名

臨床心理室

<はじめに>

病院における臨床心理士の役割は、心につらさを抱えた患者様に寄り添い、困難の中でも自分らしく生きることができるように援助するものである。関わりにおいては心理的側面のみでなく、生物的・社会的視点も含め患者様を総合的に理解することが必須であり、問題解決の援助に加え予防的援助の視点も重要である。また、援助の対象は患者様、およびそのご家族や地域の方々等の関係者も含まれ、包括的な支援が可能である。院内においてはメンタルヘルス相談窓口にもなっており、職員の心理的健康への配慮・啓発活動も担っている。また、院外では地域連携を大切にし、学校や行政機関からの相談や講習会の依頼を積極的に引き受けている。

令和元年は心理職初の国家資格である「公認心理師」が誕生した。当院でも公認心理師資格取得を励行し、令和5年度末時点で4名の公認心理師が在籍している。職務に大きな違いはないものの、公認心理師は多職種との連携や、心の健康に関する知識の普及を図ることが強調されており、チームとしての協働や情報の発信にもさらに力を入れて患者様・職員の皆様の心の健康に貢献していきたい。

<人員体制>

正職員 4名

臨床心理士・公認心理師 両有資格保有者 4名

<業務内容と重点取り組み>

- | | |
|----------------|------------------------------|
| ・ 心理面接 | ・ ソーシャルスキルトレーニング |
| ・ 心理アセスメント | ・ ペアレントトレーニング講習 |
| ・ 精神科デイケア | ・ 糖尿病教室 |
| ・ 行動制限最小化委員会 | ・ 院内カンファレンス（病棟、デイケア、小児科発達外来） |
| ・ 事例検討、心理検査勉強会 | ・ 多職種勉強会講師 |
| ・ メンタルヘルス相談 | ・ 臨床心理その他の実習生指導 他 |

*感染予防のため地域の方や患者様向けの集団プログラムは中止となっているが、ペアレントトレーニングは個別のプログラムとして実施を続けている。

*小児科では、一般外来、発達外来ともお子様への支援と同時に保護者様への支援が必要となる事案や、保健センターや学校など外部機関との連携が必要な事案に対し、小児科医師リハビリスタッフ、ソーシャルワーカーとの協働や、外部機関との連携に力を入れた。

*小児科発達外来では、作業療法士、言語聴覚士、心理士間でのカンファレンスを増やしケース検討を行うことで、患者様に必要な支援を提案・提供しやすい枠組みが確立した。

*他科依頼を受ける仕組み作りができ、認知症の疑われる患者様が精神科を受診せず検査のみを受けることが可能となった。

<院外活動報告>

なし

<取扱総件数>

6,955 件

薬剤部

令和 5 年度は、薬剤師 16 名体制（非常勤含む）のところ勤務時間短縮者 1 名と事務職 1 名・作業職 3 名のスタートとなりました。4 月には 1 名江南厚生病院からの異動で欠員が解消しました。年度末に退職予定 1 名があり、その補充で 6 月に薬学生 1 名の令和 6 年 4 月入職が内定しました。コロナ感染や濃厚接触で自宅待機もあるなか、欠員の解消で病棟担当者の層が厚くなったことや効率的な運用で若手スタッフが健闘してくれたおかげで薬剤管理指導件数を伸ばすことが出来ました。

院外発表では、7 月「第 2 回尾張西支部感染対策合同カンファレンス」において「クリニック・診療所の先生方へ 抗菌薬適正使用について」、11 月「第 2 回愛知県厚生連相互啓発研修会」において「当院白内障手術患者における薬剤師の点眼指導の理解についての調査」、同月「日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2023」において「周産期における糖尿病治療薬の情報と血糖に影響を与える医薬品について～妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師の視点から～」について発表しました。

医薬品全般の供給状況は依然厳しい状態が継続しているが、医薬品の原価率は年々上昇傾向であり薬価差益も減少してきているため、後発品への切り替えによる費用削減を検討してきました。又、後発品全般で年間を通して販売中止や供給停止によるメーカー変更は多数ありました。後発品から除外される医薬品を考慮し、後発医薬品使用割合 80%以上を維持することを目標として取り組み、年間を通して 81%前後で推移し、加算 3（75%以上）維持しました。

1. 薬剤部の概要（令和 5 年 4 月 1 日付）

薬剤師 常勤 15 名 非常勤 1 名（半日）、事務職 1 名 作業職 3 名

2. 処方箋枚数

院内・外の合計外来処方箋枚数は 93,427 枚（前年比 99.0%）でほぼ前年並み、1 日当りの処方箋枚数は、前年比で院内▲9.0 枚/月・院外+6.8 枚/月で、発熱外来受診患者の増加が院外処方増加の一因であると思われます。又、入院処方箋枚数は 24,263 枚（前年比 103.5%）、注射処方箋枚数は 47,592 枚（前年比 102.5%）となり、入院患者数の減少やクラスターによる入院制限の影響も昨年同様にはありましたが微増となりました。

3. 分業率（院外処方箋発行率） 26.2%%（前年比+1.6%）発熱外来受診患者増加の影響

4. 無菌処理業務 化学療法件数 329 件(前年比 76.2%)、TPN 調製件数 291 件(前年比 87.4%)

5. 薬剤情報提供料

薬剤情報提供料 10 点は年間 2,809 件(前年比 81.2%)、情報提供手帳 13 点は年間 65,147 件(前年比 98.1%) お薬手帳の積極的活用に取り組んでおり、お薬手帳ラベルの平均発行率は 94.5%/月でした。

6. 薬剤管理指導業務

薬剤管理指導件数は、4,867 件（前年比 159.1%）、退院時薬剤情報管理指導件数は、472 件（前年比 76.4%）でした。薬剤管理指導件数は大きく増加しましたが、退院時薬剤情報管理指導件数は病棟でのクラスター発生等の影響もあって昨年度を下まわり、薬剤総合調整加算も昨年の 32 件から 10 件と減少しました。少しでも病棟時間を確保して指導件数が増やせるように努めていきたいと思っております。

●令和5年度 薬剤部関連資料

No.1 処方せん・調剤関連データ

		令和5年度 調剤集計表													
令和5年度 調剤集計表		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
外来	診療日数	20	20	22	20	21	20	21	20	21	19	19	20	243	20.3
	処方箋枚数*	5,724	6,042	6,482	6,169	6,657	6,124	5,847	5,806	6,214	5,618	5,575	5,803	72,061	6,005.1
	病院D	5,480	5,824	6,223	5,920	6,373	5,887	5,581	5,536	5,901	5,377	5,281	5,547	68,930	5,744.2
	差%	-4.3%	-3.6%	-4.0%	-4.0%	-4.3%	-3.9%	-4.5%	-4.7%	-5.0%	-4.3%	-5.3%	-4.4%	-4.3%	
	1日当りの処方箋枚数(枚)	今年度	286.2	302.1	294.6	308.5	317.0	306.2	278.4	290.3	295.9	295.7	293.4	290.2	296.5
	前年度	290.6	301.2	277.7	325.7	343.5	311.2	293.0	303.9	313.9	317.4	293.8	294.2	305.5	
	前年対比	▲4.4	0.9	17.0	▲17.3	▲26.5	▲4.9	▲14.6	▲13.6	▲18.0	▲21.7	▲0.4	▲4.1	▲9.0	
	調剤数*	15,357	15,932	16,511	15,953	17,147	15,638	15,354	15,375	15,979	14,981	14,872	15,386	188,485	15,707.1
	総調剤延数*	528,325	536,912	536,004	529,566	571,281	526,092	533,925	535,176	550,945	514,546	503,987	534,879	6,401,638	533,469.8
	平均投与日数(日)	今年度	34.4	33.7	32.5	33.2	33.3	34.8	34.8	34.5	34.3	33.9	34.8	34.0	
	前年度	33.7	33.2	34.6	32.1	30.5	34.3	33.6	32.7	32.8	32.5	33.0	34.4	33.1	
	前年対比	0.7	0.5	▲2.2	1.1	2.8	▲0.6	1.2	2.2	1.7	1.9	0.9	0.3	0.9	
院外	処方箋枚数*	1,881	1,904	1,976	1,909	1,963	2,173	2,301	2,118	2,469	2,160	2,096	2,112	25,062	2,085.5
	病院D	1,850	1,874	1,952	1,885	1,931	2,136	2,227	2,062	2,400	2,101	2,027	2,052	24,497	2,041.4
	差%	-1.6%	-1.6%	-1.2%	-1.3%	-1.6%	-1.7%	-3.2%	-2.6%	-2.8%	-2.7%	-3.3%	-2.8%	-2.3%	
	1日当りの処方箋枚数(枚)	今年度	94.1	95.2	89.8	95.5	93.5	108.7	109.6	117.6	113.7	110.3	105.6	103.3	
	前年度	99.3	97.6	91.9	95.6	94.5	103.1	95.9	92.2	99.8	95.0	94.6	97.9	96.4	
	前年対比	▲5.2	▲2.4	▲2.0	▲0.1	▲1.0	5.6	13.7	13.7	17.8	18.7	15.7	7.7	6.8	
	調剤数*	4,728	4,760	4,914	4,765	4,788	5,273	5,525	5,137	5,886	5,106	5,042	5,142	61,066	5,088.8
	総調剤延数*	214,161	206,926	224,786	210,240	213,797	226,578	221,141	208,711	247,446	199,225	215,848	204,957	2,593,816	216,151.3
	平均投与日数(日)	今年度	45.3	43.5	45.7	44.1	44.7	43.0	40.0	40.6	42.0	39.0	42.8	39.9	42.6
	前年度	44.2	43.3	44.7	44.7	44.2	45.4	44.3	43.8	45.9	44.8	42.9	45.3	44.5	
	前年対比	1.1	0.2	1.0	▲0.6	0.5	▲2.4	▲4.3	▲3.1	▲3.9	▲5.8	▲0.1	▲5.4	▲1.9	
診療日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	30.5
入院	処方箋枚数*	1,903	2,166	1,977	1,914	2,033	1,894	2,180	2,107	2,106	2,057	1,968	1,958	24,263	2,021.9
	1日当りの処方箋枚数(枚)	今年度	95.2	108.3	89.9	95.7	96.8	94.7	103.8	105.4	100.3	108.3	103.6	98	100.0
	前年度	94.8	96.2	91.0	94.3	97.6	96.7	97.6	96.1	91.2	99.3	101.7	101.2	96.5	
	前年対比	0.4	12.1	▲1.1	1.4	▲0.8	▲2.0	6.2	9.3	9.0	9.0	1.8	▲3.3	3.5	
	調剤数*	4,646	5,535	4,949	4,826	5,013	4,823	5,456	5,285	5,316	5,311	5,061	4,801	61,022	5,085.2
	総調剤延数*	30,957	37,274	33,710	31,202	34,768	31,700	36,060	34,928	38,391	36,393	34,070	32,059	411,512	34,292.7
	平均投与日数(日)	今年度	6.7	6.7	6.8	6.5	6.9	6.6	6.6	7.2	6.9	6.7	6.7	6.7	
	前年度	7.1	6.6	6.6	6.5	7.0	6.9	6.6	6.8	7.1	6.4	6.8	7.1	6.8	
	前年対比	▲0.5	0.1	0.2	▲0.1	▲0.1	▲0.3	▲0.0	▲0.2	0.1	0.4	▲0.1	▲0.4	▲0.1	
	注射処方箋枚数*	今年度	4,442	4,610	3,764	4,008	4,205	3,555	4,020	3,845	3,754	3,501	3,879	47,592.0	3,966.0
	前年度	3,812	3,730	3,584	3,720	4,684	4,238	3,917	3,869	3,685	3,642	3,448	4,078	46,407.0	3,867.3
	前年対比	630	880	180	288	▲479	▲683	103	▲24	69	▲141	431	▲69.0	98.8	

※薬剤科部門システムから抽出したデータより資料を作成しています。削除・中止についても漏算されず、システムから出力された全データをカウントしておりますのでご了承ください。

No.2 薬剤情報提供・薬剤管理指導・無菌製剤処理データ

令和5年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
全診療日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366		
薬剤情報提供料		10点	241	240	244	239	255	218	241	224	247	208	217	235	2,809	
情報提供		手帳13点	5,156	5,460	5,848	5,585	5,902	5,636	5,233	5,210	5,622	5,209	5,008	5,278	65,147	
無菌製剤処理加算		40点	37	9	5	4	72	25	23	11	32	32	22	19	291	
		45点	46	35	32	32	29	23	20	26	28	21	18	19	329	
		325点	106	155	169	167	197	155	191	193	211	180	192	191	2,107	
薬剤管理指導料		380点	159	215	209	193	214	206	260	260	252	266	280	246	2,760	
		350点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
医薬品安全性情報等管理体制加算		50点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
退院時薬剤情報管理指導料加算		90点	36	45	45	31	44	40	42	51	41	28	34	35	472	
麻薬管理加算		50点	2	5	12	10	8	3	1	5	8	6	7	4	71	
入院実患者数			405	414	421	423	459	432	424	462	444	419	419	407	5,129	
指導患者数			210	249	244	251	250	240	281	277	273	264	276	272	3,087	
合計点数			171,198	211,690	219,099	207,500	233,166	209,888	236,964	237,945	246,521	234,422	241,174	231,484	2,681,051	
外来診療日数		20	20	22	20	21	20	21	20	21	19	19	20	243		
内科		14	9	5	4	69	9	23	11	32	32	20	17	245		
精神科												2		2		
外科		23				3	16						2	44		
脳神経外科														0		
皮膚科														0		
耳鼻咽喉科														0		
産婦人科														0		
整形外科														0		
泌尿器科														0		
無菌製剤処理加算		40点	37	9	5	4	72	25	23	11	32	32	22	19	291	
前年度			8	40	48	67	34	13	22	24	11	23	9	34	333	
前年対比無菌製剤処理加算		40点	462.5%	22.5%	10.4%	6.0%	211.8%	192.3%	104.5%	45.8%	290.9%	139.1%	244.4%	55.9%	87.4%	
			外来：入院	外来：入院	外来：入院	外来：入院	外来：入院	外来：入院	外来：入院	外来：入院	外来：入院	外来：入院	外来：入院	外来：入院		
内科		10	4	9	6	4	3	4	2	1	1	2	1	1	2	56
精神科															0	
外科		23	3	21	19	2	20	1	18	1	12	3	13	2	17	211
閉鎖式接続器具使用		180点		1		1		3	1	1	1		6	2	9	3
産婦人科			1	1	1		1	1		1	1	5	4	6	3	32
整形外科																
泌尿器科			5	3	4	3	3	2		1	1	3	3	2	2	32
無菌製剤処理加算		45点	46	35	32	32	29	23	20	26	28	21	18	19	329	
前年度			37	32	37	41	43	45	36	33	30	31	34	33	432	
前年対比無菌製剤処理加算		45点	124.3%	109.4%	86.5%	78.0%	67.4%	51.1%	55.6%	78.8%	93.3%	67.7%	52.9%	57.6%	76.2%	
内訳 外来			39	34	30	27	25	19	15	23	24	19	16	16	287	
内訳 入院			7	1	2	5	4	4	5	3	4	2	2	3	42	

看護部

<看護部理念>

『私達は地域の人々に信頼される安全な看護を提供します』

<看護部基本方針>

1. 専門職として質の高い看護を提供します。
2. 医療チームの一員として看護職の責任と役割を果たします。
3. 個々のキャリア開発を支援します。
4. 看護のやりがいや、喜びを共感できる職場環境を整えます。

<2023 年度看護部目標>

1. 看護実践能力を高め、看護の質向上を図る
 - 1) 教育を充実して人材を育成する
 - 2) 倫理的視点に立った看護が提供できるよう取り組む
 - 3) 安全な看護を提供する
2. 働きやすい職場環境を整え、職員の心身の健康を保持する
 - 1) 心身ともに健康で安全な職場作りを実施する
 - 2) タスクシフト・シェアを推進し業務改善する
3. 病院経営に参画する
 - 1) 施設基準が維持できるように取り組む
 - 2) 適正な備品管理（固定資産の管理、薬剤・薬品・備品の管理）
4. 地域活動に貢献する
 - 1) 看護の日のイベントや各種地域行事へ参加することにより地域に貢献する

<主な活動報告>

1. 看護実践能力を高め、看護の質向上を図る
 - 1) 教育を充実して人材を育成する
 - ・ラダー外研修（対象：レベルⅡ・レベルⅢ）フィジカルアセスメントの研修を開催し、対象受講者の 82%が受講した。フィジカルアセスメントの再確認はできたが、看護記録や日々の行動につながっているかは評価はできなかった。
 - ・ラダー認定申請者：レベルⅠ7名・レベルⅡ4名・レベルⅢ3名が認定された。
 - ・PDPの研修は予定通り開催できた。来年度も計画をたて継続する。問題解決能力を高めていくには継続が必要である。
 - ・感染管理認定看護師の後進者の育成では1名が認定看護師教育機関に合格、2024年5月より受講。
 - ・緩和ケア認定看護師1名、感染管理認定看護師1名を新規採用できた。次年度は院内教育、患者看護の質向上に繋げていく。
 - ・特定行為研修終了看護師の院内活動についての運用を作成し、医局に周知した。現在活動中である。

2) 倫理的視点に立った看護が提供できるよう取り組む

- ・看護部ACP推進チーム会の発足に向けて準備した。(がん関連の認定看護師を中心に規程の作成、運用マニュアルの作成、意思決定における説明書・同意書の作成等)
- ・各病棟はACPについて勉強会を開催し、スタッフの意識の向上に取り組んでいる。また、日々の患者や家族の関わりも意思決定支援としての記録に残すことができた病棟もある。
- ・外来では意思決定支援でのIC同席は前年度データとの比較では、月平均40件から63.4件に増加。病棟への申送りができた事例もある。
- ・身体拘束解除、低減に向けた取り組みについては、各部署、身体拘束解除、低減にむけカンファレンスを行い取り組んだが、結果として若干増加した。
- ・高齢者の特殊性や知識不足という意見から、病棟内の認知症ケア専門士に相談し高齢者の特殊性や看護について勉強会を計画し実施した部署もある。また、抑制ではなくマフの活用を始めたが、定着には至っていない。
- ・精神科は患者の精神状態や処置に応じ、適宜、身体拘束解除に関するカンファレンスを行っている。カンファレンスの内容が記録に残せていないことがあるので、記録についても今後の課題である。

3) 安全な看護を提供する

- ・看護基準手順委員会から内服セット方法についての手順を各部署へ周知し、統一した方法で実践している。
- ・手術室のルールとなっていなかった「外科手術中の糖尿病がある患者の対応を行なう為のセット」内容について明文化された。また、「婦人科手術の病理検体の取り扱い」の手順作成を行った。眼科緑内障手術で使用するマイトマイシンの付着した器械の取り扱いについてのルールについて周知した。
- ・転棟転落について
看護部リスク委員会より転倒転落についての再周知の啓蒙活動を行った。各部署転倒事例についてカンファレンスで話し合い情報共有は行っていた。2022年度 転倒転落Ⅲb8件 → 2023年度 転倒転落Ⅲb8件で減少できなかった。
- ・誤薬、誤認については、2022年度 薬剤のリスク242件 → 2023年度 薬剤リスク239件であった。内容の分類から無投薬のリスクが前年度66件 → 71件と若干増加した。看護基準手順委員会で内服セット方法の見直しが行われ各部署へ周知され統一した方法で実践している。継続できているか今後確認をしていく。

2. 働きやすい職場環境を整え、職員の心身の健康を保持する

1) 心身ともに健康で安全な職場作りを実施する

- ・コロナ罹患患者述べ52名あり、院内ルールに沿って対応出来た。
- ・職員健診受診率100%
- ・メンタルによる療養休暇2名あったが、3月末までには1名は復職できた。
- ・各部署、朝の会や昼のカンファレンスで患者の情報を共有し応援の調整は行った。感染症の罹患や家族が体調を崩すなど、急な休みがあり、急な勤務の変更など多く、スタッフの負担は大きかった。
交代者が不利な勤務にならない様に調整をしてきたが体調への影響はあった。
- ・平均有給休暇の取得は平均10日であった。(前年度平均11日)

2) タスクシフト・シェアを推進し業務改善する

- ・他職種との業務調整会議を9回/年実施した。MEよりインスピロンの必要物品が揃っていない、保管場所が決まっていないという現状があるため、業務の効率化と業務負担軽減を目的にインスピロンの必要物品をセット化しMEセンターで一元管理されることになった。また、ベッドサイド
モニターの時計合わせやAEDの点検についてはMEが行ってくれることになった。
- ・中材業務を行っている業者に、看護師の行っていたパソコンと電話の拭き掃除を一部依頼できた。
- ・医師の休日一覧表を外来係長が作成していたが、事務が作成しているシートで共有できるようにした。

3. 病院経営に参画する

1) 施設基準が維持できるように取り組む

- ・病床稼働率は急性期 80.5% (未達) 地域包括ケア病棟 83.5% (未達) 精神科 82.4% (達成)
外来 576.9 名/日 (未達)
- ・病床再編も考慮し、適正な看護職員の配置・病棟管理を実施するために、採用活動を行った。
今年度の目標が 176 名であったが、6 名不足で未達。今後も安定配置を目指す。
- ・採用活動については、病院ホームページ、マイナビ看護学生の情報を更新し情報提供を行った。
業者からの情報を元に病院名の認知度向上に努めた。令和 6 年度の新規採用看護師は 16 名採用。
- ・手術室は手術状況により、午前中他部署の応援、午後手術室勤務という勤務など柔軟な勤務を行った。今後も継続する。
- ・地域包括ケア病棟：レスパイト入院 平均 5 人/月 レスパイト入院の受入れを目標値であったが平均 4.7 人/月であり未達。
- ・精神科の合併症治療入院患者の割合が前年度は 46%、今年度は 53%と増加した。

2) 適正な備品管理（固定資産の管理、薬剤・薬品・備品の管理）

- ・薬品の管理については薬剤師と相談しながら定数管理ができた。
- ・手術室では期限が近いものは、日付を記入し使用できるものは医師にも相談しながら管理できた。
- ・外来は物品の紛失購入が 1 件あったが、滅菌期限内で使用できるよう定数、定位置の見直しを行った。

4. 地域活動に貢献する

1) 看護の日のイベントや各種地域行事へ参加することにより地域に貢献する

- ・杏和高校へ 20 回 8 名の職員が授業を実施した。計画通り実施できた。
- ・地域行事等に述べ 11 名を以下に派遣した。

アイコクアルファ手当訓練:3 名 闊歩大会:2 名 そぶえウォーキング大会:1 名

稲沢夏祭り:2 名 そぶえ夏祭り:1 名 (雨天中止) はなのきの里:講師として認定看護師 2 名

稲沢地域 看護・介護研究会:講師として認定看護師 1 名

能登半島地震における DMAT、JMAT への派遣 看護師 3 名

*** 医療安全・感染制御室***

<はじめに>

医療安全・感染制御室では「医療安全管理課」と「感染制御課」で構成され、それぞれの担当で発生する問題や予測される安全対策に対し業務を担う部署である。

<人員体制>

医師 1 名（専任）・看護師 3 名（医療安全専従・感染対策専従）

<活動報告>、<実績報告>

【医療安全管理課】

1、医療安全に関する情報収集と必要な情報の提供

- ・医療機関内・外の情報は医療安全推進委員会（病院・部門）を通じて提供
・・・ 毎月
- ・インシデント・アクシデントレポート集計報告 ・・・ 毎月
- ・日本医療評価機構からの情報提供・・・毎月
- ・マニュアルの周知や見直し・・・ 適宜

2、職員への教育研修の実施

- ・職員全体研修 ・・・ 2 回

第 1 回 医療安全全体研修会（オンライン講演、e ラーニング）

日時：令和 5 年 8 月 4 日（金）17 時 15 分～18 時

内容：第一部「病院の電源設備について」

資料提供：井上係長（臨床工学士）

第二部「あなたは不安なく MRI 室に入れますか？」

資料提供：松村係長（診療放射線技師）

e-ラーニング・テスト配信期間：令和 5 年 8 月 29 日（火）～10 月 10 日（火）

参加者数：428 名

第 2 回 医療安全全体研修会（資料配布・回覧）

内容：医療安全活動報告（発表 16 部署）

参加者数：415 名

- ・病院オリエンテーション研修（医療安全）・・・ 1 回
- ・看護部ラダー研修（医療安全）・・・2 回
- ・看護部対象出前講座：「心電図電極の装着とパルスオキシメーターの基礎知識」

資料提供：井上係長（臨床工学士）

日時：令和 5 年 9 月 12 日・13 日・14 日・19 日・21 日

参加者：89 名

- ・看護部対象出前講座：「弾性ストッキングの効果と正しい装着方法」

資料提供：カーディナルヘルス株式会社

日時：令和 5 年 10 月 23 日（月）・10 月 26 日（木）

参加者：51 名

3、医療安全対策状況の把握・分析・業務改善の推進

- ・院内巡視 …… 管理室による院内巡視 適宜
- ・部内カンファレンスの実施 …… 1回/週

4、患者・地域への情報提供

- ・患者誤認について揭示

5、医療安全管理指針、医療安全体制製図の改正

6、地域連携相互ラウンド

- 1) 評価シートに沿って確認し院内ラウンド実施し情報共有を行った。

〈連携加算2病院訪問〉

開催日時：令和5年7月28日（金）14時～16時

開催日時：令和6年2月9日（金）15時～17時

場 所：北津島病院

〈連携加算1病院訪問〉

開催日時：令和5年7月5日（水）14時～16時05分

開催日時：令和6年2月28日（水）14時～16時40分

場 所：海南病院

〈連携加算1ラウンド〉

開催日時：令和5年7月13日（木）14時～16時30分

開催日時：令和6年2月22日（金）14時～17時

場 所：稲沢厚生病院

7、医療安全対策地域連携病院担当者会議を実施し情報共有を行った。

- 1) 開催日時：令和5年8月8日（火） 14時30分～15時30分

場 所：あま市民病院

出席者：海南病院、稲沢厚生病院、偕行会リハビリテーション病院、
北津島病院、あま市民病院、大雄会第一病院、津島市民病院
尾張かにえ温泉病院

- 2) 開催日時：令和6年3月19日（火）14時～14時30分

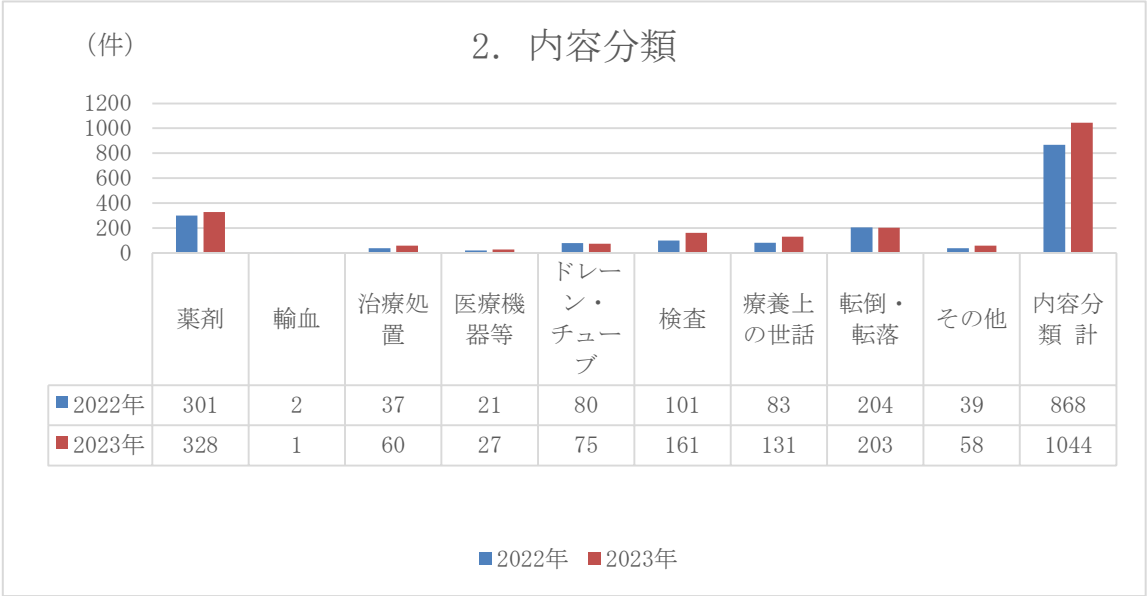
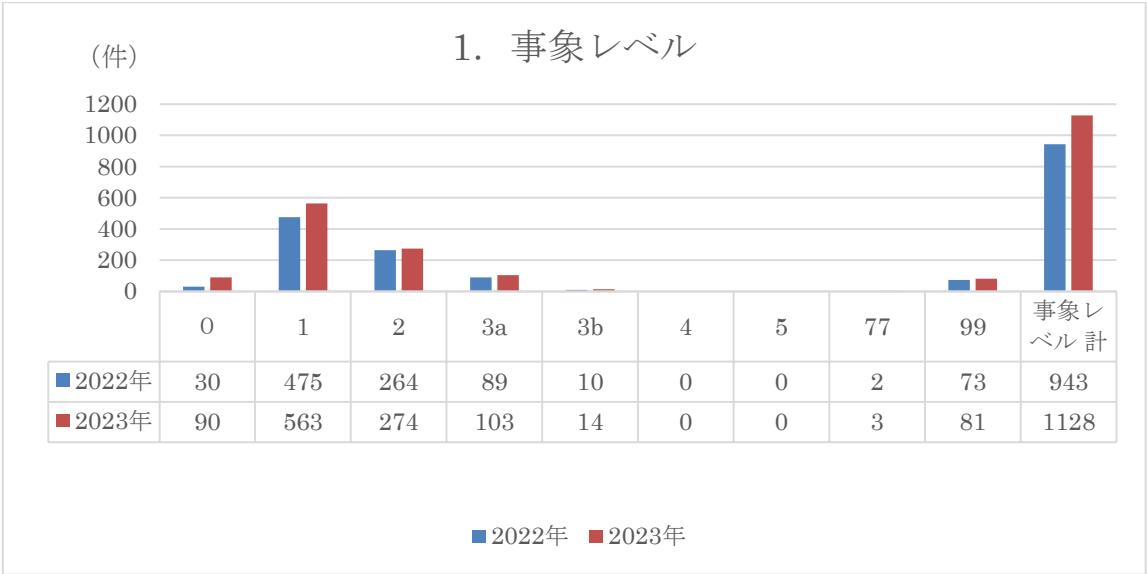
開催場所：あま市民病院

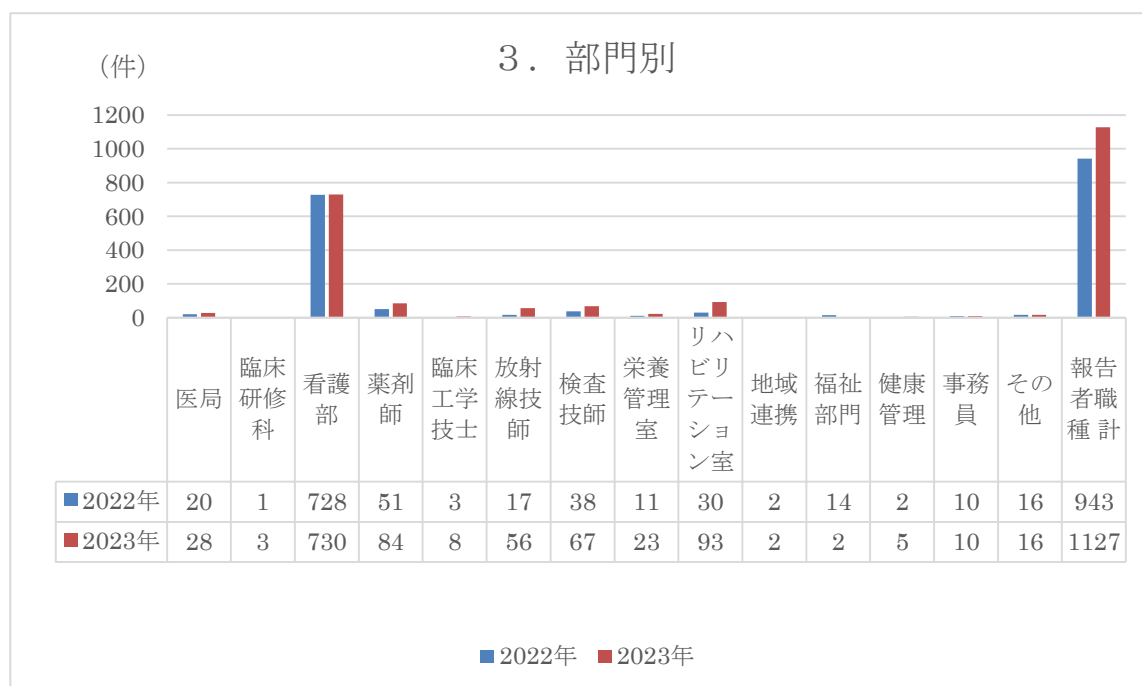
出席者：海南病院、稲沢厚生病院、偕行会リハビリテーション病院、北津島病院
あま市民病院、大雄会第一病院、津島市民病院、尾張かにえ温泉病院

＜業務内容＞

- ・医療安全に関する情報収集と必要な情報の提供
- ・職員への教育研修の実施
- ・医療安全対策状況の把握・分析・業務改善の推進
- ・医療安全管理指針等のマニュアルの整備
- ・患者・家族からの相談、調査
- ・医療紛争対応
- ・死亡事例検討会

8、2023 年リスク報告書





【感染制御課】

1. 院内感染防止対策の実施状況の把握および管理上の問題点の明確化

- ・ 院内巡視（ラウンド） 1 回/週

2. サーベイランスの実施

- ・ 微生物サーベイランス
- ・ 手指衛生サーベイランス
- ・ 中心静脈カテーテル関連血流感染サーベイランス
- ・ 尿道留置カテーテル関連尿路感染サーベイランス
- ・ 人工呼吸器関連肺炎サーベイランス
- ・ 手術部位感染サーベイランス

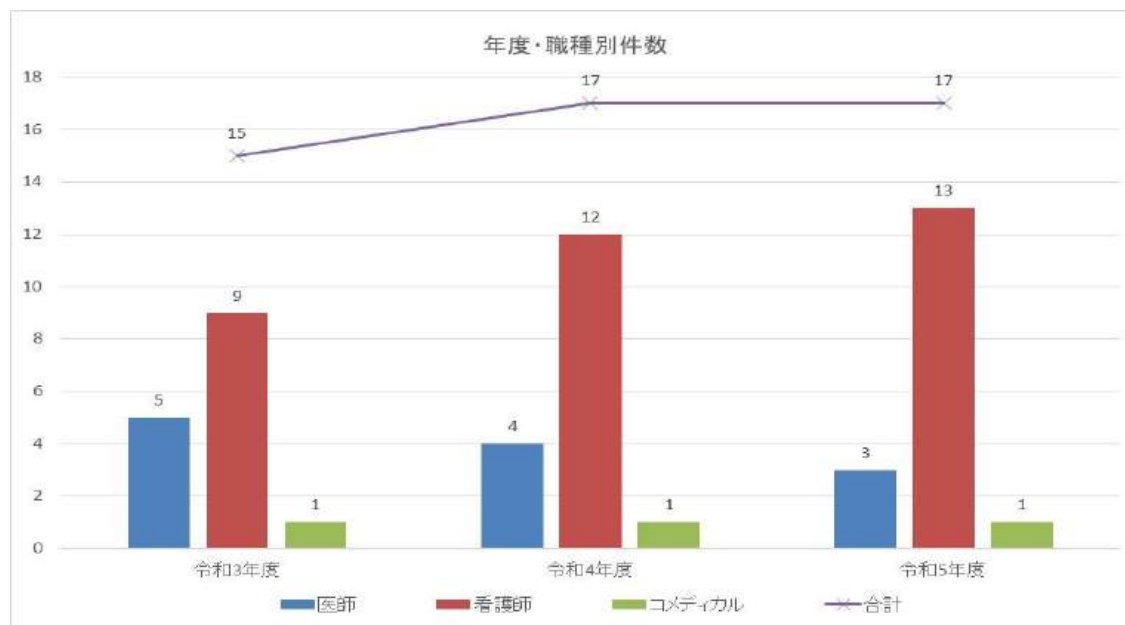
3. 院内感染対策マニュアルの作成および改訂

- ・ 第Ⅵ章 感染症の届出に関するマニュアル改訂
- ・ 改訂新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の疑い含む院内感染対策マニュアルの改訂 等

4. アウトブレイクの予兆の把握と対応

5. 針刺し・血液・体液曝露事例の検討と対策の普及

- ・令和5年度は、17件/年（100稼動病床数あたりの針刺し件数6.8）の針刺し事例が発生した。



6. 感染に関する各種コンサルテーション

7. 院内感染防止対策の教育

開催月日	研修会
令和5年4月5日	新入職員に対するオリエンテーション テーマ 標準予防策、職業感染防止対策、医療廃棄物について
令和5年10月30日 ～11月13日	第1回 院内感染対策全体講演会 テーマ 医療関連感染の予防 ～医療従事者の手による広がりを考える～
令和5年10月30日 ～11月13日	第1回 抗菌薬適正使用講演会 テーマ 経口抗菌薬のススメ ～超高齢化社会における感染症治療の秘訣～
令和6年3月11日 ～3月25日	第2回 院内感染対策全体講演会 テーマ 個人防護具（PPE）の安全な着脱方法について
令和6年3月11日 ～3月25日	第2回 抗菌薬適正使用講演会 テーマ 黄色ブドウ球菌感染症

8. 最新の感染情報や感染予防策など職員への情報提供

- ・ICT ニュース発行
- ・新型コロナウイルスに関する情報提供（掲示板およびメール配信）

9. 地域連携

1) 感染対策合同カンファレンス、新興感染症等の発生を想定した訓練

第1回	カンファレンス	令和5年05月23日(火) 15時～16時
第2回	カンファレンス	令和5年08月22日(火) 15時～16時
第3回	カンファレンス・訓練	令和5年12月19日(火) 15時～16時
第4回	カンファレンス	令和6年03月12日(火) 15時～16時

<参加者>

感染対策向上加算1の医療機関、感染対策向上加算2の医療機関
感染対策向上加算3の医療機関、愛知県清須保健所・一宮市保健所、
稲沢市医師会・一宮市医師会

2) 相互ラウンド

- ・感染対策向上加算1を算定している医療機関と感染対策について相互評価

稲沢市民病院のラウンド	令和5年11月21日(火) 14時～16時
稲沢厚生病院のラウンド	令和5年12月12日(火) 14時～16時

3) 感染防止対策地域連携ラウンド

- ・感染対策向上加算2又は加算3を算定する医療機関に赴き、院内感染対策等に関する助言

4) 尾張西部 感染対策合同カンファレンス

第1回	カンファレンス	令和5年10月11日(水) 14時～15時
第2回	カンファレンス	令和6年02月03日(土) 14時～15時

<参加者>

感染対策向上加算1施設：4施設、稲沢市医師会・一宮市医師会、
稲沢市および一宮市医師会所属の院内感染管理者

健康管理センター

<はじめに>

令和 5 年度においては、施設内ドック・健診では協会健保から共済ドックへの移行が顕著で、より単価が高くなる傾向から収入が増加した（前年比 104.8%）。

5 月から 9 月の稲沢市住民健診・がん検診は、予約制を開始したことで受診者の待ち時間大幅短縮と期間内の業務量の平均化を実現した。さらにはハガキ送付やホームページでの P R などの取り組みが受診者数の増加（前年比 109%）に繋がった。

その他、インフルエンザ予防接種は、例年 J A に出向く集団実施や病院職員の集団接種のほか、2 年間利用のなかった近隣企業アイコクアルファの集団接種を再開し、大きな増収（前年比 +438 件 +190 万円）となった。

<業務の概要と実績>

- ① 企業健診、各種健診
- ② 各種人間ドック
- ③ 稲沢市国保特定健康診査・がん検診
- ④ 協会けんぽ（生活習慣病予防健診）
- ⑤ 特定保健指導
- ⑥ 予防接種

		件 数		収 入	
		R4	R5	R4	R5
①	企業健診、各種健診	2,476	2,417	19,396,610	19,556,293
②	各種人間ドック	1,431	1,473	56,336,773	59,027,118
③	稲沢市国保特定健康診査・がん検診	1,925	2,101	25,407,322	27,197,357
④	協会けんぽ（生活習慣病予防健診）	1,024	995	23,599,839	23,537,550
⑤	特定保健指導	78	77	1,267,976	910,696
⑥	予防接種	891	1,329	2,770,570	4,681,480
合 計		7,825	8,392	128,779,090	134,910,494

<2024 年度に向けて>

JA 組合員ドックの件数拡大を図るとともに、ニーズのあるオプション追加について、広報を強化し健診単価の増に取り組む。

要精密検査受診者については、積極的な外来予約への誘導と、精検受診勧奨に取り組み当院の外来受診者増加につなげたい。

地域医療福祉連携部・地域連携室 地域医療連携課

<はじめに>

地域医療連携課は、紹介患者や検診での二次精検等の診察予約・高額医療機器（CT・MRI 等）を使用した検査（共同利用）の外部からの予約を行っています。時間外（17:00～19:00）での共同利用も実施しており、利便性を図ることで地域の医療機関からの紹介件数の増加を目指しています。紹介窓口では紹介患者を対象に、受付業務を一元化して受付時間の短縮・効率化を図り患者サービスの向上に努めています。

地域の医療機関等と連携を深めるために、当院のトピックス・お知らせ等をタイムリーに配信し、夏期・冬期には、地域の医療機関や介護施設への挨拶周りを実施しています。地域の医療機関の先生方に参加していただき開催する紹介症例検討会は、新型コロナウイルス感染症状況を配慮しながら実施しました。

入退院支援センターは、患者が住み慣れた地域で継続して生活できるよう入院前から患者・家族と関わっています。退院困難が予測される場合は、患者状況を把握した上で必要な部署・部門へ介入を依頼するなど、患者が安心して退院できるよう支援を継続しています。入院前より介入することで、外来、病棟双方の業務の効率化も図っています。退院支援については、退院支援看護師が中心となり 1 週間に 1 度、理学療法士、MSW等多職種連携して退院支援カンファレンスを実施しています。患者によっては数回カンファレンスを行い退院後の方向性などの確認をしています。他施設・他部門と連携して情報共有を行い、退院支援の充実を図ることができるよう取り組んでいます。

<業務内容>

1) 地域の医療機関と連携について

(1) 稲沢市在宅医療・介護連携推進協議会等に参加。

6 月、12 月参加

(2) 外科診療の PR のため医療機関を訪問。

外科 高山医師 林医師………9 件

(3) 夏期・冬期に地域の医療機関を訪問して当院の情報提供。

(4) 毎月、月末に地域の医療機関に診療担当医表・当直表等を配信。

(5) 各医療機関からの研修会等の案内を PDF に取り込み、掲示板にて配信。

(6) 地域の医療機関からの意見、質問等の対応と報告。

(7) 稲沢地域 看護・介護研究会を開催

8 月、9 月、12 月、1 月に研修会を開催。2 月に情報交換会を開催。

2) 紹介・共同利用予約について

(1) 患者紹介・施設利用のご案内ファイルの内容、ホームページの変更。

3) 入退院支援センターについて

(1) 入院前から退院後の状況・生活を見据えて、継続的に安心して療養生活ができる病院をめざし、入院・退院に関する基本的な情報提供と相談業務を一元化・標準化。

(2) 入退院支援看護師による退院支援

退院支援看護師が病棟看護師・理学療法士・MSW等多職種と連携して定期的にカンファレンスを行ない、退院支援を実施

<人員体制>

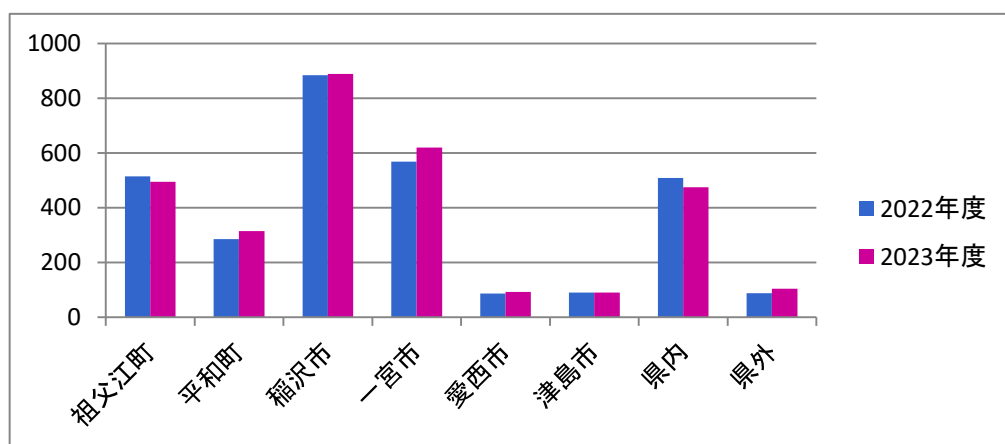
看護師 4名

事務 3名

<実施事項>

紹介患者数 地域別

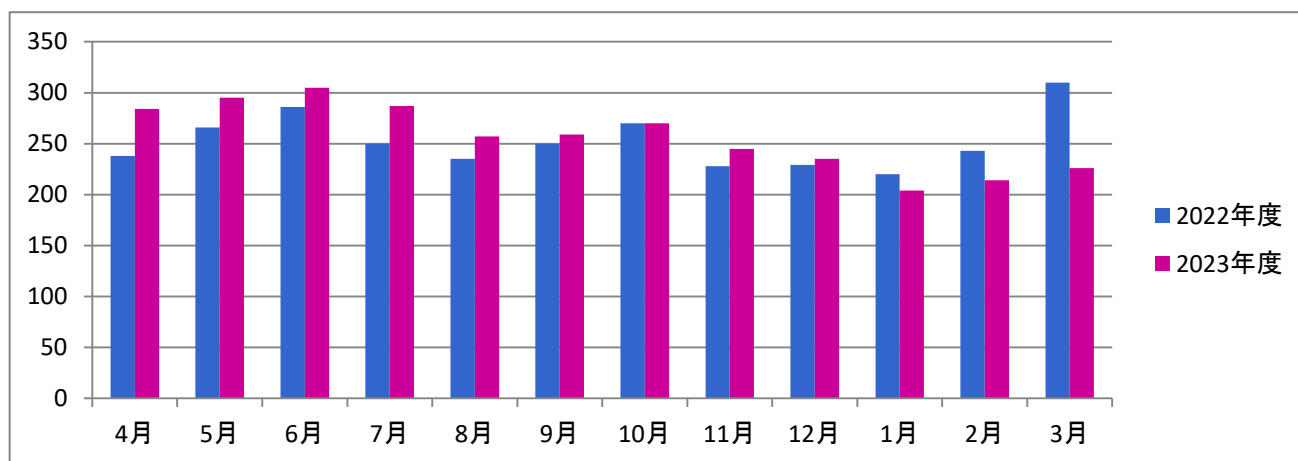
	祖父江町	平和町	稲沢市	一宮市	愛西市	津島市	県内	県外	合計
2022年度	514	285	884	568	87	90	509	88	3025
2023年度	495	315	889	620	93	90	475	104	3081
前年対比	96.3	110.5	100.6	109.2	106.9	100.0	93.3	118.2	101.9



紹介患者数は 3,081 件で昨年度の 3,025 件に比べ前年対比 101.9%と増加している。

紹介患者数月別

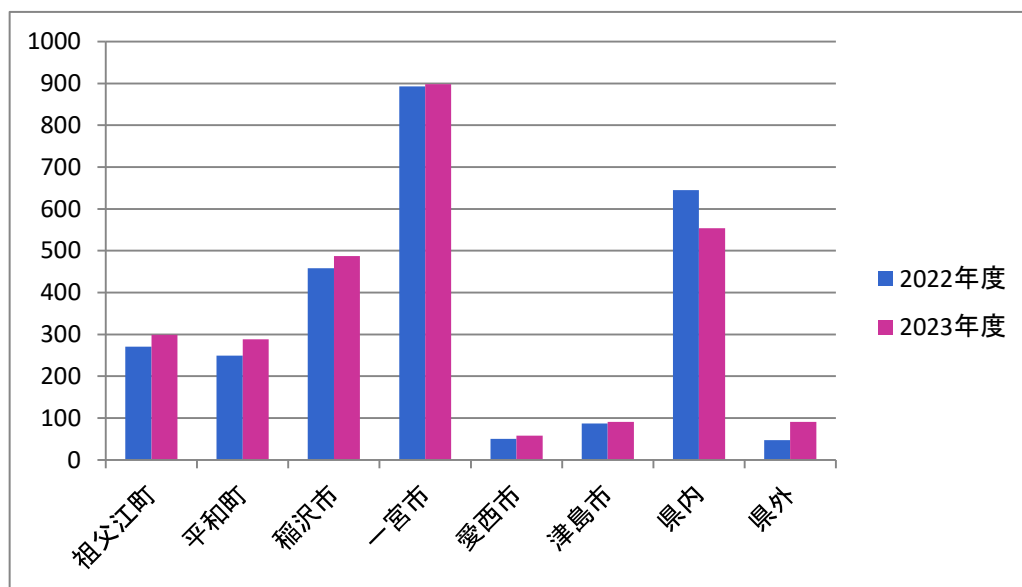
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	238	266	286	250	235	250	270	228	229	220	243	310	3025
2023年度	284	295	305	287	257	259	270	245	235	204	214	226	3081
前年対比	119.3	110.9	106.6	114.8	109.4	103.6	100.0	107.5	102.6	92.7	88.1	72.9	101.9



月別にみると、4月、5月、6月、7月、8月、9月、11月、12月が昨年度に比べて増加している。紹介件数が多い月は6月の305件で少ない月は1月の204件となっている。

逆紹介患者地域別

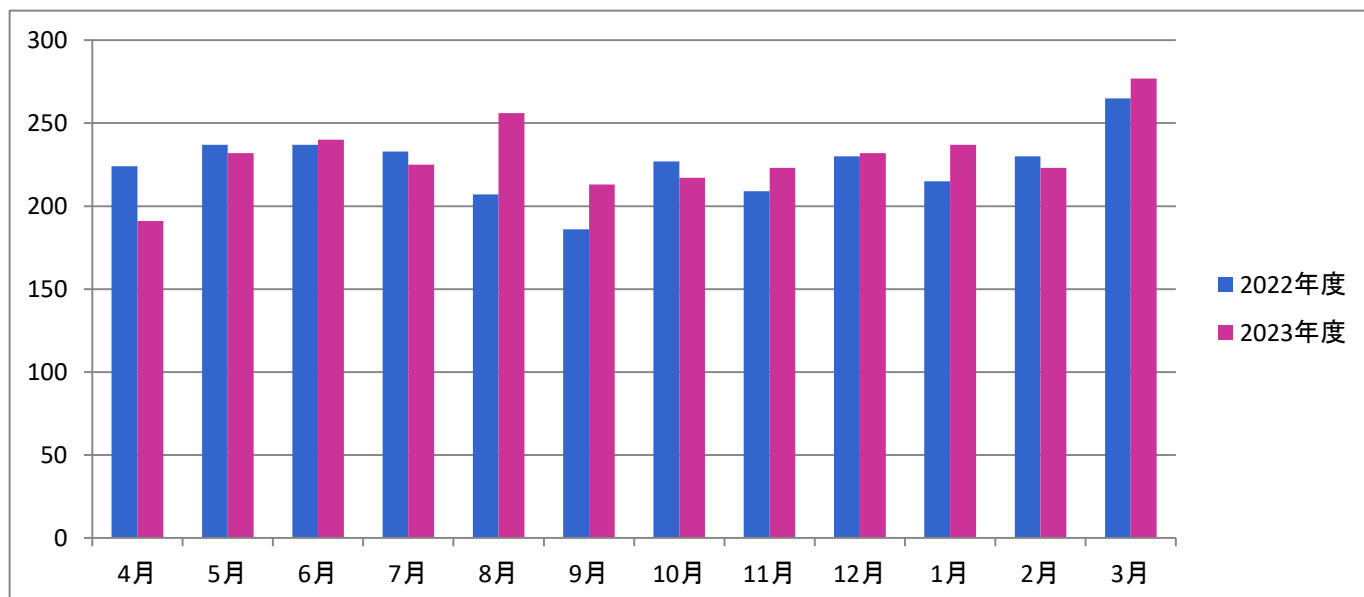
	祖父江町	平和町	稲沢市	一宮市	愛西市	津島市	県内	県外	合計
2022年度	271	249	458	893	50	87	645	47	2700
2023年度	299	288	487	898	58	91	554	91	2766
前年対比	110.3	115.7	106.3	100.6	116.0	104.6	85.9	193.6	102.4



逆紹介患者数は2,766件で昨年度の2,700件に比べて前年対比102.4%と増加している。

逆紹介患者月別

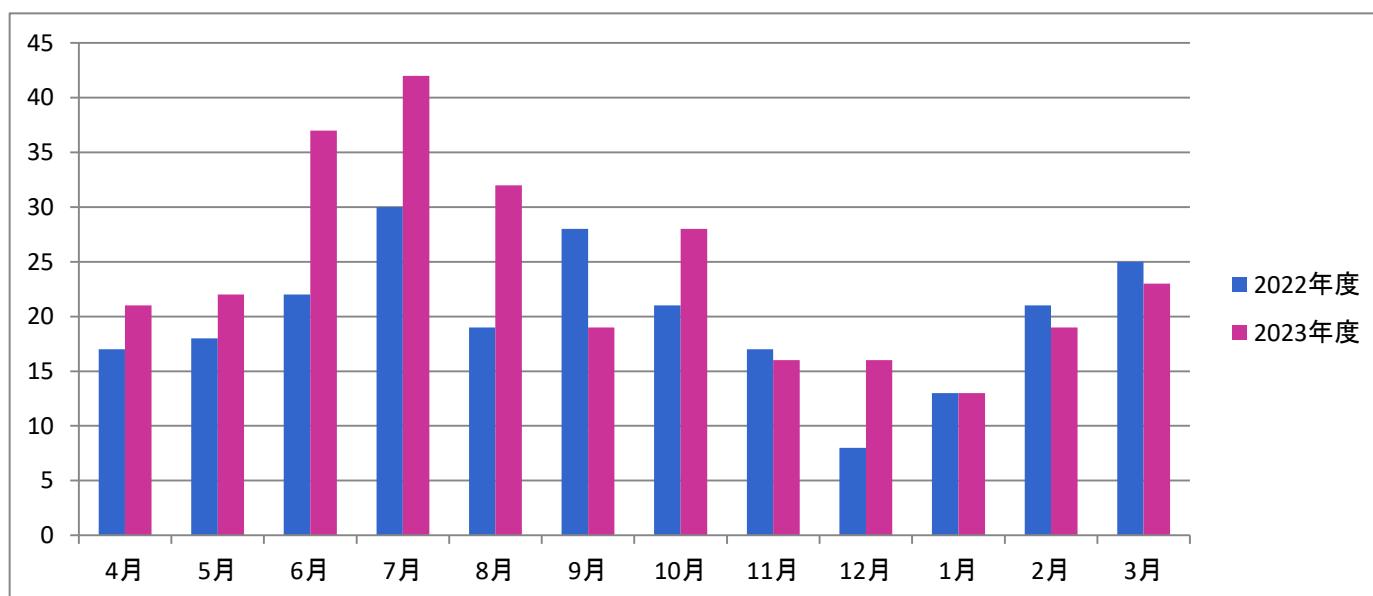
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2022 年度	224	237	237	233	207	186	227	209	230	215	230	265	2700
2023 年度	191	232	240	225	256	213	217	223	232	237	223	277	2766
前年対比	85.3	97.9	101.3	96.6	123.7	114.5	95.6	106.7	100.9	110.2	97.0	104.5	102.4



月別にみると、6 月、8 月、9 月、11 月、12 月、1 月、3 月が昨年度に比べて増加している。
逆紹介件数が一番多い月は 3 月で 277 件。一番少ない月は 4 月で 191 件である。

C T 共同利用

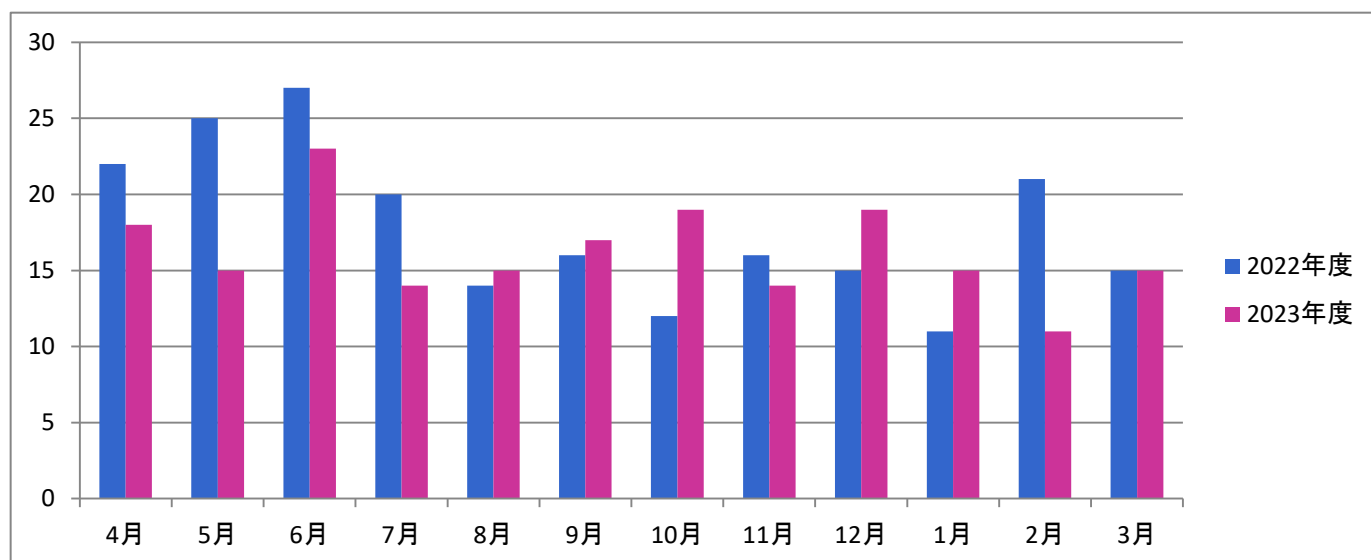
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2022 年度	17	18	22	30	19	28	21	17	8	13	21	25	239
2023 年度	21	22	37	42	32	19	28	16	16	13	19	23	288
前年対比	123.5	122.2	168.2	140.0	168.4	67.9	133.3	94.1	200.0	100.0	90.5	92.0	120.5



CT の共同利用は 288 件で昨年度の 239 件に比べて前年対比 120.5%と増加している。

MR I 共同利用

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2022 年度	22	25	27	20	14	16	12	16	15	11	21	15	214
2023 年度	18	15	23	14	15	17	19	14	19	15	11	15	195
前年対比	81.8	60.0	85.2	70.0	107.1	106.3	158.3	87.5	126.7	136.4	52.4	100.0	91.1



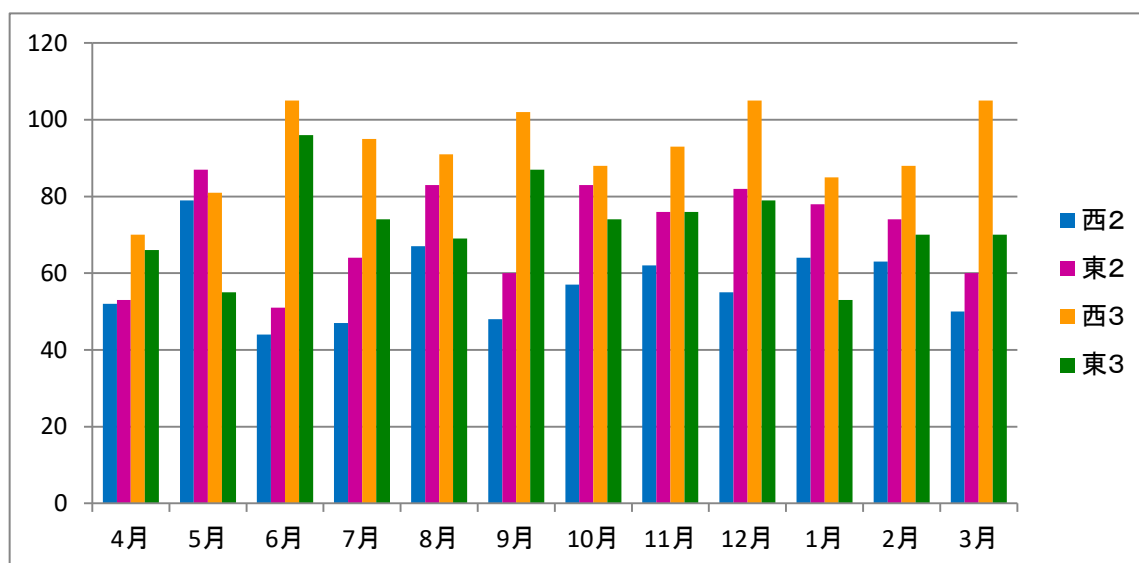
MRI の施設利用は 195 件で昨年度の 214 件に比べて前年対比 91.1%と減少している。

地域医療支援病院紹介率・逆紹介率

2023 年度	初診紹介 患者数	初診 患者数	再診 患者数	休日夜間の 初診患者数	救急車 来院数	③と④の 重複	診療情報 提供書	紹介率	逆紹介率	逆紹介 割合
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	$\frac{①}{②} \div \frac{(②-④-⑤+⑥)}{(③-④-⑥+⑦)}$	$\frac{⑦}{②} \div \frac{(③-④-⑥+⑦)}{(③+④)}$	$\frac{⑧}{③+④}$
4 月	143	979	10,798	147	38	38	171	17.19	1.61	1.57
5 月	158	1,129	10,091	191	60	37	186	17.27	1.88	1.68
6 月	178	1,286	11,782	179	33	32	240	16.09	2.07	1.35
7 月	159	1,276	11,254	252	62	47	200	15.76	1.82	1.37
8 月	151	1,387	11,973	213	70	54	200	13.04	1.70	1.07
9 月	142	1,243	10,887	218	48	39	174	13.98	1.63	1.26
10 月	165	1,224	10,779	173	45	34	177	15.87	1.67	1.45
11 月	133	1,074	10,049	172	49	31	173	15.05	1.75	1.47
12 月	125	1,231	11,186	195	36	36	203	12.07	1.85	1.06
1 月	93	1,194	10,356	242	70	30	186	10.20	1.85	0.96
2 月	129	1,141	10,178	192	67	43	176	13.95	1.77	1.34
3 月	121	1,037	10,669	183	51	42	236	14.32	2.25	1.32
合計	1,697	14,201	130,002	2,357	629	463	2,322			

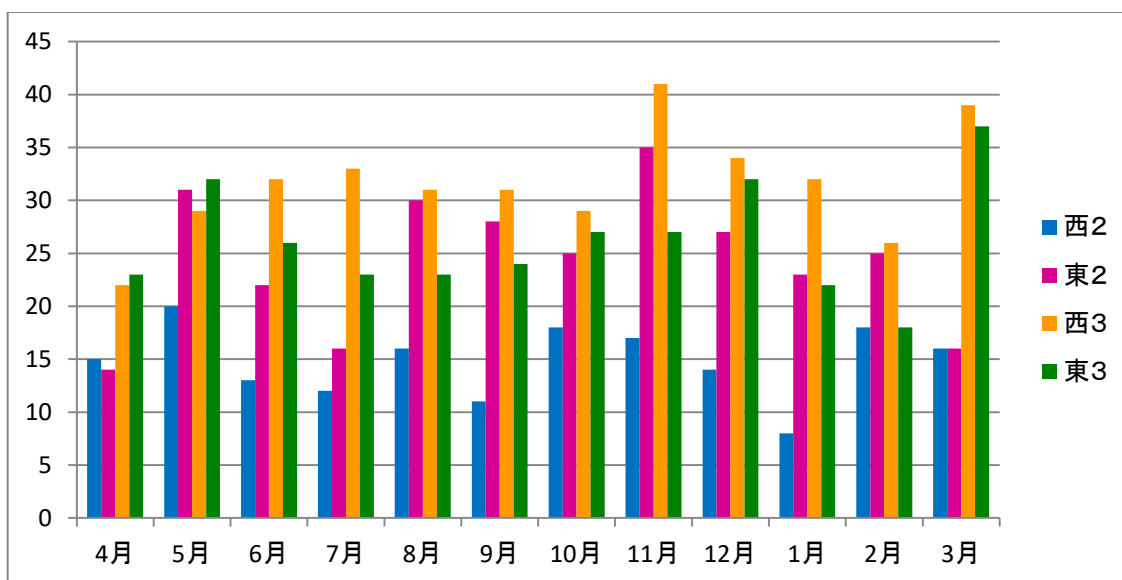
病棟カンファレンス 件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
西 2	52	79	44	47	67	48	57	62	55	64	63	50	688
東 2	53	87	51	64	83	60	83	76	82	78	74	60	851
西 3	70	81	105	95	91	102	88	93	105	85	88	105	1108
東 3	66	55	96	74	69	87	74	76	79	53	70	70	869
合計	241	302	296	280	310	297	302	307	321	280	295	285	3516



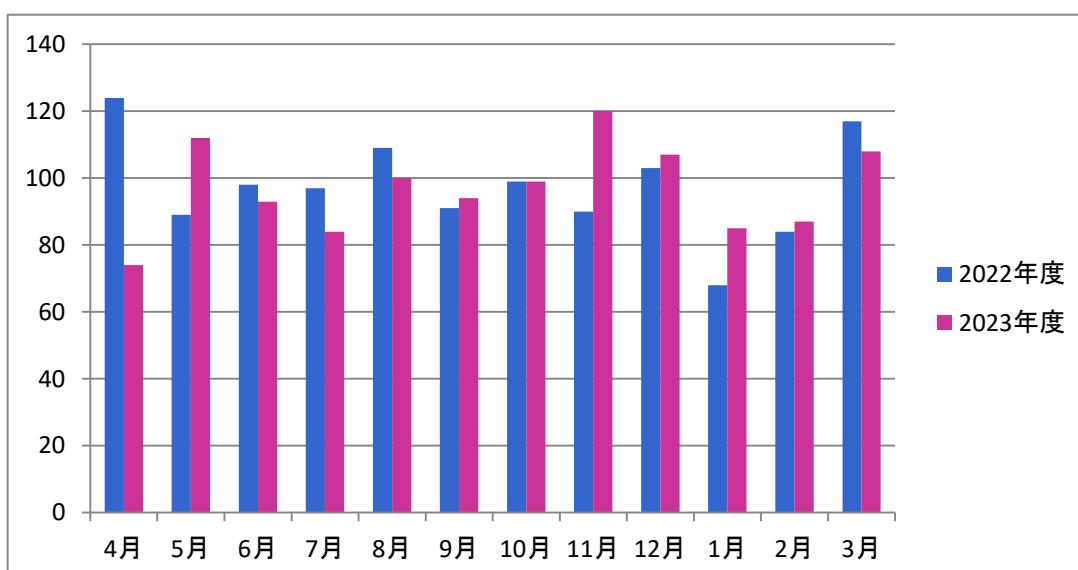
入退院支援加算 病棟別 件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
西 2	15	20	13	12	16	11	18	17	14	8	18	16	178
東 2	14	31	22	16	30	28	25	35	27	23	25	16	292
西 3	22	29	32	33	31	31	29	41	34	32	26	39	379
東 3	23	32	26	23	23	24	27	27	32	22	18	37	314
合計	74	112	93	84	100	94	99	120	107	85	87	108	1163



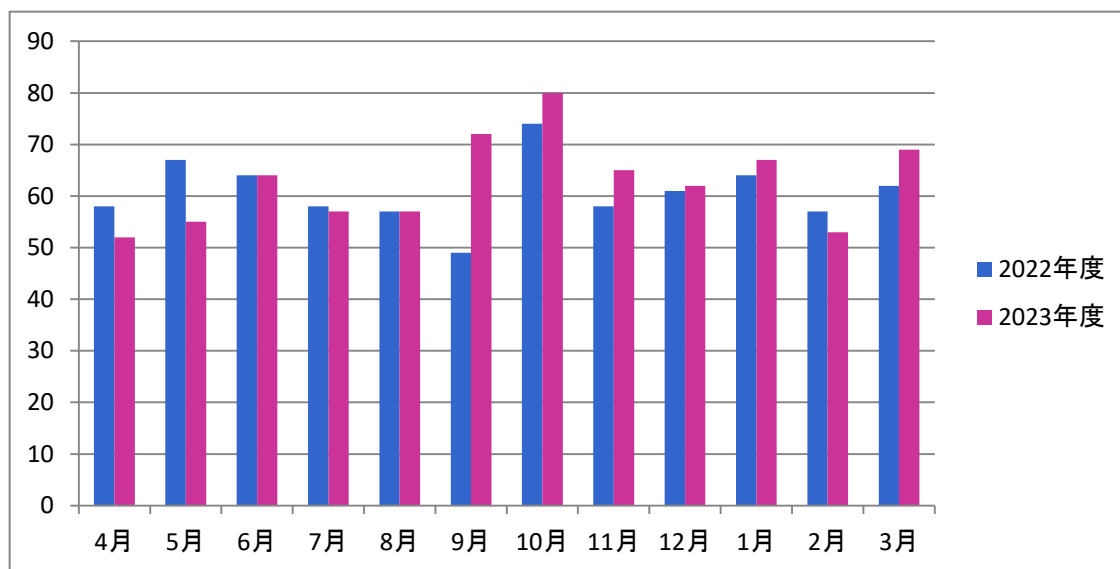
9) 入退院支援加算 前年比較

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2022 年度	124	89	98	97	109	91	99	90	103	68	84	117	1169
2023 年度	74	112	93	84	100	94	99	120	107	85	87	108	1163
前年対比	59.7	125.8	94.9	86.6	91.7	103.3	100.0	133.3	103.9	125.0	103.6	92.3	99.5



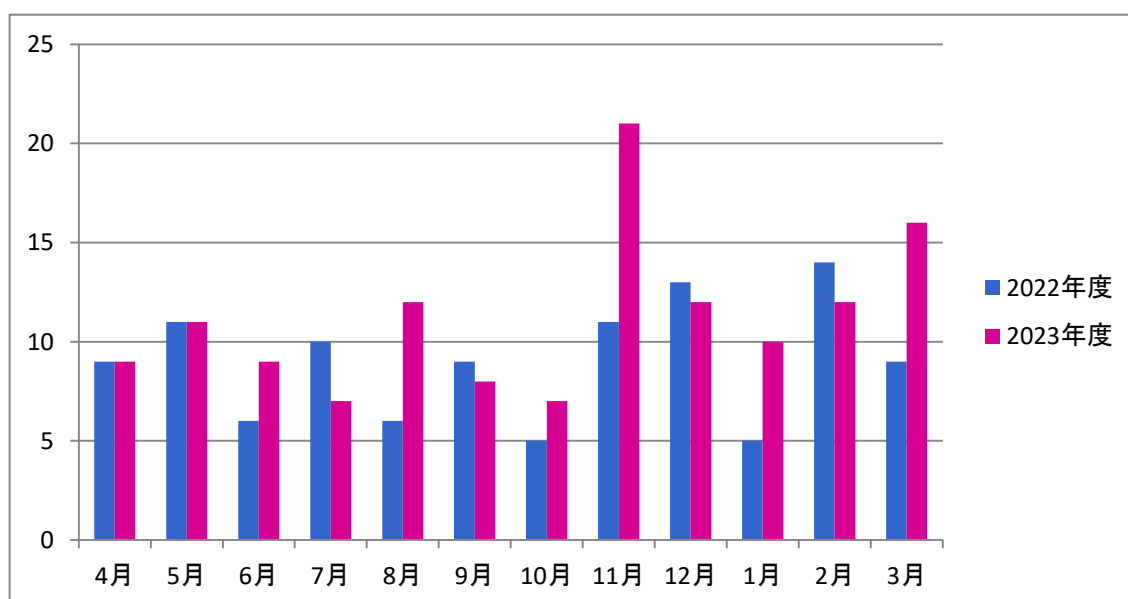
入退院支援センター 患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	58	67	64	58	57	49	74	58	61	64	57	62	729
2023年度	52	55	64	57	57	72	80	65	62	67	53	69	753
前年対比	89.7	82.1	100.0	98.3	100.0	146.9	108.1	112.1	101.6	104.7	93.0	111.3	103.3



入院時支援加算 月別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2022年度	9	11	6	10	6	9	5	11	13	5	14	9	108
2023年度	9	11	9	7	12	8	7	21	12	10	12	16	134



*** 地域医療福祉連携部・地域連携室・医療福祉相談課***

はじめに

医療福祉相談課では、療養に伴って、患者様、ご家族、関係機関などから寄せられるさまざまな相談への対応をソーシャルワーカーが行なっている。

相談内容は社会情勢を反映したものが多く、「もう退院と言われたが、在宅介護をどうしたらよいか」「共働きで在宅介護ができないので施設を紹介してほしい」「医療費の支払いに困っている」といった相談が多く寄せられている。

今までの業務に加え、新型コロナウイルス感染症の蔓延で施設からの入院患者が増え、コロナ感染後の日常生活動作低下等により施設への再入所が難しくなるなど、対応も変わらざるを得ない状況となった。

また少子高齢化に伴い、老老介護や虐待事例、身寄りのないケースも増えており、他の医療機関、各種施設、地域の関係機関との連携を今まで以上に密にしていく必要がある。

医療福祉相談課内で話し合いながら、担当業務の変更や前方連携業務を分けることで業務の見直しを行った。

2023 年度人員体制

精神科担当（P S W）	3 名	※うち 1 名は 1 月から産休・育休。 他に週 3 日午前中勤務パート職員が勤務。
一般科（精神科以外）担当（M S W）	3 名	
前方連携担当（S W）	1 名	

重点実施事項（※前年度より継続）

- ・ 各種福祉サービス、社会資源の利用支援
- ・ 退院支援システム（病棟カンファレンス）への参加
- ・ レスパイト入院受け入れ対応
- ・ 地域の関係機関や院内の介護保険事業部門との連携
- ・ 精神科身体合併症症例及び一般科の転院相談窓口
- ・ 精神科訪問看護の実施
- ・ 精神科デイケアの利用者増に向けた活動
- ・ 認知症ケアサポートチームの一員としての活動

取扱総件数

2023 年度 18,004 件 9 月から医療福祉相談システムによる集計を行い、従来の集計方法と異なるため件数増となった。

レスパイト入院

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
判定会議 施行件数	13	15	17	10	5	6	15	7	12	4	4	10	118
レスパイト入院 受入件数	6	7	7	6	8	6	3	2	6	3	2	7	63

登録施設詳細別件数

No	施設詳細	件数
1	お薬・介護相談	1
2	グループホーム	13
3	ケアパートナー株式会社	1
4	ケアハウス	3
5	サービス付き高齢者向け住宅	11
6	ショートステイ	9
7	デイサービス	33
8	デイサービス・居宅介護支援事業所	1
9	愛知労災特別介護施設	1
10	医療機関	103
11	医療機器製品会社	1
12	医療型障がい児者入所施設	1
13	家族代行支援	2
14	介護施設	1
15	介護・福祉事業所	6
16	介護医療福祉事業	2
17	介護付有料老人ホーム	8
18	介護老人保健施設	16
19	学校	1
20	企業	3
21	居宅介護支援	38
22	居宅介護支援事業所	51
23	居宅介護支援事業所・訪問介護	1
24	居宅介護事業所	1
25	居宅支援事業所	4
26	軽費老人ホーム	1
27	高齢介護課	2
28	高齢者向け賃貸住宅	3
29	在宅医療	1
30	在宅型老人ホーム	1
31	司法書士事務所	1
32	子ども健康部 子育て支援課	1

33	支援生活施設	1
34	児童相談所	2
35	社会福祉協議会	4
36	社会福祉法人	2
37	住宅型有料老人ホーム	50
38	小規模多機能型居宅介護	3
39	障がい者福祉施設	3
40	障害児相談支援	2
41	障害者支援施設	4
42	障害者支援施設（身体障がい）	1
43	身元保証団体	2
44	生活介護事業所	1
45	生活支援	1
46	精神科訪問看護特化型	1
47	相談支援事業	3
48	短期入所生活介護	3
49	地域包括支援センター	16
50	通所リハビリテーション	2
51	通所介護・介護予防通所介護	1
52	特定施設入居者生活介護	1
53	特別養護老人ホーム	21
54	日常生活支援	1
55	農協	2
56	福祉課	4
57	福祉施設	1
58	福祉用具	25
59	福祉用具・住宅リフォーム	1
60	福祉用具サービス	1
61	保健センター	2
62	訪問リハビリテーション	1
63	訪問介護	15
64	訪問介護・通所介護（デイサービス）	1
65	訪問介護事業所	2
66	訪問看護	28
67	訪問看護・訪問入浴	1
68	訪問看護ステーション	18
69	訪問入浴介護	3
70	民間介護施設紹介センター	1
71	名古屋老人ホーム・介護施設紹介センター	2

72	薬局	2
73	有限会社	1
74	有料老人ホーム	6
75	有料老人ホーム・介護施設案内	2
76	老人ホーム・介護施設紹介センター	2
77	通所介護事業所	2
78	葬儀屋	1
79	特定非営利活動法人（NPO）	1
80	就労移行支援事業	2
81	障がい者救護施設	1
82	医療型有料老人ホーム	1
83	福祉相談	1
84	就労支援	1
85	障害者支援事業所	3
86	ナーシングホーム	5
87	障がい者グループホーム	7
88	障がい者センター	1
89	障害者入居施設	1
90	保健所	3
91	通所介護	2
92	就労継続支援 B 型	1
93	在宅型有料老人ホーム	5
94	介護タクシー	1
95	不動産業	1
96	行政書士	1
97	障害者基幹相談支援センター	1
98	介護老人福祉施設	1
99	健康福祉部 子育て支援課	1
100	健康福祉部 健康推進課	1
101	認知症対応型共同生活介護	1
102	法律事務所	1
103	（未登録）	0
計		615

訪問看護ステーション「そぶえ」

<はじめに>

2024 年度は、多様なニーズに応えられる看護実践力の向上を目標に掲げ、前年度に引き続き小児のニーズに応えること、また、これまで通り医療的ケア、ターミナルケアのニーズに積極的に応えることを計画し実行しました。昨年度に引き続き小児の受け入れは1事例と限られたものでしたが、スタッフの誰もが小児の看護を経験し、受け入れへの不安感が減少しました。医療ケア、ターミナルケアの利用者は例年通り積極的に受け入れ、11 例の在宅看取りを実践することができました。特にターミナル期の利用者においては、医療的ケアや症状コントロール、家族の介護支援等、多種多様なケアの必要度が高くなった反面、家族の介護力は決して高くない場合が多く、休日を含めた訪問を行い、療養者と家族の思いが叶うような看護の提供に努めました。24 時間、365 日の看護サービスがより求められる時代になっていると実感します。

当年のスタートは前年度看護師 1 名減に加え、今年度は管理者の退職・変更という体制の中、新型コロナウイルスが 5 類へ移行後も在宅療養者、スタッフに複数の感染者が発生し限られた人数での対応となりました。しかし、業務継続計画を策定した中で業務の優先度を考えて調整したり、一部の業務を差し控えたりする等の対処をとり、感染拡大を予防し、業務の逼迫も何とか乗り越えることができました。

今年度は業務継続計画の評価・修正、また、訪問看護ステーションの第三者評価の受審にむけた準備を進めていきたいと思います。

<人員体制>

看護師 6 名 (管理者含む)、准看護師 1 名

理学療法士 2 名、(訪問リハビリ兼務)

事務員 1 名 (介護事業兼務)

<事業報告>

1. 事業実績

年間延べ利用者数：医療 331 名、介護 580 名

年間延べ訪問件数：医療 2,036 件、介護 3,800 件 (リハビリ訪問再掲：1,382 件)

年間の利用者実人数：130 人 (新規受け入れ：44 人、利用終了：35 人)

年間の在宅看取り：17 名

2. 研修参加・会議等

1) 研修参加

内容	主催者等
運営指導研修会	愛知県訪問看護ステーション協議会
大人の発達障害の理解とその向き合い方	看護協会
看護管理者の為のストレスマネジメント	看護協会
看護実践の質を高める看護研究の推進	看護協会
医師が教える ACP に基づく意思決定支援	JA 介護職員研修会
在宅で終末期を迎える方、家族とのコミュニケーション	JA 介護職員研修
稲沢市在宅医療・介護連携推進協議会研修会 「稲沢市の在宅医療・介護における災害対応の考え方」	稲沢市在宅医療・介護連携推進協議会
ストーマケアの基本と最新情報	稲沢市訪問看護ステーション会
虐待防止について	稲沢市訪問看護ステーション会
褥瘡評価 DESIGN-R2020 について	稲沢市訪問看護ステーション会
虐待・権利擁護、BCP(机上訓練)	介護事業室
認知症、食中毒・感染の対策および事例検討、 コンプライアンス・倫理、災害対策（BCP） 気管カニューレ勉強会	訪問看護ステーション勉強会

2) 事例報告会等

在宅診療医、訪問薬剤師との多職種合同事例報告会
厚生連看護研究発表

3) 連携会議等

稲沢市在宅医療・介護連携推進協議会 研修部会
稲沢市訪問看護ステーション会
一宮市訪問看護ステーション連絡協議会
愛知県訪問看護ステーション連絡協議会

4) 地域貢献活動

看取りを経験した介護者の交流会

5) その他

介護サービス情報の公表

3. 教育活動

名古屋医専・弥富看護専門学校・東京衛生学園専門学校 臨地実習指導

祖父江地域包括支援センター

<はじめに>

稲沢市より委託を受け、高齢者の「よろず相談窓口」として祖父江地区の住民を対象に下記の事業を行っている。

- ①介護予防ケアマネジメント業務
- ②総合相談・支援業務
- ③権利擁護業務
- ④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

<人員体制>

社会福祉士 1 名、主任介護支援専門員 1 名、保健師 1 名、看護師 1 名

<重点実施事項>

- ・ 生活支援体制整備事業に基づく「第 2 層協議体」への参加。関係者との情報交換。
- ・ 認知症支援推進員を中心とした、認知症カフェ立ち上げと継続への支援。
- ・ 認知症キッズサポーター養成講座・認知症サポーター養成講座の開催、認知症ステップアップ講座の開催。
- ・ 稲沢市在宅医療・介護連携推進協議会の研修会や部会（連携推進部会）への参加（オンライン形式含む）。
- ・ 利用者入退院時の MSW や退院調整看護師との連携。民生委員、地域の高齢者サロン関係者、体操自主グループとの連携。
- ・ 地域の介護支援専門員への支援。研修会・情報交換会の開催。
- ・ 介護予防のための地域ケア個別会議への参加（事例提出）。
- ・ 職員配置基準を維持するために資格取得のための研修参加。
- ・ 平和堂祖父江店での地域包括支援センターの周知活動の開催。

<地域包括支援センター業務実績>

■プラン作成件数

センター直接担当分	1102 件
委託分	1591 件

■総合相談支援業務（延べ件数）

年間合計件数	4292 件
--------	--------

<総合相談支援業務内訳>

・相談者別

本人・親族	1798 件
親族	980 件
民生委員	55 件
介護支援専門員	428 件
介護事業者	610 件
医療機関	216 件
基幹包括	38 件
市	44 件
その他	123 件

・対応手段別

訪問	1188 件
電話	2748 件
来所	356 件

・相談内容別

介護保険利用援助（制度説明、申請援助など）	1057 件
新予防給付ケアマネジメント	2677 件
福祉サービス（市の在宅福祉サービスの相談・調査・申請代行など）	49 件
権利擁護関係（高齢者虐待・成年後見制度・消費者被害など）	90 件
実態把握、安否確認（高齢者の実態把握、様子伺い、安否確認など）	317 件
その他	102 件

<今後の課題>

- ・ 新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い、これまで活動自粛していた各種会議や活動が再開され、それに伴い地域包括支援センターに寄せられる相談数も増加し、同時にプラン件数も増加している。高齢者相談機能を充分发挥するために、プラン作成を委託する居宅介護支援事業所との連携が欠かせない状況となっている。
- ・ 祖父江で開催されているボランティア団体主催の認知症カフェが継続的に運営できること、認知症当事者がカフェに参加したり、認知症当事者がボランティアとして活動したりできるように包括支援センターとして後方支援を継続できる体制を整えていく。
- ・ 祖父江地区では高齢者が集まる場所がまだまだ少ないこと、包括支援センターの周知が十分にできていないことがあるため、サロンなど地域の集まりの場に参加したり、定期的に平和堂で包括支援センターの啓発活動を継続したりすることで、包括支援センターの周知に努める。

介護保険事業所

<はじめに>

要介護認定を受けた方がその能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、在宅サービスの適切な利用が可能となるよう要介護者本人の身体機能や生活環境等を勘案してケアプランを作成し、そのプランに基づくサービスの円滑な実施のためにサービス提供事業者等との連絡調整や様々な便宜の提供を行っている。

地域包括ケアシステム充実に向けて地域・医療との連携・研修なども積極的に取り組んでいる。令和5年度は新型コロナウイルスの感染が終息に向かい、更新申請に伴う認定調査は合算申請ではなく訪問調査になった。市の調査員の補充があり調査依頼は減少している。研修については集合形式で開催されることが増え、参加している。

<人員体制>

介護支援専門員5名（常勤専従5名）

<業務報告>

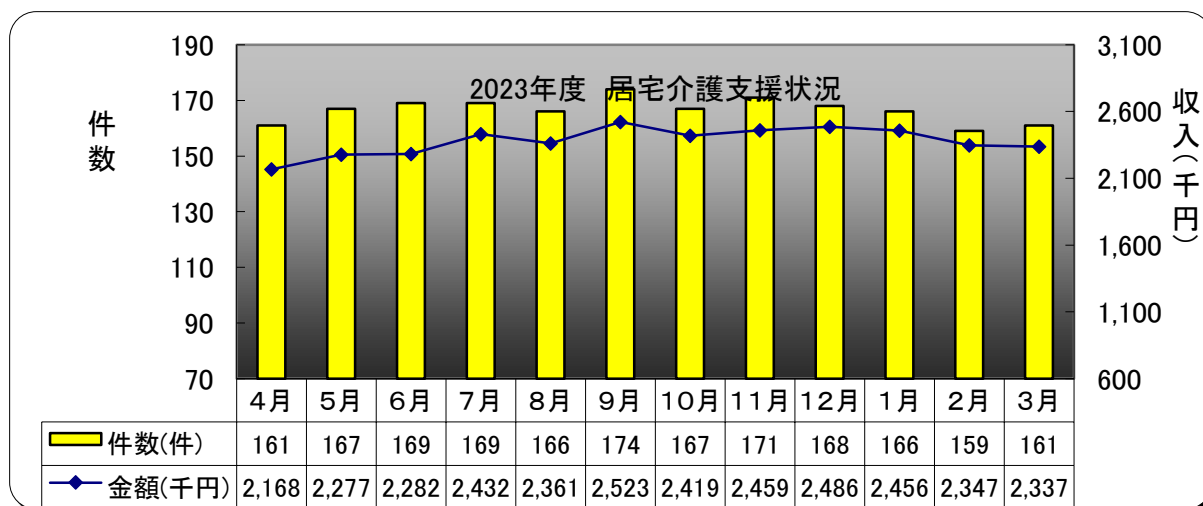
●要介護認定訪問調査件数

（市町村からの依頼で介護保険の要介護認定のため行う調査）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	1	2	0	1	6	3	5	4	5	5	8	4	50

●給付管理票作成件数(ケアプラン件数)

（在宅で1ヶ月間に利用したサービス内容を記載した給付管理票を利用者一人につき一枚ずつ作成し国保連に提出）



* 平成26年度より特定事業所加算取得

- 実習指導 介護支援専門員実務研修実習 実習生 2 名
- 会議等への参加
 - ・ケアマネカンファレンス週 1 回
- 他法人の居宅支援事業所と行う事例検討・研修会参加（年間 3 回）
- 祖父江・平和地区・明治千代田地区 小地域情報交換会（年間 3 回）
- 稲沢市在宅医療・介護連携推進協議会（年間 3 回）

<介護保険事業所研修実績>

目的：稲沢厚生病院介護保険事業所の現任者により質の向上も目的として研修を行う。

研修内容	院内 / 院外
居宅介護支援事業者に必要な BCP 作成研修会	愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会
多職種連携に必要な言語化スキル	愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会
病院・地域で ACP の実践に向けて	愛知県看護協会
緩和ケアの基本的な考え方を学ぶ	愛知県看護協会
職場におけるパワーハラスメントについて	稲沢市在宅医療・介護連携推進協議会
災害への備え・事例検討会	稲沢市在宅医療・介護連携推進協議会
B C P シュミレーション机上訓練	院内福祉部門合同研修
認知症サポーター養成	院内福祉部門合同研修
虐待についての勉強会	院内福祉部門合同研修
一般介護予防事業・認知症予防事業について	祖父江平和地区小地域情報交流会
災害時シュミレーション机上訓練・BCP 取り組みについて	祖父江地区小地域情報交流会
事例検討会	祖父江・平和・明治千代田地域包括支援センター
要介護の原因となる病気	稲沢市介護支援専門員研修
ケアマネ会事業計画について・なおいネットの活用について	稲沢ケアマネ会・基幹型地域包括合同研修
情報整理および記録方法	稲沢ケアマネ会・基幹型地域包括合同研修
介護認定調査員現認研修（動画）	愛知県福祉局高齢介護課
高齢者福祉研究会（オンライン）	J A 厚生連本部
他法人の居宅支援事業所と行う事例検討会（オンライン）	地域の居宅介護支援事業所と合同で開催
院内 感染対策 全体講演会（ガルーン）	院内感染対策委員会
安全運転講習会（文書開催）	施設課 文書開催

IV. 学会・論文発表

【学会・論文発表】

- ・ 第 123 回日本外科学会定期学術集会（グランドプリンスホテル新高輪）
2023 年 4 月 27 日（木）～2023 年 4 月 29 日（土）
「慢性膵炎に対する標準的術式とその理論的背景」
発表者：林 祐一
- ・ 日本消化器病学会東海支部第 138 回例会（名古屋国際会議場）
2023 年 6 月 17 日（土）
「慢性膵炎における外科 p 的治療戦略と課題」
発表者：林 祐一
- ・ 第 78 回日本消化器外科学会総会（函館市民会館・函館アリーナ・花びしホテル）
2023 年 7 月 12 日（水）～7 月 14 日（金）
「慢性膵炎の外科的治療における諸問題とその対策」
発表者：林 祐一
- ・ 第 50 回日本膵切研究会（御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター）
2023 年 8 月 25 日（金）～8 月 26 日（土）
「慢性膵炎における外科的治療の意義と今後の課題」
発表者：林 祐一
- ・ 第 34 回日本消化器癌発生学会総会（G メッセ群馬）
2023 年 11 月 24 日（金）～11 月 25 日（土）
「膵癌進展における新規バイオマーカーとしての Girdin の臨床応用」
発表者：林 祐一
- ・ 第 56 回制癌剤適応研究会（下呂温泉 水明館）
2024 年 2 月 16 日（金）
「膵癌進展における Girdin の機能解析と新規バイオマーカーとしての臨床応用」
発表者：林 祐一

薬剤部

- ・第2回尾張西支部感染対策合同カンファレンス

2023/7/2

「クリニック・診療所の先生方へ 抗菌薬適正使用について」

発表者：久田 瑛吉

- ・第2回 愛知県厚生連相互啓発研修会

2023/11/11（豊田厚生病院）

「当院白内障手術患者における薬剤師の点眼指導の理解についての調査」

発表者：島 菜摘

- ・日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2023

2023/11/12（名城大学薬学部 八事キャンパス）

「周産期における糖尿病治療薬の情報と血糖に影響を与える医薬品について

～妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師の視点から～」

発表者：大野 愛

臨床検査室

【研修会・研究会講師】

該当なし

【院内研修・勉強会講師】

該当なし

臨床心理室

- ・第32回日本描画テスト・描画療法学会（明治大学駿河台キャンパス）2023/11/4（土）～5（日）

事例発表：「バウムテストと風景構成法に見る心の多層性－思春期の事例から－」

参加者：宮下真由美

V. 委 員 会

保育所運営委員会

1. 目的

保育所の効率的且つ円滑な運営管理を図る。

2. 内容

保育所の円滑な運営を行うため、運営に関する内容を協議する。

3. 委員構成

所長（病院長）、事務部長、看護部長、小児科医師、栄養管理室長、保育士、保護者代表、総務課長

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
7月5日	・運営所内規の改正について ・保育所利用状況について ・保育所トリアージの運用状況について

診療報酬適正管理委員会

1. 目 的

診療報酬請求を適正に行うことにより、病院の運営ならびに医療の質の向上に寄与する。

2. 内 容

- ①診療報酬の適正な請求
- ②診療収入の向上
- ③医療の質の向上
- ④新規施設基準の取得
- ⑤査定・返戻の減少対策
- ⑥DPC 分析の推進

3. 委員構成

医師、看護師、薬剤師、リハビリ技師、放射線技師、検査技師、管理栄養士、事務

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
定例報告内容	・ 各種算定状況一覧 ・ 査定報告 ・ 救急医療入院率 ・ 看護必要度 ・ みなし入院数推移報告 ・ 退院時リハビリテーション指導料の算定の推移
5 月 17 日	・ 定例報告 ・ コロナ 5 類変更に伴う診療報酬上の取扱いについて ・ 栄養系医学管理料および加算の算定率向上に向けての取り組みについて
7 月 19 日	・ 定例報告 ・ 栄養系医学管理料および加算の算定率向上に向けての取り組みについて
9 月 20 日	・ 定例報告 ・ 栄養系医学管理料および加算の算定推移 ・ 患者の病状に応じた適切な食事提供をするために
11 月 15 日 文書開催	・ 定例報告 ・ 栄養系医学管理料および加算の算定推移
1 月 17 日	・ 定例報告 ・ 栄養系医学管理料および加算の算定推移および食種変更の代行入力 of 提案 ・ がん患者の精神的なケアの充実について
3 月 21 日 文書開催	・ 定例報告 ・ 令和 6 年度診療報酬改定について

資材委員会

1. 目 的（下記①～③を協議する）

- ①新規医薬品、試薬及び医療材料の採否に関すること
- ②医薬品及び医療の情報に関すること
- ③医薬品、試薬及び医療材料等の効率的活用に関すること

2. 内 容

- ①報告事項 医業収入と資材費、医薬品上位 30 品目、医療材料消費明細
前月分の実績を報告（4 月・10 月は前半期分も合わせて報告）、その他
- ②医薬品の期限切迫品提示
- ③供給に関するお知らせ（出荷停止、限定出荷、自主回収等）

3. 委員構成

院長、副院長、第 1 診療部長、第 2 診療部長、医療安全・感染制御部長、看護部長、診療協同部長、事務部長、薬剤部長、その他委員長が特に必要と認めた者

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容						
	医薬品品目数		試薬品目数		医療材料品目数		その他
	採用	中止	採用	中止	採用	中止	
4 月 26 日	8	8	0	0	2	0	
5 月 24 日	3	9	0	0	0	0	
6 月 28 日	13	14	3	3	1	0	
7 月 26 日	5	5	0	0	1	0	
8 月 23 日	16	14	0	0	1	0	自主回収 1 件
9 月 27 日	9	6	0	0	3	0	
10 月 25 日	5	6	1	1	0	0	
11 月 22 日	4	2	0	0	6	1	
12 月 27 日	10	12	0	0	2	0	自主回収 1 件
1 月 24 日	2	3	0	0	4	2	自主回収 1 件
2 月 28 日	14	14	3	2	2	1	
3 月 27 日	5	1	2	2	4	1	自主回収 2 件

*規格違いも品目数としてカウント（仮採用もその他の採用も全て含む）

*後発医薬品使用割合（後発医薬品使用体制加算）加算 3（75%以上）

4 月 81.2%、5 月 81.1%、6 月 81.2%、7 月 81.1%、8 月 81.4%、9 月 81.3%

10 月 80.9%、11 月 81.4%、12 月 81.6%、1 月 82.1%、2 月 81.8%、3 月 81.1%

年間を通して、出荷調整・停止、販売中止など医薬品の確保に非常に労力を費やされた。

院外処方箋連絡会

1. 目 的

院外処方箋発行に関する事項について協議

2. 内 容

稲沢厚生病院院外処方箋に関わる諸問題について協議を行う

3. 委員構成

委員長：副院長

委 員：病院側-眼科医師、薬剤部長、医事課、薬剤部（事務局）

薬剤師会側-稲沢市薬剤師会会長

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
6月9日	・資材委員会（薬審）の報告（3～5月）：別紙参照 ・院外処方状況の報告（3～5月）：別紙参照。令和4年度分業率が24.6%であった。発熱外来除く分業率は3月26.7%、4月26.3%、5月26.1%。 ・疑義照会報告（3～5月）：疑義照会件数11件。対策としてアレジオンLX点眼液を1日2回の用法限定とした。
9月8日	・資材委員会（薬審）の報告（6月～8月）：別紙参照。 ・院外処方状況の報告（6～8月）：別紙参照。分業率発熱等の患者の影響もあり通計24.4%と低迷。発熱外来を除く分業率は6月25.6%、7月26.2%。 ・疑義照会報告（6～8月）：疑義照会件数17件。ロトリガ粒状カプセルの名称後ろに「食直後」と対策を行った。 その他：次回予約までの処方日数不足については事後報告で良いこととした。発熱外来の患者も院外処方に対応可能か確認し対応可能と返事をいただいた。
12月9日	・資材委員会（薬審）の報告（9月～11月）：別紙にて報告。 ・院外処方状況の報告（9～11月）：別紙にて報告。 ・疑義照会報告（9～11月）：疑義照会件数18件。発熱外来の内科・小児科の分業率が上昇。発熱外来を除く分業率8月25.5%、9月28.0%、10月29.5%。
3月9日	文書開催 資材委員会（薬審）の報告（12～2月）：別紙にて報告。 ・院外処方状況の報告（12～2月）：別紙参照。2月までの通計分業率は26.2%と若干であるが上昇している。 ・疑義照会報告（12～2月）：疑義照会件数26件。

医療安全管理委員会

1. 目 的

稲沢厚生病院における医療安全に関する諸問題を協議するとともに、各委員会の適正な運営の指導を行う。

2. 内 容

- ①医療事故の分析（レベル 4～5）及び再発防止策の検討に関すること
- ②医療事故防止のための職員に対する指示命令に関すること
- ③医療事故発生防止のため啓発・教育・広報及び資料発行に関すること
- ④医療事故報告及び公開に関すること
- ⑤医療安全管理に関する各委員会に対し適切な指示、活動状況の確認、各委員会から上がってくる事案に対し意思決定を行う

また医療安全管理に問題を生じた時、協議のうえ各委員会を指導し、各委員会の間に発生した諸問題の検討・調整をする

（安全管理に関する各委員会は下記の通りとする）

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. リスクマネジメント委員会 | 2. 手術部・麻酔安全管理委員会 |
| 3. 医薬品安全管理委員会 | 4. 医療機器等安全管理委員会 |
| 5. 治験・臨床研究等倫理審査委員会 | 6. 院内感染対策委員会 |
| 7. 輸血療法委員会 | 8. 医療ガス安全管理委員会 |
| 9. 医療廃棄物管理委員会 | 10. 災害対策委員会 |

- ⑥その他、医療安全管理に関すること

3. 委員構成

管理者、安全管理に関する各委員会の長、

医療安全推進者（医療安全・感染制御室長（課長））、事務管理室長（事務局）

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
4 月 12 日	・ 各委員会報告
5 月 10 日	・ 各委員会報告
6 月 14 日	・ 各委員会報告
7 月 12 日	・ 各委員会報告
8 月 9 日	・ 各委員会報告
9 月 13 日	・ 各委員会報告
10 月 11 日	・ 各委員会報告
11 月 15 日	・ 各委員会報告
12 月 13 日	・ 各委員会報告
1 月 10 日	・ 各委員会報告
2 月 14 日	・ 各委員会報告
3 月 13 日	・ 各委員会報告

医療安全推進委員会

1. 目 的

稲沢厚生病院における医療事故の防止及び対策などの推進を図り、患者、患者家族に安全で質の高い医療を提供することを目的とする。

2. 内 容

- ①リスク報告書の集計報告
- ②医療事故内容報告及び共有、分析、対策の検討
- ③医療安全に関する情報の提供及び共有
- ④医療安全に関するマニュアルの改訂

3. 委員構成

診療部門（医療安全管理責任者を含む）4名、臨床研修部門（研修医）1名、薬剤部門2名、看護部門1名、診療協助部門5名、事務部門1名、医療安全管理部門1名

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
4月25日	・リスク報告書集計及び抜粋事例報告 ・薬剤・放射線検査疑義照会の報告 ・医療安全情報 NO. 197 「離床センサーの電源忘れ」 周知 ・委員会規程、指針の内容確認 ・患者サポート相談の報告
5月23日	・リスク報告書集計及び抜粋事例報告 ・薬剤・放射線検査疑義照会の報告 ・医療安全情報 NO. 198 「MRI 検査室への磁性体（金属製品など）の持ち込み」（第3報）周知 ・2022年度リスク報告書集計報告 ・今年度の活用計画説明 ・患者サポート相談の報告
6月27日	・リスク報告書集計及び抜粋事例報告 ・薬剤・放射線検査疑義照会の報告 ・医療安全情報 NO. 199 「2022年に報告署で取り上げた医療安全情報」 周知 ・院内巡視チェックについて内容検討 ・患者サポート相談の報告
7月25日	・リスク報告書集計及び抜粋事例報告 ・薬剤・放射線検査疑義照会の報告 ・医療安全情報 NO. 200 「腹腔鏡の曇り止め用の湯による熱傷」 周知 ・5S活動院内巡視結果報告 ・患者サポート相談の報告

8 月 22 日	・リスク報告書集計及び抜粋事例報告 ・薬剤・放射線検査疑義照会の報告 ・医療安全情報 NO. 201 「シリンジポンプの単位の選択間違い」 周知 ・5 S 活動院内巡視結果報告 ・患者誤認予防ポスター掲示と周知 ・電子カルテ更新に伴いリスク報告書のバージョンアップについて ・患者サポート相談の報告
9 月 26 日	・リスク報告書集計及び抜粋事例報告 ・薬剤・放射線検査疑義照会の報告 ・医療安全情報 NO. 202 「バッグ型キット製剤の隔壁の未開通」 周知 ・5 S 活動院内巡視結果報告 ・医療安全通信発行 ・患者サポート相談の報告
10 月 24 日	・リスク報告書集計及び抜粋事例報告 ・薬剤・放射線検査疑義照会の報告 ・医療安全情報 NO. 202 「小児の輸液の血管外漏出」 (第 2 報) 周知 ・5 S 活動院内巡視結果報告 ・医療安全通信発行 「4 月～9 月リスク報告書提出件数と報告の推進」 周知 ・医療安全推進週間 部署内で「医療安全について」話し合った内容報告 ・医療安全オンライン研修案内「事例解説」説明義務違反について ・医療安全改善活動の進捗状況の報告 ・患者サポート相談の報告
11 月 28 日	・リスク報告書集計及び抜粋事例報告 ・薬剤・放射線検査疑義照会の報告 ・医療安全情報 NO. 204 「人工呼吸器の吸気側と子機側の回路接続間違い」 周知 ・5 S 活動院内巡視結果報告 ・医療安全通信発行 「患者安全に取る組む部署紹介」 周知 ・人工呼吸器の点検表記について、電気メスの自主改修について ME より報告 ・患者サポート相談の報告
12 月 26 日	・リスク報告書集計及び抜粋事例報告と検討 ・薬剤・放射線検査疑義照会の報告 ・医療安全情報 NO. 205 「別の患者の眼内レンズの挿入」 周知 ・5 S 活動院内巡視結果報告 ・高速気腹装置 UHI-4 注意事項の追加について ME より報告 ・医療安全通信発行 「医療機器、使用前点検しているかな？」 周知 ・患者サポート相談の報告

1 月 23 日	・リスク報告書集計及び抜粋事例報告と検討 ・薬剤・放射線検査疑義照会の報告 ・医療安全情報 NO. 206 「持参薬を院内の処方に切り替える際の処方間違い」周知 ・オリンパス気管支内視鏡使用による注意喚起 ・5S 活動院内巡視結果報告 ・医療安全通信発行「Good job レポートの紹介」周知 ・第2回医療安全全体研修、各部門の改善活動成果を冊子で配布、アンケート実施 ・患者サポート相談の報告
2 月 27 日	・リスク報告書集計及び抜粋事例報告と検討 ・薬剤・放射線検査疑義照会の報告 ・医療安全情報 NO. 207 「ACE 阻害薬服用患者に禁忌の血液浄化器の使用」周知 ・トップ社輸液ポンプ TOP-2500 部品追加の報告 ・5S 活動院内巡視結果報告 ・医療安全通信「薬剤部の Good job レポートの紹介」周知 ・チューブ類挿入患者（事故）抜去防止対策の運用の見直しおよび改訂の検討 ・医療安全改善活動の評価（PDCA シート） ・患者サポート相談の報告
3 月 26 日	・リスク報告書集計及び抜粋事例報告と検討 ・薬剤・放射線検査疑義照会の報告 ・医療安全情報 NO. 208 「2023 年に提供した医療安全情報」情報提供 ・第2回全体研修会 医療安全改善活動報告の投票結果、アンケート結果報告 ・チューブ類挿入患者（事故）抜去防止対策の運用の見直しおよび改訂の検討 ・患者サポート相談の報告

手術部・麻酔安全管理委員会

1. 目 的

手術センターの円滑な運営と安全な麻酔管理を図ることによって、適切な手術医療の提供体制を確立し維持する。

2. 内 容

- ①手術スケジュールに関する事
- ②手術材料管理に関する事
- ③手術センターの医療器機管理に関する事
- ④手術センターの環境衛生管理に関する事
- ⑤手術センターの安全管理に関する事
- ⑥麻酔の体制および安全に関する事

3. 委員構成

医師部門 中央手術センター部長（外科）・各科診療科責任医師（整形外科・産婦人科・泌尿器科・眼科・皮膚科・耳鼻いんこう科）医療安全・感染制御室 課長・施設部門 施設課課長代行・協助部門 臨床工学技士係長・看護部門 手術センター課長

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
5 月 31 日	〈検討事項〉 1. 現在麻酔器には 3L バックがついた麻酔回路を使用している。コスト削減の点よりバックがついていない人工呼吸器回路へ変更の提案（ME）感染面、他院の状況、麻酔科医の意見も含め再検討 〈その他〉 1. 針の安全適正使用について情報提供 術中に使用してた針の先端が折れた事例あり。医師へ業者から説明あり。看護師も取り扱いについて再度勉強会実施 2. 抗凝固剤・抗血小板剤中止の同意書について 今後の運用については薬剤部より発信あり
8 月 30 日	〈報告事項〉 1. 麻酔回路についてへ変更なし 2. 現在、手術患者には大腿部までのストッキングタイプの弾性ストッキングを出棟前に装着している。膝下までのハイソックスタイプに変更できないか検討。正しい装着方法、サンプルを使用してみる 〈その他〉 1. ネームバンドの装着 ・患者誤認を防止するために、手術患者はネームバンドを装着した状態で入室することが手術センターのマニュアルにも記載されているため緊急手術時も確認する ・同意書は、入室時に最終確認する

11 月 29 日	<検討事項> 1. 心電図モニターのリチウム電池交換の運用について検討したが、現状のまま定期的に交換していく 2. ディスポーザブル脳波センサー変更の提案 アイビジョン ディスポーザブル脳波センサー、スタープロダクト バイスペクトラル EEG センサーのサンプルを使用してみる 3. タイムアウトの自己紹介はオペに参加するすべての職種行う。 <その他> 1. Valley lab FT10 エネルギープラットフォームの不具合の報告。業者によるバージョンアップ済み
3 月 27 日	<報告事項> 1. ハイソックスタイプ（レギュラーS、M、Lサイズ）のサンプル 取り寄せたため各部署に配布する。正しく装着できていないケースがまだあるため患者受け入れ時のチェックを継続する 2. 体温センサーについて ラテックスアレルギー患者は体温センサーのディスポーザブル製品を使用するかどうか。麻酔科医の意見も確認し再検討 <その他> 1. オリンパス社気腹装置で加圧警報が作動しなかった事例について共有。気腹装置の点検について勉強会を 11/8・11/15 に実施。11/20 より使用前点検を看護師、ME で行い記載することになった 2. 全麻の術前検査として、COVID-19 抗原定量検査をいつまでおこなうか、他院の状況を確認し決定していく。

医薬品安全管理委員会

1. 目 的

医薬品の安全使用について協議・検討する。

2. 内 容

- ①医薬品の安全使用のための業務手順書に関する事
- ②各部署での業務手順書の遵守状況に関する事
- ③医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する事
- ④医薬品安全使用に関する研修に関する事
- ⑤医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する事
- ⑥その他、医薬品の安全管理に関する事

3. 委員構成

委員長：医療安全管理部長

委 員：整形外科・内科・眼科医師、看護師、放射線技師、医療安全室長、医事課、
薬剤部（事務局）

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
4 月 25 日	《抗血栓薬服用中止の説明同意書の利用について》 ・手術、内視鏡、検査等で抗血栓薬の服用中止が発生する際は、共通の抗血栓薬服用中止の説明同意書を使用し、文書で同意取得することを決定
6 月 24 日	《術前中止薬一覧の未採用の掲載追加について》 ・休薬が必要な医薬品を網羅するため、非採用薬も含めた術前中止薬一覧に変更
7 月 25 日	《BP 製剤処方時のお薬手帳へ「BP 製剤服用中」シール貼付中止について》 ・薬剤関連顎骨壊死の病態と管理：顎骨壊死検討委員会ポジションペーパー2023にて抜歯時に休薬しないことが推奨されたため、ビスフォスネート系薬剤使用を示すシール対応を終了
9 月 26 日	・委員交代の報告
10 月 24 日	《注射用カリウム製剤の使用に関する院内規定について》 ・注射用カリウム製剤の希釈濃度、投与速度、1日の投与量について添付文書上の規定を逸脱する場合があるため、当院における院内規定案を作成 《溶解液が添付されていない粉末注射製剤のマスタ設定について》 ・溶解液が添付されていない薬剤で粉末アンプル製剤のみマスタでの注意喚起を行うことを決定
11 月 28 日	《研修会の開催について》 ・医薬品安全管理委員会主催で「医薬品副作用被害救済制度」についてeラーニング、確認テストを実施することを決定
12 月 26 日	《カリウム注射製剤の運用について》 ・カリウム注射製剤の院内規定、院内規定情報の保管場所、オーダー時のメッセージ

	表示、KCL 注の調剤時、払い出し時のリスク対策の決定 《ソル・メドロール静注用 40mg のリスク対策について》 ・副腎皮質ホルモン剤であるソル・メドロール静注用は 40 mg のみ添加物として乳糖を含有し、他施設にて乳アレルギーのある患者に投与し、アナフィラキシー症状をきたした事例が報告されていることから、払い出す時に「乳製品アレルギー」への注意を促す用紙をつける対策を追加
1 月 23 日	《シックデイの対応について（資料の改訂及び運用）》 ・糖尿病治療薬におけるシックデイの対応について、内服治療と注射治療の用紙改訂報告と用紙の配布方法の決定 《同効薬のチェックについて》 ・配合錠と同効薬の併用チェックについてのマスタ設定方法を検討 《セフトリアキソン点滴静注の運用について》 ・セフトリアキソン点滴静注とカルシウムを含有する注射剤又は輸液との同時に投与回避について情報共有方法の検討
2 月 27 日	《セフトリアキソン点滴静注の運用について》 ・セフトリアキソン点滴静注とカルシウム含有製剤の同時投与回避方法の決定 《PMDA 医療安全情報 No. 67 高カロリー輸液の投与経路に関する注意について》 ・高カロリー輸液の投与経路指示の適正化にむけての情報共有と医師への周知
3 月 26 日	《入退院支援センターの運用においてリスク発生原因となっている問題点について～休薬に関する問題点を中心に～》 ・入退院支援センターの休薬関連のリスク事例を共有し、入退院支援センター運用の改善点について意見聴取

医療機器等安全管理委員会

1. 目 的

この委員会は、医療機器の安全性及び機能維持管理を行うことにより、医療の質向上を図ることを目的とする。

2. 内 容

- ①医療機器の保守管理に関すること
- ②医療機器の安全確保に関すること

3. 委員構成

委員会は、病院長が委託した次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 医師部門 医療安全・感染制御部長
- (2) 協助部門 診療協同部長、各室長、薬剤部課長、臨床工学技士
- (3) 看護部門 センター看護課長
- (4) 医療安全・感染制御部門 医療安全管理室長
- (5) 事務部門 施設課、エネルギー管理係長

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
9 月 25 日	・委員会規程について、 ・医療機器に関する勉強会・研修の実施について ・研修室のシミュレーター使用状況について ・医療機器に関する PMDA 医療安全情報について ・病棟のセントラルモニター及び心電図モニターのアラームについて
3 月 25 日	・診療放射線室、臨床検査室、臨床工学室の機器定期点検実施記録及び来年度の機器定期点検予定について ・診療放射線室、臨床検査室、臨床工学室の医療機器に関する勉強会・研修の実施について ・医療機器の不具合報告と当院での対応について ・研修室のシミュレーター使用状況について ・医療機器に関する PMDA 医療安全情報について ・病棟のセントラルモニター及び心電図モニターのアラームについて ・来年度 ME 機器担当責任者の任命

院内感染対策委員会

1. 目 的

院内における微生物の感染予防及び感染症発生時の適切な対応を積極的に行い、院内の衛生管理に万全を期するための審議・決定を行う。

実働的に活動する感染制御チーム（ICT）および抗菌薬適正使用支援チーム（AST）を設置、さらに ICT および AST と連携し、ICT および AST が決めたことについて協議・承認を行い、活動の充実および強化を図る。

2. 内容

- 1) 院内感染対策の検討および推進に関すること
- 2) 院内感染防止の対応および原因究明に関すること
- 3) 院内感染等の情報収集および分析に関すること
- 4) 院内感染防止等に関する職員の教育・研修に関すること
- 5) その他、院内感染対策に関すること

3. 委員構成

病院長、薬剤部長、看護部長、事務部長、臨床検査室長、医師、臨床研修医、薬剤師、看護師、臨床検査技師、放射線技師、管理栄養士、理学療法士、事務、その他（委員長が必要と認めた者）

※委員長は医師より病院長が選出

※事務局は医療安全・感染制御室

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
4 月 4 日	・ 感染症情報報告 MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など ・ 針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露者報告 ・ 新型コロナウイルス陽性者の推移報告（院内、稲沢市・一宮市の陽性者数） ・ インフルエンザ陽性者の推移報告 ・ JANIS データ報告（検査部門） ・ AST ラウンド報告 ・ 抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告 ・ 濃厚接触者に該当する職員の自己検体採取について協議 ・ その他、連絡
5 月 2 日	・ 感染症情報報告 MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など ・ 針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露者報告 ・ 新型コロナウイルス陽性者の推移報告（院内、一宮市・稲沢市の陽性者数） ・ インフルエンザ陽性者の推移報告 ・ JANIS データ報告（検査部門） ・ AST ラウンド報告

	・抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告 ・発熱外来の運用、発熱外来受診のフローチャートについて協議
6 月 6 日	・感染症情報報告 - MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など ・針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露者報告 ・新型コロナウイルス陽性者の推移報告（院内、保健所別 定点あたりの報告数） ・インフルエンザ陽性者の推移報告 ・JANIS データ報告（検査部門） ・AST ラウンド報告 ・抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告 ・面会の再開について協議 ・その他、連絡
7 月 4 日	・感染症情報報告 - MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など ・針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露者報告 ・新型コロナウイルス陽性者の推移報告（院内、保健所別 定点あたりの報告数） ・インフルエンザ陽性者の推移報告 ・JANIS データ報告（検査部門） ・AST ラウンド報告 ・抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告 ・その他、連絡
8 月 1 日	・感染症情報報告 - MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など ・針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露者報告 ・ICT ラウンド結果報告 ・新型コロナウイルス陽性者の推移報告（院内、保健所別 定点あたりの報告数） ・JANIS データ報告（検査部門） ・AST ラウンド報告 ・抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告 ・トリアージ問診票の見直しについて協議 ・濃厚接触者となった学生の対応について協議 ・その他、連絡

9 月 5 日	・感染症情報報告 MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など ・針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露者報告 ・新型コロナウイルス陽性者の推移報告（院内、保健所別 定点あたりの報告数） ・JANIS データ報告（検査部門） ・AST ラウンド報告 ・抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告 ・その他、連絡
10 月 3 日	・感染症情報報告 MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など ・新型コロナウイルス陽性者の推移報告（院内、保健所別 定点あたりの報告数） ・インフルエンザ陽性者の推移報告（院内、保健所別 定点あたりの報告数） ・JANIS データ報告（検査部門） ・AST ラウンド報告 ・抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告 ・院内感染対策マニュアル「第Ⅵ章 感染症の届出」改訂について提案、承認 ・新型コロナウイルス感染症の院内感染対策マニュアル改訂について提案、承認 ・新型コロナウイルス感染症患者の入院受入れ体制について協議 ・その他、連絡
11 月 7 日	・感染症情報報告 MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など ・新型コロナウイルス陽性者の推移報告（院内、保健所別 定点あたりの報告数） ・インフルエンザ陽性者の推移報告（院内、保健所別 定点あたりの報告数） ・JANIS データ報告（検査部門） ・AST ラウンド報告 ・抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告 ・新型コロナウイルス感染症の院内発生事例について報告 ・感染制御チーム規程および抗菌薬適正使用支援チーム規程の改正について提案、承認 ・東 2 階病棟のゾーニングについて協議 ・その他、連絡
12 月 5 日	・感染症情報報告 MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など ・新型コロナウイルス陽性者の推移報告（院内、保健所別 定点あたりの報告数） ・インフルエンザ陽性者の推移報告（院内、保健所別 定点あたりの報告数） ・JANIS データ報告（検査部門） ・AST ラウンド報告 ・抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告

	・年末年始の発熱者対応等について協議 ・その他、連絡
1 月 16 日	・感染症情報報告 - MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など ・針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露者報告 ・新型コロナウイルス陽性者の推移報告（院内、保健所別 定点あたりの報告数） ・インフルエンザ陽性者の推移報告（院内、保健所別 定点あたりの報告数） ・JANIS データ報告（検査部門） ・AST ラウンド報告 ・抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告 ・院内感染対策全体講演会の参加率およびアンケート結果報告 ・インフルエンザの院内発生事例について報告 ・相互ラウンド結果について報告 ・その他、連絡
2 月 6 日	・感染症情報報告 - MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など ・新型コロナウイルス陽性者の推移報告（院内、保健所別 定点あたりの報告数） ・インフルエンザ陽性者の推移報告（院内、保健所別 定点あたりの報告数） ・JANIS データ報告（検査部門） ・AST ラウンド報告 ・抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告 ・新型コロナウイルス感染症の院内発生事例について報告 ・抗菌薬適正使用マニュアル「抗菌薬内服スイッチ」改訂について提案、承認 ・その他、連絡
3 月 5 日	・感染症情報報告 - MRSA 検出状況、ESBL 検出状況、他の耐性菌検出状況など ・針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露者報告 ・新型コロナウイルス陽性者の推移報告（院内、保健所別 定点あたりの報告数） ・インフルエンザ陽性者の推移報告（院内、保健所別 定点あたりの報告数） ・JANIS データ報告（検査部門） ・AST ラウンド報告 ・抗菌薬使用状況（AUD/DOT）報告 ・その他、連絡

5. 院内教育

全職員対象研修会（2回/年 開催）

1) 第1回 院内感染対策講演会

内容：医療関連感染の予防 ～医療従事者の手による広がりを考える～

方法：動画視聴、確認テスト・アンケート

2) 第2回 院内感染対策全体講演会

内容：個人防護具（PPE）の安全な着脱方法について

方法：動画視聴、確認テスト・アンケート

抗菌薬適正使用講演会

1) 第1回 抗菌薬適正使用講演会

内容：経口抗菌薬のススメ～ 超高齢化社会における感染症治療の秘訣 ～

方法：資料閲覧、確認テスト・アンケート

2) 第2回 抗菌薬適正使用講演会

内容：黄色ブドウ球菌感染症

方法：資料閲覧、確認テスト・アンケート

臨床検査適正化委員会

1. 目 的

臨床検査の適切な活用、質、精度の向上をめざす。

2. 内 容

- ①臨床検査に関する状況報告と対策
- ②検査項目の導入および廃止等に関する協議
- ③その他、臨床検査に関する承認・決議

3. 委員構成

委員長：医師（医療安全・感染制御部長）

委 員：診療協同部長、検査診断科部長、医事課 1 名

臨床検査室 課長 1 名・係長 3 名

事務局：臨床検査室長

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
5 月 29 日	・令和 4 年度全期臨床検査室稼動実績報告について ・令和 5 年度臨床検査室固定資産取得予定について ・臨床検査室新規試薬（1 試薬）について ・臨床検査室変更試薬（3 試薬）について ・臨床検査室試変更材料（2 材料）について ・検査室ニュースについて（5 件） ・院内検査から外注検査への変更項目（2 項目）について
8 月 29 日 （文章開催）	・令和 5 年度臨床検査室稼動実績（4 月～7 月）報告について ・臨床検査室変更試薬（3 試薬）について ・検査室ニュースについて（1 件）
11 月 27 日	・令和 5 年度臨床検査室稼動実績（4 月～10 月）報告について ・臨床検査室試薬変更（1 試薬）について ・令和 5 年度日本臨床検査技師会精度管理調査の結果について ・令和 5 年度愛知県臨床検査技師会精度管理調査の結果について ・検査室ニュースについて（2 件）
2 月 26 日 （文章開催）	・令和 5 年度臨床検査室稼動実績（4 月～1 月）報告について ・臨床検査室新規試薬（1 試薬）について ・臨床検査室変更試薬（2 試薬）について ・令和 5 年度日本医師会精度管理調査（POCT）感染症項目の結果について ・検査室ニュースについて（1 件） ・SARS-CoV-2 抗原定量検査試薬変更について ・FIB-4index の計算結果表記について ・来年度からの開催日および時間について

化学療法委員会

1. 目的

化学療法の安全かつ適正な運用を図り、医療内容の向上に寄与する

2. 内容

①新規レジメンの検討

②レジメン改訂の検討

③化学療法の安全かつ適正な運用の検討

3. 委員構成

医師 4 名、看護師 3 名、薬剤師 2 名

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
12 月 14 日	・レジメン登録承認 内科55 CE+テセントリク療法(小細胞肺癌) 内科56 PTX療法6投1休(食道癌) 外科 78 パージェタ+ハーセプチン療法(大腸癌) 外科 79 FLOLFOXIRI 療法(大腸癌) 婦人科 22-1 PLDC 療法(DXR90mg 未満)(卵巣癌) 婦人科 22-2 PLDC 療法(DXR90mg 以上)(卵巣癌) ・血管外漏出時の対策表改訂 ・採用薬変更に伴うレジメン修正作業報告 アロキシ0.75mg/5mL → パロノセトロン0.75mg/5mL ドセタキセル点滴静注20mg/1mL「EE」 → ドセタキセル点滴静注20mg/1mL「ニプロ」 エトポシド点滴静注100mg「タイヨー」→エトポシド点滴静注100mg「NIG」

新規レジメン緊急承認のためのメール開催

令和 5 年 4 月 3 日、令和 5 年 4 月 27 日、令和 5 年 6 月 7 日、令和 5 年 6 月 16 日、
令和 5 年 8 月 22 日

放射線科運営委員会

1. 目 的

放射線業務運営に関する事項を協議し、円滑な放射線検査体制の確立を推進すること。

2. 内 容

- ①放射線業務運営に関すること
- ②放射線医療システムに関すること
- ③各診療科との連携に関すること
- ④診療用放射線の安全利用のための指針事項に関すること

3. 構成委員

放射線科医師（委員長）、年度初めに管理職にて選任された医師、外来看護課長、第3外来看護係長、診療協同部長、医事課代表、施設課代表、診療放射線室長（事務局）、その他（委員長が必要と認めた者）

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
7月24日～8月4日 (メール開催)	〔報告事項〕 ・令和5年度 放射線運営委員会構成員変更について ・令和4年度診療放射線室業務実績について ・令和4年度放射線医療機器点検状況および、令和5年度点検予定計画について ・第16次中期計画進行状況について ・安全衛生に関する報告（職員個人被ばく線量について） ・診療用放射線安全管理について（被ばく低減への取り組み、血管撮影における患者被ばく状況、学会・勉強会参加報告） 〔協議内容〕 ・特になし 〔その他〕 ・ペースメーカー、ICD、CRT-D 留置患者のCT検査運用について（再周知） ・タスクシフトについて 指定講習会及び告示研修受講状況 ・春及び秋健診について（再周知） ・診療放射線室施設認定及び認定技師取得状況

NST 委員会

1. 目的

稲沢厚生病院のすべての患者を対象に、栄養状態を評価し、栄養不良が認められた場合には統一した基準で稲沢厚生病院栄養サポートチーム（以下 NST という： Nutrition Support Team）が栄養管理を実施する

2. 内容

- ①NST 関連学会・研究会に関すること
- ②小チーム編成による活動について
- ③NST 回診に関すること

3. 委員構成

委員長：医師

委員：医師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、管理栄養士、事務員

4. 開催日および活動内容

開催日	活動内容
4 月 20 日	・ NST 委員会規定および委員の変更について ・ 第 38 回日本臨床栄養代謝学会学術集会（JSPEN2023） 5 月 9 日～5 月 10 日神戸コンベンションセンターにて開催 ・ ALB 値集計結果報告 ・ NST 回診人数報告 ・ 摂食嚥下機能判定運用報告 ・ ポジショニングラウンドの報告 ・ NST 全体講演会実施計画について ・ PG ソフト容器の形状変更について
5 月 18 日 (文書開催)	・ ALB 値集計結果報告 ・ NST 回診人数報告 ・ 経腸栄養ポンプの使用状況の確認 ・ 摂食嚥下機能判定運用報告 ・ ポジショニングラウンドの報告
6 月 15 日	・ ALB 値集計結果報告 ・ NST 回診人数報告 ・ 摂食嚥下機能判定運用報告 ・ ポジショニングラウンドの報告 ・ 第 1 回 NST 全体講演会 経腸栄養剤（PG ソフト）の投与方法について ・ とろみ飲料の作り方を改定 ・ 摂食嚥下機能評価フローチャートについて摂食嚥下認定看護師より再周知

7月20日 (文書開催)	・第17回日本臨床栄養代謝学会 中部支部学術集会 7月22日 愛知県産業労働センター（ウイंक愛知）にて開催 ・ALB 値集計結果報告 ・NST 回診人数報告 ・摂食嚥下機能判定運用報告 ・ポジショニングラウンドの報告 ・第1回 NST 全体講演会について ・委員への連絡方法について Slack について
8月17日	・ALB 値集計結果報告 ・NST 回診人数報告 ・摂食嚥下機能判定運用報告 ・ポジショニングラウンドの報告 ・第1回 NST 全体講演会 経腸栄養剤（PG ソフト）の投与方法について 7月4日～7月28日まで Garoon 掲示 ・第2回 NST 全体講演会について検討 ・委員への連絡方法について Slack、Line ワークスについて ・メディエフ 200kcal 終売について
9月21日 (文書開催)	・ALB 値集計結果報告 ・NST 回診人数報告 ・摂食嚥下機能判定運用報告 ・ポジショニングラウンドの報告 ・第2回 NST 全体講演会について検討 ・委員への連絡方法について Line ワークスについて
10月19日 (文書開催)	・ALB 値集計結果報告 ・NST 回診人数報告 ・摂食嚥下機能判定運用報告 ・ポジショニングラウンドの報告 ・第2回 NST 全体講演会について検討 ・委員への連絡方法について Slack、Line ワークスについて ・メディエフ 200kcal 終売のため最終出荷時期について
11月16日 (文書開催)	・ALB 値集計結果報告 ・NST 回診人数報告 ・摂食嚥下機能判定運用報告 ・ポジショニングラウンドの報告 ・メディエフ 200kcal 終売 代替品はペプタメン、ペプチーノを用いる

12 月 21 日	・ ALB 値集計結果報告 ・ NST 回診人数報告 ・ 摂食嚥下機能判定運用報告 ・ ポジショニングラウンドの報告 ・ メディエフ 200kcal 終売に伴い廃止 11 月医局会報告、12 月より在庫終了 ・ 委員への連絡方法について Slack から Line ワークスへの変更承認される
1 月 18 日 (文書開催)	・ 第 39 回日本臨床栄養代謝学会学術集会 (JSPEN2024) 2 月 15 日～2 月 16 日 パシフィコ横浜にて開催 ・ ALB 値集計結果報告 ・ NST 回診人数報告 ・ 摂食嚥下機能判定運用報告 ・ ポジショニングラウンドの報告
2 月 15 日	・ ALB 値集計結果報告 ・ NST 回診人数報告 ・ 摂食嚥下機能判定運用報告 ・ ポジショニングラウンドの報告 ・ 食具の管理について ・ 脂肪乳剤の投与速度について イントラリポスの推奨投与時間表の作成
3 月 21 日 (文書開催)	・ ALB 値集計結果報告 ・ NST 回診人数報告 ・ 摂食嚥下機能判定運用報告 ・ ポジショニングラウンドの報告 ・ 脂肪乳剤の投与速度早見表の運用方法、保存先について

栄養管理委員会

1. 目的

病院食の質の向上と入院患者の適切な栄養管理を行うこと

2. 内容

- ① 給食運営に関すること
- ② 喫食嗜好調査に関すること
- ③ 病院食におけるヒヤリ・ハット内容に関すること

3. 委員構成

医師、診療協同部長、事務管理室長、各病棟看護課長、管理栄養士、調理師

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
4月24日 (文書開催)	・PGソフト容器の形状変更について ・とろみコメントがある方の牛乳パックの提供について ・食品の賞味期限について ・食種の名称変更について
7月24日	・6月嗜好調査結果報告 ・経管栄養メディエフ 200kcal の終売について
10月23日	・とろみ剤(ソフティアS)の使用状況について
1月22日	・11月嗜好調査結果報告 ・ソフト食の減塩対応食について ・食事オーダーのコメントについて

スキンケア委員会

1. 目 的

ストーマをはじめ褥瘡などスキンケアの予防・対策・検討及び部署への啓発活動を行い、質の高い看護を提供していくことを目的とする。

2. 内 容

- ①ストーマ外来受診患者の報告と、褥瘡患者の発症報告・有症報告を行って褥瘡患者の把握を行う。
- ②発生した褥瘡のついてのリスクや治療経過、治療内容、今後の対策について報告。
- ③毎週水曜日に褥瘡回診を行い医師・看護師・栄養士がラウンドし、その場で使用薬剤や栄養面について検討する。
- ④薬剤師は、当院で採用されている薬剤の使用方法についての情報提供や勉強会開催、材料の請求と管理方法などを啓発する。

3. 委員構成

外科医師 皮膚科医師 薬剤師 栄養士 皮膚排泄ケア認定看護師 各病棟看護師 外来看護師
手術室看護師（スキンケア小委員会のみ）

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
4月7日	・褥瘡状況報告 ・ストーマ外来の介入事例の報告 ・ブイ・クレス CP-1 の紹介（とろみ使用患者への対応、亜鉛） ・2022 年度の褥瘡発生率から今年度の目標の方向性 ・尿取りパットの使用方法
5月12日	・褥瘡状況報告 ・退院決定後に褥瘡が発生した場合の注意 ・食事に時間を要する患者の対応策 ・エネルギーコントロール食にやわらか食追加 ・スライディングシートの紹介
6月2日	・褥瘡調査報告 ・スライディングシートの使用感共有 ・褥瘡発生の要因、アセスメント ・褥瘡発生リスクの高い患者の補助食品の相談について（栄養科）
7月7日	・褥瘡調査報告 ・褥瘡好発部位の観察、予防、早期発見 ・褥瘡回診で踵部に焦点を当てて除圧指導実施

8 月 4 日	・褥瘡調査報告 ・褥瘡患者ケア物品の整理整頓 環境整備 ・エアマットの管理方法についての検討
9 月 1 日	・褥瘡調査報告 ・各部署目標についての進捗状況 ・電子カルテ更新後のトラブルの確認
10 月 6 日	・褥瘡調査報告 ・スキンテア（4 月～9 月）の傾向と分析 移乗に加え、更衣時に発生している ・スキンテアリスクの共有 前腕、手首に発生したことによりネームバンドを除去された 皮膚損傷予防のため貼付していたエスアイエイドの下に潰瘍発生した
11 月 10 日	・褥瘡調査報告 ・各部署の取り組み内容の中間評価と現状報告 ・亜鉛化軟膏の製造中止の連絡
12 月 1 日	・褥瘡調査報告 ・ストーマ患者の座薬の取り扱いについて ・除圧枕の使用方法（ピーチ使用による下腿後面の褥瘡）
1 月 5 日	・褥瘡調査報告 ・褥瘡発生が多い部位（踵部）に注意するよう啓蒙
2 月 2 日	・褥瘡調査報告 ・チーム登録の方法の再確認 マニュアルの皮膚トラブル発生時の手順、チーム登録の項目を再度啓蒙
3 月 1 日	・褥瘡調査報告 ・各部署の取り組み内容の最終報告と来年度に向けての方向性 ・次年度の委員会の方向性（予防に向けた取り組み） ・抑制患者の観察部位について（抑制帯使用部位） ・スキントラブルリスクの部署内共有（再発防止）

2023 年度データ

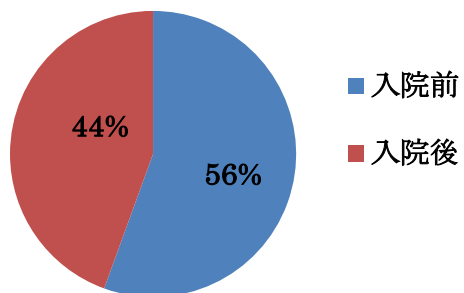
・褥瘡発生率（各部署平均）

西 2 階：0.46％ 東 2 階：3.13％ 西 3 階：1.89％ 東 3 階：0.43％

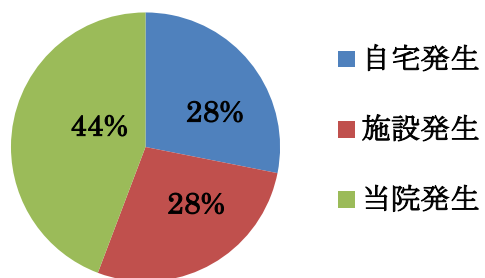
西 4 階：0.39％

全部署平均褥瘡推定発生率：1.2％

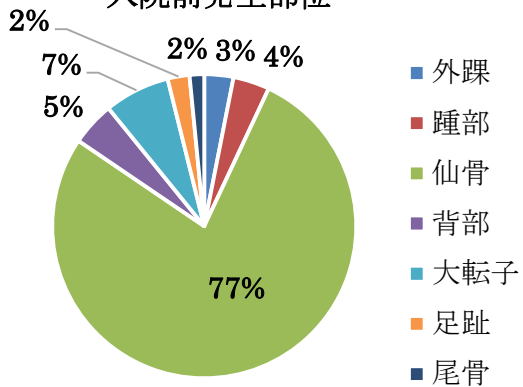
褥瘡発生



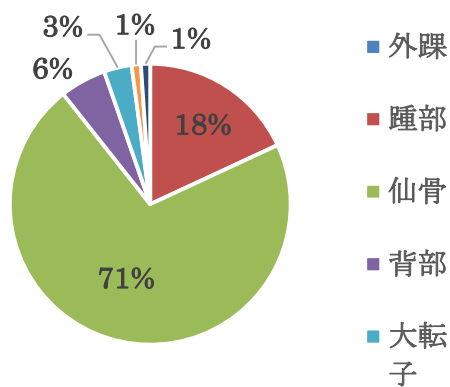
褥瘡発生場所



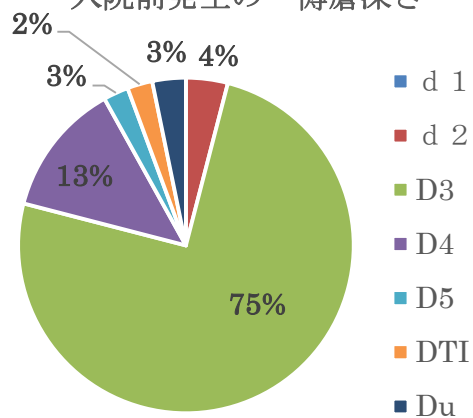
入院前発生部位



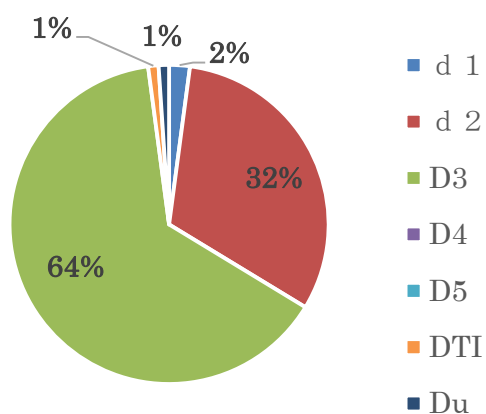
入院後発生部位



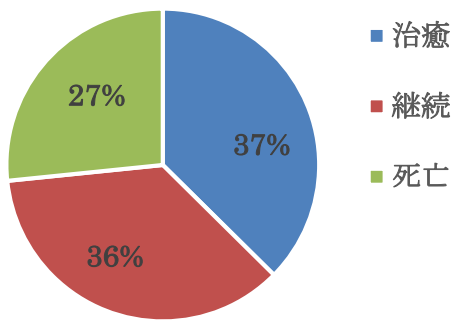
入院前発生の褥瘡深さ



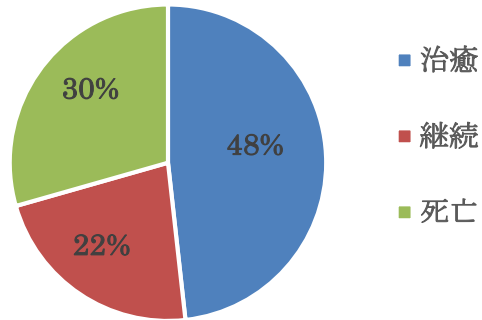
入院後発生の褥瘡深さ



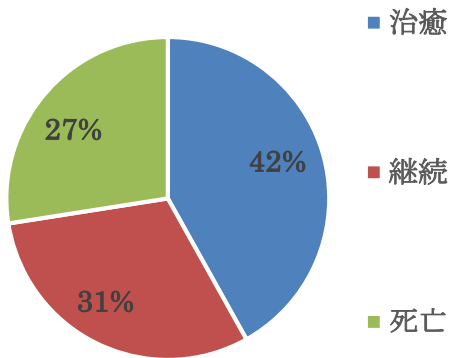
入院前發生 褥瘡經過



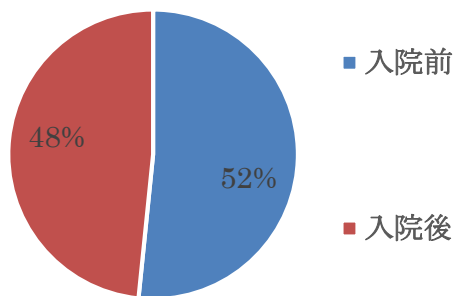
入院後發生 褥瘡經過



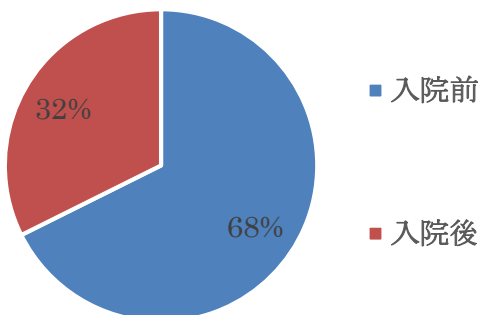
褥瘡經過



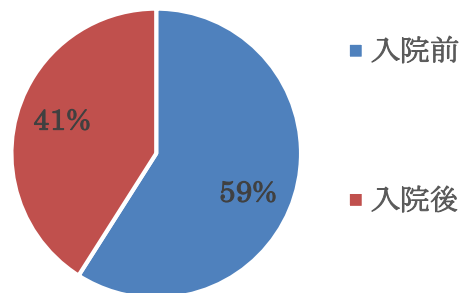
治癒



繼續



死亡



クリティカルパス・EBM 委員会

1. 目 的

インフォームドコンセントの理念に基づいた医療の提供、医療・ケアの提供及び質の向上、計画的な業務調整・物品管理、病床運用の効率化、チーム医療の標準化について、スタッフが協同して医療に取り組めることを目的とする。

2. 内 容

- ①クリティカルパス作成に関して注目する疾患・検査を提案して決定する
- ②現状使用しているものの使用状況と評価をしていく
- ③医療・ケアの提供や介入の結果を評価する
- ④看護記録の簡略化を検討する

3. 委員構成

委員長：産婦人科部長

事務局：看護部

委 員：内科医師、整形外科医師、薬剤部、臨床検査技術科、放射線技術科、リハビリテーション技術科、栄養科、医療福祉連携室、看護部、医事課、診療情報課

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
4 月 17 日	・委員メンバー紹介 ・今年度の委員会目標、各部門目標の確認 ・前月のクリティカルパス適用退院患者、パスの修正公開について ・8 月の電子カルテ更新で変更になる点について
8 月 21 日	・前月のクリティカルパス適用退院患者について ・パスの修正、新規パス作成公開について 外科：全麻ソケイヘルニア（注射コメント追加） ・電子カルテ更新後の不具合の確認 各部署大きな問題なく経過 各科対応について共有（薬剤部では一部の薬剤名が在庫のない薬品に置き換わっていたため対応、栄養科は使用頻度の少ないパスが可動した時に確認する）
12 月 18 日	・前月のクリティカルパス適用退院患者について ・パスの修正、新規パス作成公開について 産婦人科経膈分娩：必要時指示の変更 左眼緑内障手術、右目緑内障手術 ・委員の交代 ・各部門目標の最終評価を行う
3 月 18 日	・前月のクリティカルパス適用退院患者、パスの修正公開について 左右白内障手術、両眼白内障手術、左右硝子体手術、左右緑内障手術、左右緑内障手術（白内障あり）、左右白内障（2泊3日）、産後ケアパス作成 ・2021 年度の委員会目標、各部門目標の最終評価と来年度の目標

救急医療委員会

1. 目 的

救急医療に関する事項を協議し、円滑な救急体制の確立を推進し、プレホスピタルを含めた救急医療の充実を図ることを目的とする。

2. 内 容

- ①救急医療システムに関すること
- ②救急隊との連携に関すること
- ③救急医療の院内、院外教育に関すること
- ④虐待問題に関すること（虐待部会にて検討し、救急医療委員会へ報告）

3. 委員構成

- ①診療部門
- ②診療協助部門
- ③看護部門
- ④事務部門
- ⑤委員長が必要と認めた者

4. 開催日と活動内容

隔月第二火曜日

開催日	活動内容
5 月 16 日	・時間外患者数・手術件数・検査・放射線検査・処置件数の報告 ・救急車不応需、医療機関別種別搬送人員の報告 ・ゴールデンウィークの当直状況の報告 ・救急救命士就業前病院実習 2 名 5/29～6/9 まで ・コード救急事例（5 月 10 日）について検証 ・気管チューブ用スタイレットのディスポ化について ・BLS 研修について
7 月 18 日	・時間外患者数・手術件数・検査・放射線検査・処置件数の報告 ・救急車不応需、医療機関別種別搬送人員の報告 ・気管チューブ用スタイレットのディスポ化について ・BLS 研修について ・外来救急マニュアル改訂について ・正面玄関付近の緊急時用ストレッチャー設置について ・健康管理センターの救急物品について
9 月 19 日	・時間外患者数・手術件数・検査・放射線検査・処置件数の報告 ・救急車不応需、医療機関別種別搬送人員の報告 ・気管チューブ用スタイレットをディスポに変更 ・BLS 研修について ・救急外来の人工呼吸器について

11 月 21 日	・時間外患者数・手術件数・検査・放射線検査・処置件数の報告 ・救急車不応需、医療機関別種別搬送人員、事前管制不応答の報告 ・BLS 研修について ・年末年始の当直体制について検討 ・救急外来エリアのワックス清掃について（施設課・大倉係長より）
1 月 16 日	・時間外患者数・手術件数・検査・放射線検査・処置件数の報告 ・救急車不応需、医療機関別種別搬送人員、事前管制不応答の報告 ・事前管制受入れ可否について ・年末年始の当直状況報告 ・BLS 研修参加予定者数 ・稲沢消防との救急症例検討会について ・救急外来頻用薬一覧表について 薬剤科より一覧表の提案あり、承認された ・救急カート物品見直し 凝固系採血スピッツは病棟用救急カートに常備しない
2 月 28 日	稲沢消防との合同症例検討会 「救急隊が大動脈解離と疑えなかった事案」「転帰情報の活用」
3 月 19 日	・時間外患者数・手術件数・検査・放射線検査・処置件数の報告 ・救急車不応需、医療機関別種別搬送人員、事前管制不応答の報告 ・事前管制受入れ可否について ・BLS 講習会の報告 ・2 月 28 日開催の稲沢消防との合同症例検討会報告 ・コード救急事例（3 月 14 日）の検証 ・救急カートのアンビュバック見直し、救急外来でサンプル使用する

SPD 委員会

1. 目 的

供給室 (SPD) に関連することを審議する。

2. 内 容

- ①物品の選定・モニター
- ②運用規程
- ③資材委員会への申請

3. 委員構成

委員長：整形外科医師

委員：副看護部長、看護課長、看護係長

臨床工学室長、施設課員、薬剤部供給室(事務局)、供給課長

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
5 月 25 日	・速乾性手指アルコール消毒剤の切り替え提案 ・主な個人防護具の在庫状況
6 月 26 日	・ニトリルグローブの切り替え提案 ・速乾性手指アルコール消毒剤の試用結果報告
9 月 13 日	・酸素カニューレの提案 ・ニトリルグローブの試用結果報告
11 月 1 日	・酸素物品の提案 ・ディスポーザブルキャップの切り替え提案 ・留置針の供給遅延の報告

固定資産選定委員会

1. 目 的

事業年度における高額な固定資産（器械・備品・車輛）取得要望品を適正に審議し、効率的に固定資産取得を行なうことを目的とする。

2. 内 容

① 固定資産の取得に関する事項

3. 委員構成

院長・副院長・診療協同部長・薬剤部長・看護部長・事務部長・診療放射線室長

臨床検査室長・臨床工学室長・事務管理室長・医療情報室長・施設課員

事務局：施設課

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
12 月 25 日	・長期投資計画について ・令和 5 年度固定資産取得結果について ・令和 6 年度固定資産取得予定（案）について

医療ガス安全管理委員会

1. 目 的

医療ガス（医療の用に供する酸素・各種麻酔ガス・吸引・医療用圧縮空気・窒素等をいう）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。

2. 内 容

- ①医療ガス設備について、別に定める「医療ガスの保守点検指針」に基づいて実施責任者に保守点検業務を行わせること。
- ②帳簿を備え、実施した保守点検について記録を作成し、保存すること。
- ③医療ガス設備に係わる新設及び増設工事、部分改造、修理等に当たっては、臨床各部門にその旨周知徹底を図り使用に先立って厳格な試験・検査を行い、安全を確認すること。
- ④医療施設内の各部門に、医療ガスに関する知識を普及し、啓発に努めること。

3. 委員構成

医師、薬剤師、診療放射線室技師、臨床検査室長、臨床工学室長、看護課長、事務部長、施設課員

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
3 月 27 日	・ 医療ガス設備点検結果について ・ 作業環境測定と吸引風量測定結果について ・ 委員会名簿について

医療廃棄物管理委員会

1. 目 的

医療廃棄物管理委員会（以下「委員会」という）は、医療廃棄物ことに感染症を生ずるおそれがある廃棄物について、「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」に沿って必要な事項を検討し適正処理の推進を図ることを目的とする。

2. 内 容

- ①廃棄物処理計画に関する事項
- ②事業所内処理に関する取り扱い事項
- ③委託処理に関する取り扱い事項
- ④医療廃棄物処理・管理規程の作成と検討
- ⑤病院長の諮問事項、その他廃棄物に関すること

3. 委員構成

医師、薬剤師、診療放射線室技師、臨床検査室長、臨床工学室長、看護課長、事務部長、施設課員

事務局：施設課

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
3 月 27 日	・ 廃棄物処理費用と排出量の推移について ・ その他－委員会名簿について

災害対策委員会

1. 目 的

防災管理の徹底を期すると共に、地震・火災・その他の災害が発生した場合、人的・物的被害を最小限に防止することを目的とする。

2. 内 容

- ①防災計画並びに防災訓練に関すること
- ②防災関係諸規程の整備に関すること
- ③建物、附属設備の改善・点検・保全及び防災設備の改善強化に関すること
- ④防災並びに避難に関する調査・研究・企画に関すること
- ⑤防災知識の普及及び高揚に関すること
- ⑥その他防災上必要な事項に関すること

3. 委員構成

委員会は管理権原者が指名する委員長、副委員長及び各部署の委員を以って構成し、必要に応じ病院の内外の有識者を加えるものとする。

事務局：施設課

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
7 月 19 日	・ 令和 5 年度 災害対策委員会名簿について ・ 防災管理計画（消防計画）について ・ 停電について
11 月 29 日	・ R5 年度災害対応訓練について ・ B C P の更新について

院内コンプライアンス委員会

1. 目的

院内のコンプライアンス態勢の確立、浸透、定着という目的を達成するために必要な事項を審議する。

なお、個人情報および医療事故に係ることについては其々の委員会において審議する。

2. 内容

- ①コンプライアンスに関する全体的な施策に関する事項
- ②コンプライアンス・プログラムの策定等について、コンプライアンス統括責任者から付議された事項
- ③コンプライアンスに関する研修の実施
- ④その他、コンプライアンスに関する重要な事項

3. 委員構成

- (1) コンプライアンス統括責任者（病院長）
- (2) コンプライアンス副統括責任者（事務部長）
- (3) 管理職：薬剤部長、看護部長、診療協同部長
- (4) 各部門部署代表：薬剤部室長、診療放射線室、臨床検査室、リハビリテーション室、
栄養管理室、臨床工学室、臨床心理室、健康管理センター、地域連携室、
介護事業室長、副看護部長、看護課長、事務管理室長、企画室長、
医療情報室長、総務課長、医事課長、施設課長、企画課長、
院長の認めたこれに準ずる者

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
5 月 26 日	・令和 4 年度第 4 四半期コンプライアンス事案の発生状況について ・患者誤認を要因とするコンプライアンス事案（誤交付）件数の推移
8 月 25 日	・契約書における暴排条項の導入状況について ・令和 5 年度不当要求防止責任者講習会について ・令和 4 年度コンプライアンス報告漏れ状況について ・令和 4 年度自動車事故報告について
12 月 29 日	・令和 5 年度コンプライアンスプログラムの進捗状況について ・「患者確認徹底強化月間」取り組み結果について ・コンプライアンス事案の発生および処分について ・コンプライアンス事案の発生報告について ・不祥事件対応マニュアルの一部改正について
3 月 28 日	・自己点検シートによる行動規範の自己点検結果について ・コンプライアンス往査結果について ・コンプライアンス事案の発生および処分について ・コンプライアンス事案の発生報告について ・個人情報等の取扱について ・「行動規範ハンドブック」の一部変更について ・反社会的勢力への対応マニュアルの一部改正等について

安全衛生委員会

1. 目 的

労働者の意見を集約し、労働災害の防止策や過重労働防止などを事前に調査・審議することにより、将来の労働災害や健康障害を防ぐ。

2. 内 容

- ①職員健診の実施および管理（春・秋健診２回）
- ②雇入健診の実施および管理
- ③インフルエンザ予防接種の実施
- ④ストレスチェック制度実施に関する事項
- ⑤その他職員の健康に関する事項 等

3. 委員構成

薬剤部長、事務部長、健康管理科部長、医療安全感染制御部長、眼科部長、診療放射線室長、臨床検査室長、健康管理室長、病棟看護課長、外来看護課長、感染制御係長、総務課

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
４月７日	・労働基準監督署への報告について ・メンタルヘルス相談について（定例報告） ・針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露報告について（定例報告） ・職員事故報告について（定例報告） ・ガラスバッチによる放射線被ばく調査について（定例報告） ・長時間労働者について（定例報告） ・職場巡視報告について（定例報告） ・職員健康診断（春）の運用について ・作業環境測定結果報告について ・時間外・休日労働に関する協定届
５月１９日	・定例報告 ・職員健康診断（春）の運用について
６月３０日	・定例報告 ・職員健康診断（春）の運用について
７月２１日	・定例報告 ・職員健康診断（春）の運用について ・2023年度ストレスチェック実施について
８月２９日	・定例報告 ・HBワクチン接種について ・2023年度ストレスチェック実施について
９月１５日	・定例報告 ・HBワクチン接種について

	・インフルエンザ予防接種について ・2023 年度ストレスチェック実施について ・職員健康診断（秋）の運用について
10 月 20 日	・定例報告 ・職員健康診断（秋）の運用について ・2023 年度ストレスチェック実施について ・H B ワクチン接種について
11 月 17 日	・定例報告 ・職員健康診断（秋）について
12 月 15 日	・定例報告
1 月 19 日	・定例報告 ・職員健康診断（秋）について ・長時間労働者（医師）への面接指導体制について
2 月 3 日	・定例報告 ・B 型肝炎ワクチン接種について ・令和 5 年度ストレスチェック実施後の対応について ・職員健康診断（春）の運用について
3 月 15 日	・定例報告 ・B 型肝炎ワクチン接種について ・職員健康診断（秋）の未実施者への対応について ・職員健康診断（春）について ・2024 年度健康診断等年間スケジュール

人事考課制度推進委員会

1. 目 的

この会は、事業所内における人事考課制度の実施、推進を目的とし、人事考課制度の円滑な運用を図ることを目的とする。

2. 内 容

①人事考課制度の円滑な運営を図る

3. 委員構成

副院長 1 名、事務部長、人事考課インストラクター 3 名、オブザーバー 2 名、事務局 1 名

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
7 月 4 日	・令和 4 年度人事考課結果について ・令和 5 年度人事考課者一覧について ・令和 5 年度人事考課及び目標マネジメントのスケジュールについて
2 月 29 日	・令和 5 年度人事考課実施スケジュールについて ・令和 5 年度病院目標（部署）の設定について ・令和 6 年度目標課題設定スケジュールについて

省エネルギー管理委員会

1. 目 的

地球温暖化防止 CO2 削減に向け使用量の把握、エネルギー使用の合理化に関する方策、省エネルギーに関する設備改廃計画の作成、院内における省エネルギー活動の推進を目的とする。

2. 内 容

- ①省エネルギーの合理化に関すること
- ②省エネルギー管理に関すること

3. 委員構成

事務部長・薬剤師・臨床検査技師・診療放射線技師・言語聴覚士・管理栄養士・看護師・施設課
事務局：施設課

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
2 月 8 日	・令和 4 年度エネルギー使用量 ・光熱費と燃料費 ・空調機の修理状況 ・省エネの取組み ・節水装置の導入 ・LED 照明の導入 ・委員会名簿 ・中部電力 負担軽減策 ・改正省エネ法

治験・臨床研究等審査委員会

1. 目 的

治験および臨床研究等の審査を行う。

2. 内 容

①治験関連の審査

②臨床研究の審査

3. 委員構成

委員長：内科医師

副委員長：精神科医師

委 員：内科医師、看護部長、薬剤部長、事務部長、事務管理室長、医事課長、
学識経験者 2 名、薬剤供給室長（事務局）

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
文書開催	・ 委員変更 ・ 院内特殊製剤 ・ 抗がん剤使用患者の日常生活行動変化の実態調査 ・ 絨毛羊膜炎に対するウリナスタチンの局所投与

倫理審査委員会

1. 目 的

稲沢厚生病院に属する医師および診療に携わる者が行なう医療行為等（治療・研究を除く）において、患者の人権擁護の立場から、倫理的配慮が図られているかどうか審査および検討などを行なうことを目的とする。

2. 内 容

- ①宗教的理由による治療（輸血）の拒否に関すること
- ②終末期医療に関すること
- ③人権に関すること
- ④当院で標準的な治療として確立していない医療行為に関すること
- ⑤院内の臨床倫理の方針、ガイドライン等の見直し及び作成に関すること
- ⑥臨床倫理の教育及び研修の企画・運営に関すること
- ⑦その他の臨床倫理に関すること

3. 委員構成

診療部門 3 名、看護部門 2 名、薬剤部門 1 名、診療協助部門 1 名、事務部門 1 名、
地域医療福祉連携部 2 名（1 名は医療ソーシャルワーカー）、外部 2 名、医療安全管理部門 1 名

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
4 月 1 日	・ 倫理審査委員会規定の改訂

患者満足度向上会委員会

1. 目 的

この会は患者さんの安心と満足を提供するために、選ばれる病院づくりを目指して積極的に活動することを目的とする。

2. 内 容

- ①入院・外来アンケートの実施および評価
- ②接遇研修会等の開催および評価
- ③「みなさまの声」に関する情報共有および対応策チェック
- ④病院職員としてのモラルに関する指標の作成・検討

3. 委員構成

診療部 2 名、診療協同部 5 名、看護部 2 名、医療安全感染制御部 1 名、地域医療福祉連携部 1 名、事務部 4 名

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
5 月 2 日	・ 委員変更について ・ 今できる改善事項について（定例報告） ・ ご意見箱への投書について（定例報告） ・ 患者満足度アンケートについて
9 月 22 日	・ 定例報告 ・ 患者満足度アンケートについて ・ 職員満足度アンケートについて
11 月 21 日	・ 定例報告 ・ 患者満足度アンケートについて ・ 職員満足度アンケートについて ・ マナーブックの作成について ・ ガイドブックの作成について
1 月 24 日	・ 定例報告 ・ 患者サービス向上研修会への参加について ・ 患者満足度アンケートについて ・ 職員満足度アンケートについて ・ 院内掲示板の誘導表示について
3 月 27 日	・ 定例報告 ・ 患者満足度アンケートの結果報告について ・ 職員満足度アンケートの結果報告について ・ 院内掲示板の誘導表示について

臨床研修管理委員会

1. 目 的

研修医が初期の目的を達成するために、臨床研修医プログラム、各部署各職種間との連携および研修医の処遇などを充実させる。

2. 内 容

- ①臨床研修プログラムの検討、管理運営
- ②コメディカルとの連携のあり方
- ③研修の環境整備および相互評価
- ④研修医の採用に関する意見具申
- ⑤研修医の管理・教育および研修の評価・認定等統括管理

3. 委員構成

- 1. 研修管理責任者 2. プログラム責任者 3. 研修管理委員長 4. 副プログラム責任
- 5. 副研修管理委員長 6. 各診療科指導責任者（内科、精神科、小児科、外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、地域医療、救急） 7. 後期研修医 8. 薬剤部長
- 9. 診療協同部長 10. 診療放射線室長 11. 臨床検査室長 12. 看護部長 13. 事務部長 14. 事務管理室長 15. 外部委員

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
5 月 30 日	・ 2023 年度東海北陸地区臨床研修病院合同説明会について ・ 委員会規程の変更について ・ 2024 年度研修医の募集定員の配分結果について ・ 2023 年度臨床研修機能評価（書面調査）について
9 月 26 日	・ 2023 年度研修医採用試験結果について ・ JA 愛知厚生連 オンライン臨床研修病院合同説明会について ・ レジナビ Fair2024 名古屋 ・ 木曽川メディカルカンファレンス
11 月 27 日	・ 2024 年度 研修医採用者について ・ JA 愛知厚生連 オンライン臨床研修病院合同説明会報告 ・ 第 26 回臨床研修指導医講習会 ・ 稲沢厚生病院臨床研修管理委員会のメンバー変更について
3 月 22 日	・ 2024 年度採用予定の研修医国家試験結果について ・ 2023 年度臨床研修指定病院合同セミナー（レジナビ）について ・ 東海北陸エリア合同説明会（マイナビ） ・ 2024 年度 医師臨床研修マッチングスケジュール ・ 稲沢厚生病院臨床研修管理委員会のメンバー変更について ・ 2025 年度稲沢厚生病院卒後初期研修プログラムについて ・ 稲沢厚生病院卒後初期臨床研修プログラム修了認定について

情報システム管理委員会

1. 目 的

診療情報を基本とし情報システムおよび診療記録に関することを検討し、システム面および運用面において円滑な情報共有体制と診療情報管理体制を整える。

2. 内 容

システム関連

- ① 電子カルテシステムの機能面に関係すること
- ② 電子カルテシステムの運用面に関係すること
- ③ 部門システムと電子カルテシステムが直接関係すること
- ④ グループウェアに関係すること

診療情報管理関連

- ① 診療情報管理業務の取り扱い範囲に関係すること
- ② 診療情報管理に関する院内規定に関係すること
- ③ 診療記録および関連資料の様式ならびに記載要領に関係すること
- ④ 診療情報の開示に関係すること

3. 委員構成

委員長(医師：副院長、外科系医師)、内科系医師、看護部代表、薬剤師、診療協同部、健康管理課、医療安全管理室、地域連携室、医事課、医療情報課

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
4 月 13 日	・ 定例報告 ・ 医療情報システム更新について ・ 令和 5 年度会計監査人監査（IT 監査）について
5 月 11 日	・ 定例報告 ・ 情報システム管理委員会員の變更について ・ 医療情報システム更新について
6 月 8 日	・ 定例報告 ・ 2022 年度疾病・診療科別・退院患者数 ・ 2022 年度疾病・診療科別退院患者統計 ・ 2022 年度病棟・診療科別退院患統計 ・ 小児科新生児転院搬送・バックトランスファー一覧 ・ 電子カルテシステムサーバの定期再起動について ・ 5 月 17 日に発生した停電によるシステム障害について ・ 医療情報システム更新について
7 月 13 日	・ 定例報告 ・ 医療情報システム更新について
8 月	・ 医療情報システム更新のため休会

9 月 14 日	・ 定例報告 ・ 情報システム管理委員会委員について
10 月 12 日	・ 定例報告 ・ 情報システム管理委員会委員について ・ 令和 5 年度サイバーセキュリティ研修について ・ 医療情報システム運用管理規程等の変更について ・ 二要素認証対象端末について
11 月 9 日	・ 定例報告 ・ 2023 年度上半期疾病・診療科別・退院患者数 ・ 2023 年度上半期疾病・診療科別患者統計 ・ 2023 年度上半期病棟・診療科別患者統計
12 月 14 日	・ 定例報告（文書開催） ・ 2022 年 がん登録部位別件数・部位別上位疾患 ・ 情報システム管理委員会委員について ・ 医療情報システム運用管理規程等の変更について
1 月 11 日	・ 定例報告（文書開催）
2 月 8 日	・ 定例報告（文書開催） ・ リハビリ部門システム障害対応報告 ・ 2023 年度サイバーセキュリティ研修まとめ ・ 検査システム（マスター）変更のお知らせ
3 月 9 日	・ 定例報告（文書開催）

適切なコーディングに関する委員会

1. 目 的

厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法等の施行に伴う実施上の留意事項について（平成 20 年 3 月 19 日付け保医初第 0319002 号厚生労働省保険局医療課長通知）に基づく、標準的な診断及び治療方法の周知を徹底し、適切なコーディング（適切な診断を含めた診断群分類の決定をいう。以下に同じ）を行う体制を確保することを目的とする。

2. 内 容

開催日：年 4 回・第 3 水曜日

- ① 診断群分類の適切なコーディングの総括に関すること
- ② 標準的な診断及び治療方法の周知徹底に関すること
- ③ 適切な診断を含めた診断群分類の決定に関すること
- ④ 適切なコーディングを行うための診療の分析及び改善に関すること
- ⑤ 厚生労働省「DPC 導入の影響評価に関わる調査」で指摘・指導された項目等について改善するための対策に関すること
- ⑥ その他診断群分類の適切なコーディングに関し、必要と認められる事項に関すること

3. 委員構成

- ① 診療部
- ② 薬剤部
- ③ 診療協同部
- ④ 看護部
- ⑤ 事務部（企画課長、医事課長、医事課、診療情報管理課）

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
7 月 19 日	・ 部位不明・詳細不明コードの使用割合について
11 月 19 日 文書開催	・ 部位不明・詳細不明コードの使用割合について
1 月 17 日	・ 部位不明・詳細不明コードの使用割合について ・ 令和 6 年 1 月からの医療機関別係数について
3 月 21 日 文書開催	・ 令和 6 年 4 月からの医療機関別係数について

地域医療連携委員会

1. 目 的

地域医療機関との円滑な役割分担の遂行に寄与するとともに、相互の協力により良質な医療環境を提供し地域医療の充実と発展をはかることを目的とする。

2. 内 容

- ①紹介・逆紹介件数の報告
- ②紹介症例検討会の報告
- ③地域の医療機関からの意見・対応報告
- ④その他、地域医療連携に関する事項

3. 委員構成

医師部門、診療放射線室、看護部門、健康管理室、事務部門、地域医療連携課

4. 開催日と活動内容

委員会の開催は原則として2ヶ月に1回とし、偶数月の第4木曜日

開催日	活動内容
4月27日	・紹介、逆紹介、施設利用件数等の報告 ・4月紹介症例検討会開催 参加医療機関8件
6月29日	・紹介、逆紹介、施設利用件数等の報告 ・6月紹介症例検討会開催 参加医療機関4件
8月24日	・紹介、逆紹介、施設利用件数等の報告 ・9月紹介症例検討会開催中止
10月26日	・外科 高山医師 林医師 医療機関訪問9件 ・紹介、逆紹介、施設利用件数等の報告 ・お歳暮郵送 56件 ・11月紹介症例検討会開催 参加医療機関4件
12月28日	・稲沢地域看護・介護研究会を開催 ・紹介、逆紹介、施設利用件数等の報告 ・2月紹介症例検討会開催 参加医療機関3件
2月22日	・外科 伊藤院長 大雄会病院へ訪問 ・紹介、逆紹介、施設利用件数等の報告 ・稲沢地域看護・介護研究会情報交換会を開催 10施設 16名参加

虐待対応委員会

1. 目 的

虐待に関する事項を協議し、被虐待者の発見ならびに院外の諸機関との連絡の下に被虐待者とその家族に対する支援を行う。

2. 内 容

①虐待事例が発見された場合の院内関係者間で情報共有と対応の協議

②関係機関への通報

③患者家族への支援体制整備

3. 委員構成

委員長：院長

委員：主治医、外来課長、病棟課長、医療福祉相談課長、委員長が必要と認めたもの

4. 開催日と活動内容

個別対応したケースはあったが委員会としての対応事例はなし。

緩和ケア委員会

1. 目 的

緩和医療において、倫理的配慮がなされた適正な運用と、医療内容の向上に寄与する。

2. 内 容

- ①全人的苦痛の包括的な評価と意志決定支援について
- ②倫理的に配慮された運用について
- ③その他緩和ケアについて

3. 委員構成

医師 3 名、看護師 2 名、薬剤師 1 名、管理栄養士 1 名

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
4 月 5 日 12 日 19 日 26 日	病棟へ緩和ケアラウンド実施し、チームメンバーと病棟スタッフとカンファレンス実施。
5 月 10 日 17 日 24 日 31 日	病棟へ緩和ケアラウンド実施し、チームメンバーと病棟スタッフとカンファレンス実施。
6 月 7 日 14 日 21 日 28 日	病棟へ緩和ケアラウンド実施し、チームメンバーと病棟スタッフとカンファレンス実施。
7 月 5 日 12 日 19 日 26 日	病棟へ緩和ケアラウンド実施し、チームメンバーと病棟スタッフとカンファレンス実施。
8 月 2 日 9 日 16 日 23 日 30 日	病棟へ緩和ケアラウンド実施し、チームメンバーと病棟スタッフとカンファレンス実施。
9 月 6 日 13 日 20 日 27 日	病棟へ緩和ケアラウンド実施し、チームメンバーと病棟スタッフとカンファレンス実施。
10 月 4 日 11 日 18 日 25 日	病棟へ緩和ケアラウンド実施し、チームメンバーと病棟スタッフとカンファレンス実施。
11 月 1 日 8 日 15 日 22 日 29 日	病棟へ緩和ケアラウンド実施し、チームメンバーと病棟スタッフとカンファレンス実施。

12 月 6 日 13 日 20 日 27 日	病棟へ緩和ケアラウンド実施し、チームメンバーと病棟スタッフとカンファレンス実施。
1 月 3 日 10 日 17 日 24 日 31 日	病棟へ緩和ケアラウンド実施し、チームメンバーと病棟スタッフとカンファレンス実施。
2 月 7 日 14 日 21 日 28 日	病棟へ緩和ケアラウンド実施し、チームメンバーと病棟スタッフとカンファレンス実施。
3 月 6 日 13 日 27 日	病棟へ緩和ケアラウンド実施し、チームメンバーと病棟スタッフとカンファレンス実施。

広報・地域密着委員会

1. 目 的

この委員会は、地域住民の健康と生活を守り安心できる地域づくりのため、地域住民に向けた病院の広報活動に関する事項について提案・協議し、円滑な病院運営に役立てることを目的とする。

2. 内 容

- ①ホームページの管理・運用に関すること
- ②広報誌「ぎんなん」の発刊に関すること
- ③年報の作成に関すること
- ④地域行事への出展に関する諸問題の調整・連絡に関すること
- ⑤その他病院の広報活動（SNS の活用等）に関すること

3. 委員構成

委員長：医師 1 名

委 員：看護部 1 名、薬剤部 1 名、診療放射線室 1 名、臨床検査室 1 名、リハビリテーション室 1 名、
栄養管理室 1 名、健康管理室 1 名、地域連携室 1 名、事務部 4 名

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
7 月 6 日	・病院ホームページリニューアルの進捗状況 ・病院 SNS について ・年報について ・「こうせい」「厚生連情報」依頼について ・病院広報紙「銀杏」 ・今年度の病院の健康セミナーや院内教室の開催について ・JA 広報誌ぐりんぐりんへの掲載について
9 月 22 日	・巡回バスの運用状況について ・病院広報誌「銀杏」コラムページ担当部署について ・病院広報紙「銀杏」の掲載記事について
1 月 24 日	・各広報紙への定期的な分娩広告の掲載について ・令和 6 年度各広報紙年間スケジュールおよび掲載内容について ・巡回バスの運用状況について

図書管理委員会

1. 目 的

稲沢厚生病院図書室の円滑な管理・運営及び図書サービスの充実を目的とする。

2. 内 容

- ①図書室並びに図書サービスの管理・運営に係わる方針と課題
- ②図書予算及び決算
- ③図書資料の選択と選書
- ④図書資料の保管と廃棄
- ⑤その他必要な事項

3. 委員構成

診療部（委員長） 1 名、薬剤部 1 名、看護部 1 名、地域医療福祉連携部 1 名

事務部（事務局） 1 名、その他委員長が必要と認めた者

4. 開催日と活動内容

開催日	活動内容
8 月 31 日	・ 2023 年度図書管理委員について ・ 図書購入申請書の届け出件数について ・ 図書管理台帳の件数について

VI. セミナー・教室活動

健康セミナー

開催日	テーマ	講師	参加人数
11月13日(月)	いつまでも現役、健康な身体づくりを目指して	副院長 後藤 章友 名古屋市立大学 学生	21名
3月6日(水)	睡眠時無呼吸症候群について	三輪呼吸器内科部長	4名

※2020年2月よりコロナにて開催中止。本年度11月より再開

母親教室

開催日	テーマ		講師
偶数月第2金曜日	中期母親教室Ⅰ	妊娠中の健康 妊娠中の栄養	産婦人科医師 栄養士
偶数月第4金曜日	中期母親教室Ⅱ	妊娠中の生活・妊婦体操	助産師
奇数月第2金曜日	後期母親教室	入院中の赤ちゃんの健康診断 入院案内・呼吸法・産婦人科病棟案内	小児科医師 助産師

※2020年2月よりコロナにて個別対応に変更。本年度9月より集団教室再開

VII. そ の 他

地域住民を対象に年3回発刊し、地域の方々へ病院の情報を発信しています。

稲沢厚生病院だより

ginnan — 銀 杏 —

2023

No.97

主な内容

禁煙外来
看護部インターンシップ



欧米でも流行の「ニューボーン（新生児）フォト」

稲沢厚生病院では、アイキッズ 株式会社と提携し、当院でご出産いただく全ての妊産婦さんへ、新生児撮影サービスのご提供を開始しました。

赤ちゃんをご出産後、『一番幸せで忘れられない瞬間』が、ご家族のみなさんにとってかけがえのない宝物になれば幸いです。



専門知識を持った、
女性フォトグラファーが撮影します。

詳しくはこちら



稲沢厚生病院だより

ginnan - 銀杏 -

2023

No.98

主な内容

いなざわこうせい新聞



テーマ

「いつまでも現役、健康な身体づくりを目指して」

講師

ごとう ありとも
内科副院長 後藤 章友
名古屋市立大学医療系学生

日時

＼詳細はホームページでお知らせします／

2023年11月頃(予定)

場所

稲沢厚生病院内

対象

誰でもご参加いただけます。
参加は無料です。

Information

内科ホームページが
新しくなりました。



●人間ドック・健診で
要精検・要治療となった方
●初めて受診する方
電話予約が可能です。

＼立ち合い出産再開／
ママに寄り添う当院の
出産情報はコチラ



稲沢厚生病院だより

ginnan — 銀杏 —

2024

No.99

ご自宅で**介護**をしているご家族の方へ

レスパイト入院で
**介護の
ひと休み**
しませんか？

病院に
短期入院
できて安心

こんな時も
利用できる
のね

リフレッシュ

出張・旅行

冠婚葬祭

急な病気

レスパイト入院とは？

- 01 介護する人の負担軽減が目的
- 02 自宅療養中の患者さんが
一時的に入院できる
- 03 治療目的の入院ではない
※療養型病棟が適当
- 04 介護保険の「ショートステイ」が
利用困難な方も利用可

レスパイト
とは「一時的な
入院」「短期」
を意味します



こんな時にご利用ください

- ・日々の介護に疲れてしまった
- ・定期的に利用して介護を継続したい
- ・趣味を楽しんでリフレッシュしたい
- ・冠婚葬祭に出席する
- ・出張や旅行に行く
- ・急な病気・入院・ケガになった
など

こんな時も
利用できるのね
病後から
立ち上がり



お問い合わせ

稲沢厚生病院医療福祉相談課 ☎0587-97-2131 (代表)
※「レスパイト入院の件で」とお伝えください。



主な内容

新年のご挨拶 ginnanコラム 新入職員紹介 イベント報告(健康セミナー 遠征交流会 開催報告)

編集後記

2023 年度の年報発刊にあたり業務多忙の中、ご協力いただき誠にありがとうございました。新型コロナウイルス感染症は社会的に収束し、海外からのインバウンドで観光地では観光客であふれかえっている状況で、オーバーツーリズムの弊害をあちこちで聞くようになっていきます。また、アメリカではトランプ大統領の下、アメリカのため保護貿易が実施されようとしており、今後の我が国の経済状況は不安定となる可能性があります。

さて次年度も稲沢厚生病院においてもその存在価値が試される 1 年となります。地域の皆様に必要とされる病院であり続けるにはどうすべきか？みなさんも考えることがあると思います。

【人を育て、病院に貢献し、地域に奉仕する】

こういった目標を掲げたいと思います。

病院、地域を動かすことは壮大な夢物語ではありますが。まずは研修医を育て、病院職員を育てることから始めたいと思います。将来小さな芽が花咲くようにひとつずつ着実に仕事をしていけば、いつかは目標を達成できる日が来ると信じていきたいと思っています。

広報・地域密着委員会 委員長 畦元 将隆

稲沢厚生病院 広報・地域密着委員会

委員長	診療部	畦元 将隆
委 員	医局（研修医）	堀部 慎
委 員	医局（研修医）	徳村 心
委 員	看護部	山内 理香
委 員	薬剤部	沼田 美穂
委 員	診療放射線室	福田 綾花
委 員	臨床検査室	渋谷 浩一
委 員	リハビリテーション室	島田 美紀代
委 員	栄養管理室	古田 一平
委 員	健康管理室	塚田 晶子
委 員	地域連携室	白坂 翔
委 員	医事課	伊藤 佑将
事務局	企画室	澤木 勇士
事務局	企画・医療情報課	伊藤 伸弥
事務局	企画課	都築 千早

稲 沢 厚 生 病 院 年 報
22 号 (2023 年度)

2025 年 3 月 発 刊

発 行 愛知県厚生農業協同組合連合会
稲沢厚生病院 病院長 伊藤 浩一
住 所 〒495-8531
稲沢市祖父江町本甲拾町野 7 番地